

四、内務省ノ農村振興土木事業、農林省ノ農業土木事業ノ施行ニ當リテハ政府ハ特ニ事務ヲ簡便ニ運ヒ取扱フ迅速ニシ其事業力速ニ行ハレテ農村救済ノ本旨ニ副フ様最善ノ注意ヲ拂フヘシ

以上ガ民政黨ヨリ提出サレタル希望條項デアリマス、私ノ報告ハ之ヲ以テ終リト致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——清瀬一郎君

○清瀬一郎君 極ク簡單デアリマスルカラ、議席ヨリ御許シテ願ヒタク思ヒマス

○議長(秋田清君) 登壇ヲ望ミマス

(清瀬一郎君登壇)

○清瀬一郎君 只今本院ニ秦豊助君外二十三名ヨリ米穀法中改正法律案ガ提案サレテ居リマス、主タル條項ハ米穀法第四條第五條ノ削除デアリマス、世ニ所謂米價ノ法則ヲ撤廢シヨウト云フ案デアリマス、又同ジク秦豊助君外二十三名ヨリ、負債整理組合中央金庫法案ガ提出サレテ居リマス、是ハ負債整理組合ニ向テ、必要ナル資金ノ供給ヲ圖ラウト云フ案デアリマス、何レモ吾等ニ於テハ趣旨ニ於テ反對デハナイノデアリマス、茲ニ豫算討論ニ付キ是非承リ置キタキハ、秦豊助君ト同ジ派ニ屬サレマスル國務大臣三土忠造君ヨリシテ、此兩案ニ對シテハ政府ハ贊否如何ナル御見解ヲ持シテ居ラル、カラ伺テ置キタイ、斯様ニ思フノデアリマス(拍手)

(問題外「無用々々」ト呼フ者アリ)

(國務大臣三土忠造君登壇)

○國務大臣(三土忠造君) 清瀬君ヨリ折角ノ御質問デアリマスガ、斯ノ如キ御質問ニ對シテ、私ガ鐵道大臣トシテ特ニ御答辯スル適當ナル機會ト考ヘマセヌシ、又其必要ヲ認メマセヌ(拍手)

○議長(秋田清君) 三木武吉君

(清瀬一郎君「議長々々」ト呼ビ發言ヲ求ム)

○議長(秋田清君) 三木君一寸御待チ下サ

イ(清瀬一郎君「私ハ斯様ナル案ニ付テハ、質疑ナクトモ御答辯ニナルノガ立憲ノ本義デアルト思ヒマス、此重大ナル問題ニ付テ御答辯ノナイコトハ、私實ニ遺憾ニ存ジマス」)

○議長(秋田清君) 發言ハ許シマセヌ

(三木武吉君登壇)

○三木武吉君 私ハ只今委員長ヨリ御報告ニナラレタ事柄ニ關聯致シマシテ、豫算委員長及總理大臣若クハ大藏大臣ニ對シテ質疑ヲ致シタイト存ジマス、今回ノ議會ガ農民及中小商工業者ノ救済ニ關スル議會デアリコトハ、申上ゲルマデモゴザイマセヌカラシテ、此議會ヲ通ジテ提案セラレ、審議セラレ、決定セラレ、或ハ將ニ決定セラレント致シテ居リマス 諸案ハ、總テ農民及中小商工業者ノ救済ニ關スルコトノミデアリマス、今仔細ニ其諸案ノ内容ヲ檢討致シテ見マス、大體左ノ二大眼目ニ歸著スルヤウデゴザイマス、即チ其一ハ生産者デアアル農民及之ニ類スル人々ノ爲ニ、其生産品ノ物價ノ昂上ヲナシ、或ハ下落ヲ防イデ、生産者ヲシテ收支相償ヒ、生計ヲ維持スルコトノ出來得ベキ諸政策ガ盛ラレテ居ルノデアリマス、其二ハ多年負債ノ爲ニ非常ナル困難ノ境ニアリマス農民及中小商工業者ノ負債ヲ整理セシメ、其金融ヲ圓滑ニシテ、安ンジテ生産ニ從事セシムルコトノ出來ルヤウナ趣旨ノコトガ盛込マレテ居ルノデアリマス、案其モノカラ見マスレバ、只今豫算委員長ノ御報告ノ通り、頗ル不徹底ナルモノガアルヤウデゴザイマス、果シテ政府ガ豫期スルヤウニ、果シテ國民ガ要望スルヤウナ成果ヲ擧ゲ得ラレルヤ否ヤト云フコトハ、大キナ疑問トシテ殘サレタノデナカラウト存ジマス(拍手)併ナガラ其諸案ハ所謂無キヨリハ優テ居ルノデアリマス、只今委員長ハ二階カラ目録ノヤウダト言ハ

レマシタガ、私ハソレヨリハヨリ多クノ效果ヲ、此農民及中小商工業者ニ齎スノデハナカラウト思ヒマス、唯其恩澤ヲ農民及中小商工業者ニ及ボスニハ、少クトモ諸案ガ豫期ヲ致シテ居リマスル物價ノ騰貴、及通貨ノ膨脹ト云フモノガ伴ハナケレバナラナイノデアリマス、私ハ是ニ於テ御互ニ考ヘナケレバナラヌコトガ、殘サレテ居ルノデハナカラウト、成程所謂高物價政策、之ニ依テ農民ハ救ハレルノデアリマセウ、又通貨ノ膨脹ニ依テ、農民及中小商工業者ハ救ハレルデアリマセウ、併ナガラ是等農民小商工業者ノ救ハル、其裏面ニ於テ、二千万ノ國民デアアル消費者ハ如何ナル運命ヲ迎ラナケレバナラヌカト云フコト、是ハ御同様ニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、成程農民並ニ中小商工業者ハ巨款ヲ忽セニスルコトノ出來ナイ、所謂困憊焦眉ノ急ニ追ッテ居ルコトハ申上ゲル迄モアリマセヌガ、然リトテ勤勞階級、低額收入者、是等ノ人ハモ決シテ安逸ナル生活ヲ現在ニ於テ食フテ居ルモノデハナイノデアリマス、ノミナラズ御承知ノ通り金ノ輸出禁止セラレマシテ以來、爲替ハ非常ナル暴落ヲ致シマシタ、ソレガ爲ニ國內ノ物資ハ水ノ満ツルガ如ク、段々段々騰貴ヲ致シテ居リマス、其勢ハ那邊ニ行テ止マルノデアアルカト云フコトニ付テ、且ツハ疑ヒ、且ツハ御同様ハ恐レテ居リマス、然ルニ今回御提案ニナラレタ諸案ハ、其情勢ニ對シテ、或ハ拍車トナリ、或ハ推進機トナッテ、更ニ一段ノ物價ノ騰貴ヲ喚ビ起ス働キヲスルノデアリマス、私ハ固ヨリ農民ヲ救ハナケレバナラヌ、中小商工業者ニ對シテ非常ナル同情ト努力モ吝シデハ相成ラヌト思フテ居リマスルケレドモ、其反面ニ二千万ノ消費階級、特ニ勤勞知識階級ニ依テ所得ヲ得テ居リマスル人々ノ爲ニ、御同様ハ十分ナル關心ヲ以テ、非常ナル努力ヲ拂ハナケレバナラヌト存ジマス、私ガ寡聞ノ致ス所デアアルカモ存ジマ

セヌガ、本議場及各委員會ニ於テ、農民ハ救ハナケレバイカヌ、小商工業者ハ助ケナケレバナラヌト云フ聲ハ、全ク充チ満チテ居リマスルガ、唯一言此消費者ヲ救ハナケレバナラヌト云フ聲ヲ聽クコトガ出來ナイコトヲ、非常ニ遺憾ニ存ジテ居リマス、只今委員長ノ御報告ノ中ニモ……

(ソナコトハ後廻シ「其他發言スル者アリ」)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○三木武吉君(續) 此事ニ付テ一言半句ノ御話ガナカッタガ、委員會ニ於テハ其問題ニ付テノ質問ハナカッタノデアアルカ、其問題ニ付テノ政府ノ御經綸モ御發表ニナルヤウナコトハナカッタノデアアルカ、若シソレガナカッタト云フコトデアアルナラバ、委員長ノ御報告ト同時ニ、總理大臣若クハ大藏大臣ノ之ニ對スル御考ヲ聞イテ貰ヒタイ、諸君ノ中ニハ其事ハ後廻シト言ハレタ御方ガアル、併ナガラ私ヲシテ言ハシムレバ農民、小商工業者ノ痛苦ヲ救ハンガ爲ニ、諸君ノ非常ナル御努力ハ、所謂前門ノ虎ヲ防イダノデアリマス、併シ是ガ爲ニ起ル後門ノ狼ニ對シテハ、寧ロ其深憂ノ道ヲ營々修築ヲヤッテ居ルノデハナカラウト云フコトヲ恐レルノデアリマス、願クハ此點ニ付テ、總理大臣ナリ、大藏大臣ナリ、都會ノ居住者二千万ノ消費者ガ、將來ニ於テ安心ノ出來ルヤウナ御言明ヲ、此席ニ於テ承リタイト存ジマス

(答辯ノ必要ナシ「ト呼ビ其他發言スル者アリ」)

○議長(秋田清君) 答辯サレマセヌカ

○議長(秋田清君) 答辯サレマセヌカ

(栗原彦三郎君登壇)

○栗原彦三郎君 本員ハ只今豫算委員長ヨリ御報告ニナリマシタ豫算委員會ノ經過並ニ結果ニ付キマシテ、豫算委員長ニ御尋申上ゲルノデアリマスルガ、私ノ御伺申上ゲ

ルノハ、主トシテ内務省所管ノ追加豫算中ノ第四十七款、即チ國民更生運動獎勵費ニ關シテ、アリマスル、豫算委員會ニ於テ此點ニ關シテ、如何ナル質問應答ガアツカト云フ點ニ付テ、御伺致スノデアリマス。

私ノ委員長ニ御伺申シマスル第一點ハ、政府ノ本議會ニ御提案ニナツタ總テノ議案ハ、國民ノ協力、更生ヲ建前トシテ、立案シテ提案サレタモノガ多ク、内務省ハ此國民更生運動獎勵ニ限ツテ、國民ノ自力更生ヲ圖ルモノデアルト云フノデアリマスルガ、果シテ然ラバ大體協力更生ヲ期スルト云フ建前ノ豫算案、其他ノ法案ヲ提出シテ置キナガラ、此一點ニ於テ自力更生ヲ圖ルノデアルトスルナラバ、政府ガ今回ノ提案ニハ、矛盾撞著ノ甚シキモノガアルト感ズルノデアリマスルガ、此點ニ關シテ如何ナル質問應答ガアツカト云フコトヲ御伺申シタノデアリマス。

私ノ委員長ニ御尋申シマスル第二點ハ、内務省ガ國民更生運動費トシテ計上サレタモノハ、僅ニ十萬圓デアリマスルガ、自力更生ヲ圖ルモノデナク、其共力更生ヲ精神ノ方面カラ助長スル建前ノモノデアルト云フナラバ、此十萬圓ハ僅デアラケレドモ、相當效力ノアルモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、併ナガラ其運用並ニ指導方法ノ宜シキヲ得ナイ場合ニ於キマシテハ、却テ此運動ガ國民ヲ惑ヒニ導クノ結果ニナルト云フコトヲ憂ヘルモノデアリマス、即チ運用並ニ指導ニ關シマシテ豫算委員會ニ於テハ、政府カラ十分ノ説明ガアリ、又委員諸君カラ政府ハ時代ニ適應シ、非常時ニ對應スル所ノ如何ナル指導精神ヲ以テ、國民ヲ指導セントスルノデアルカ、政府ノ有スル時代ニ適應スル國民道德ノ觀念ハ如何ナルモノデアアルカ、政府ノ有スル非常時ニ對スル社會道德ノ觀念ハ如何ナルモノデアアルカ、政府ハ如何ナル時代のナ家庭道德ノ觀念ヲ有シテ居ルカ、政府ハ性道德ニ關シテ時代ニ適應スル如何ナル觀念ヲ有シ、如何ナル指導精神ヲ有シテ居ルカト云フ點ニ關シテハ、相當質問應答ガ必ズナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、果シテ此點ニ關シテ質問應答ガアツタノデアリマスカ、若シアツタシマスレバ、其内容ハ如何ナルモノデアツタカ、詳シク委員長ニ御伺申スノデアリマス。

私ノ委員長ニ御伺申シタイ第三點ハ、現今日本國民ノ多數、即チ農民並ニ都市ノ中小商工業者ハ疲弊困憊ノ極ニ達シ、殆ド自治ノ途ヲ失ハントシテ居ルノデアリマス、其各自ノ生計ヲ恢復シテ、一家ノ繁榮ヲ圖ル、其爲ニハ各々死力ヲ盡シテ働イテ居ルノデアリマス、然ルニ其生計恢復ノ途ヲ見出スコトガ出來ナイノハ、即チ如何ニ蕩擻イデモ、國民ノ多數ガ自力更正ノ機會ヲ擲ムコトガ出來ナイ、世界ノ大不況ニ依リ經濟上ノ重壓ト、現在日本ノ經濟機構ガ、現在ノ日本ノ社會情勢ニ適合セザルニ至ラタコトガ、其最モ大ナル原因デアルトハ勿論デアリマス、外ニモ一大原因ノアルコトヲ否定スルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ現在日本國民ノ一部ノ人々ノ心理狀態ニ、一大缺陷ヲ生ジ來リマシテ、反撥力ノ原動力ナルベキモノヲ失フテ居ルコトヲ、見逃ス譯ニハ參ラナイノデアリマス、日本國民……

○議長(秋田清君) 栗原君——栗原君、チヨット御待チ下サイ、アナタノ御發言ハ名ヲ質疑ニ藉リテ居ラレマスルケレドモ、アナタノ御意見ヲ述ベラレツ、アルモノト議長ハ認メマス、即チ不規則ナル發言ト認メテ、演說ノ中止ヲ命ジマス——質疑ハ結局致シマシタ、是ヨリ討論ニ入りマス、通告順ニ依テ發言ヲ許シマス——

(龜井貫一郎君登壇)

○龜井貫一郎君 極メテ簡單ニ要點ヲ申述タイト考ヘテ居リマス、政府御提案ノ四

案ヲ、私モ委員ノ一人ト致シマシテ、親シク檢討ヲ致シマシタノデアリマスルガ、遺憾ナガラ、吾々ハ極メテ少數デハゴザイマスルケレドモ、政府ニ御組替ヲ願フ爲ニ、返上ヲシナケレバナラナイト云フ結論ニ到達ヲ致シタノデアリマス、其理由ハ斯ウデアリマス、私共ガ第六十二議會ニ於キマスリマスル處ト比スルナラバ、政府ハ其院議ニ關シマシテ、重大ナル誤解ヲシテ居ラレハシナイカト思フノデアリマス、何モアノ院議ハ農村ガ窮乏ヲシテ居ルカラ、或ハ中小商工業者ガ困窮ヲシテ居ルカラ、唯金ヲ呉レ金ヲ呉レト云フ、サウ云フ院議デハナクシテ、働カウト思ヒマシテモ働ケナイ、收支ガ合ハナイ、ソレガ現在ノ社會經濟制度ノ然ラシムル所デアリマスガ故ニ、之ニ一ツノ更革ノ大斷案ヲ下シマシテ、其案ノ實施ニ必要ナル豫算案ヲ提出スベシト云フノガ少クトモ前會ノ決議ニ賛成致シマシタル一部ノ人々ノ考デアツタ思ヘルノデアリマス、然ルニ政府ノ御提案ヲ簡單ニ申シテ見マスルナラバ左様デナイノデアリマス、成程現内閣ハ極メテ時局重大ナル秋ニ立タレマシテ、其一人々々、或ハ各省々々トシテ考ヘマスルナラバ洵ニ御精勵ノ段ニ關シマシテハ吾々モ感激ヲスル者デゴザイマス、ケレドモ、第一點ト致シマシテハ、大藏大臣ハ本案ヲ以テ少クトモ農家ノ經濟ノ信用ガ恢復ヲスル、信用ガ恢復ヲスレバ、ソレニ伴フテ貨幣ガ流通スル、是ハ極メテ合理的ナル「インフレーション」デアル、是ガ來ルデアラウ、ソレハ差支ナイノミナラズ、之ニ依ツテ經濟界ガ生キ上ルト云ハレルノデゴザイマスルガ、私ハ少クトモ其點ニ關シマシテ異議ヲ持チマス、今ノ農家ノ問題ハ採算ノ採レナイ所ノ從テ大藏大臣ノ所謂信用ノ恢復シ得ナイ農家ガ全體ノ九割デアルト云フ所ニ重點ガアルノデアリマス、簡單ニ申シマスレバ、農林省ノ農家經濟調査

ニ依リマシテモ、小作農ノミナラズ自作農ガ耕作ノ勞銀ヲ含メマセヌデモ、其一年ノ通算ニ於キマシテハ、確ニ損益ノ計算ガ「マイナス」ニナツテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ此豫算ヲ以テシテハ、政府ノ仰シタル所ヲ以テシテモ僅ニ、一年間三十圓ノ土木勞銀ノ潤ヒシカナイノデアリマス、即チ農家經濟ノ根本ニ對シテ收支ヲ取ラシムル所ノ、何等ノ御成案ヲ發見スルコトガ出來ナイノデアリマス、而モ低利資金ノ償還延期デアルトカ、或ハ不動產融資デアルトカ、色々アルト云フコトデゴザイマスガ、昭和五年以降ノ農家全人口ノ僅ニ一割七分ノミガ、斯ル產業組合、或ハ低利資金ヲ利用シテ居ル農家デアルトコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、其ノ他ノ多數ハ之利用シ得ザリシ又ハ得ザル所ノ農家デアルト、此利用シ得ザル農家ヲ捨テ置イテ利用シ得ル農家丈ケノ整理、即チ之ニ對スル所ノ償還延期、或ハ其他ノ如キハ問題デナイノデアリマス、少ナクトモ利用シ得ザル今日ノ農民、勤勞農民ノ金融ヲ救フニ非ザレバ、決シテ農村問題ノ根幹ハ建直リタリト認ムルコトハ出來ナイノデアリマス。

第二ノ問題ハ大藏大臣ハ是ハ「インフレーション」デハナイト態々仰シヤイマスケレドモ、是ハ本會議上ニ於テ中島彌次君モ仰シヤイマシタヤウニ、金ノ輸出再禁止、或ハ六十二議會ニ於ケル公債ノ増發、其後ヲ經マシテ、少ナクトモ是ハ事實上ノ「インフレーション」デアリマス、成程「インフレーション」ハ今ヤ天下ノ要望ヲシテ居ル所デアリマス、デハアルガ、此「インフレーション」ニ付テ吾々ガ考ヘナケレバナラナイノハ、「インフレーション」政策ヲ行ヘバ、必ズソレガ生活必需品ノ高物價政策トナリマスルガ故ニ、唯尋常ノ「インフレーション」政策デハ、必ズヤソコニ即時ニ、大衆購買力ノ虚脱ヲ生ジマシテ、却テ「インフレーション」政策ヲ折角御遂行ニナル所

ノ、目的ニ添ハザル結果ヲ生ズルノデアリマス、斯ルガ故ニコソ、現在ノ「インフレーション」ニ於ケル絕對ノ必要ハ、一ニ事業ヲ計畫の全面的ニ立案シ、更ニ之ニ低金利政策、公債政策ヲ含メマシテ、低金利政策ヲ貫キ、更ニ爲替政策ヲ貫イタル所ノ、一定不動ノ「インフレーション」政策ニ非ザレバ、斷ジテ眞ニ現下ノ民衆ヲ救フ「インフレーション」デアルト言ヒ得ナイノデアリマス、豫算總會ニ於ケル大藏大臣ノ御答辯ノ如ク、低金利政策ニ關シマシテモ、或ハ爲替政策ニ關シマシテモ、ソレハ追テ考慮シヨウ、考ヘツ、アルト云フノデゴザイマシテハ確定不動ノ方針ガナイノデハ、斯クテハ第一ニ、今後ハ甚ダ不祥ナル言葉デハゴザリマスルガ、爲替ノ亂高下時代ニ入りハシナイカト云フコトヲ悞レザルヲ得ナイノデアリマス、或ハ更ニ第二點ト致シマシテ悞レマスル處ハ是デアリマス、即チ世界ノ景氣ハ一部ノ缺點ヲ修正致シマシテ、段々ト恢復ト言ハザル迄モ、順調ノ見込ニ步ンデ居ルヤウデアリマス、然ルニ六月ノ六十二議會ノ公債スラ未ダ市場ニハ出廻ラナイノデアリマス、ソコニ更ニ又此公債増發、サウシテ是ガ無計畫ト來テ參リマスレバ、吾々ノ恐レマスル所ハ十一月、十二月、或ハ來年ノ一月ニ至ッテ、世界景氣ノ順調ノ堅實ナル一ツノ線ニ沿ハナイ所ノ、飛ビ離レタル、日本特殊ノ空氣、危險千萬ナル景氣ノ出テ來ルコトヲ、不祥ナル言デハゴザリマスルガ、少ク共吾々ハ豫告ヲシナケレバナラナイと思フノデアリマス、其結果ハ又恐ル可キ斷崖デアアルコトヲ警告セバナラヌノデアリマス、計畫經濟ナキ「インフレーション」ハ危險千萬デアリマス、併シ計畫ヲ伴ハズトモ意識の「インフレーション」ヲ、オヤリニナラバ、マダ、一個ノ政策デアリマス、然ルニ大藏大臣ノ如ク之ヲ意識セズ結果ガ「インフレーション」トナル政策ヲ漫然行フガ如キハ冒險以外ノ何

物デアリマセヌ、第三ノ點ニ關シマシテハ財源デアリマスガ、總テハ公債ノ御發行デアリマス、吾々ハ公債ニ對シテ根本的ニ反對ハ致シマセヌ、公債ノ増發モ結構デハゴザリマスルガ、今日財源ヲ要スル場合ニ於テ、少クトモ日本銀行ノ株主ガ、其創立以來幾何ノ利益ヲ得テ居ルカト云フコトヲ吾々ガ考ヘマスルナラバ、今日政府ノ所要ノ數額ノ如キハ、取敢ズ日本銀行ノ貸上金ヲ以テ支辨シ得ルコトデアルト考ヘルノデゴザイマス、公債増發ノ如キハ然ル後ニ漸次適時適順ニ御考ヘ相成ル可キモノト考ヘルノデアリマス、殊ニ大藏大臣ガ英吉利ノ金庫禁止後ノ政策ハ、甚ダ宜シキヲ得テ居ルヤニ、豫算總會ニ於テ御答辯ガアリマシタガ、英吉利ニ於テハ豫算ノ均衡ヲ得ル爲ニハ、少クトモ増稅計畫ヲ行フテ居ルノデアリマス、此増稅ニ對シテ政府ハ何等觸ル所ガナイノデアリマス今日ニ於テモ吾々ハ増稅、新設シ得ル稅種ナシトハ斷ジテ考ヘラレヌノデアリマス

第四點ト致シマシテハ、負擔輕減問題デアリマス、今回ノ豫算案ニハ何等農村ノ過重ナル公租公課ノ負擔ノ輕減ニ對シテハ、一言半句ノ立法ハ前提セラレテ居リマセヌ、斯ノ如キ立法ハ寧ロ議員諸氏カラ本議場ニ提案セラレテ居ル有様デアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、內務省ニ於テハ地方ノ田地租或ハ家屋稅ヲ免除シ、其代リニ國稅タル財產稅ヲ課シ、其金ヲ中央ニ集メテ、地方交付金トシテ地方ニ與ヘルトノ御案ガアツタヤウデゴザイマス、吾々モ其主意ハ少クトモ結構デアルト思フテ居タノデアリマスルガ、斯ノ如キ案ハ遺憾ナガラ本議場ニ現レテ來ナカッタノデアリマス

組合トニ止マリマシテ、眞ニ農村更生ノ根本タル勤勞農民ノ金融ト生産物ノ管理ヲ確保ス可キ耕作組合ヤ或ハ其元タル耕作權ヲ確保スル小作組合ニハ、何等觸レテ居ラレナイト云フコトハ、是レ決シテ農村ノ隣保共助ニ依ル自力更生ノ點ヲ御考ニナッテ居ルモノトハ觀ラレナイノデアリマス之ヲ要スルニ、簡單ニ申シマスルナラバ、是ガ量ノ問題デアラナラバ、例ヘバ、今日飯ヲ食ハセタイガ、唯マア粥デ我慢ヲシロト云フ話デアラナラバ、吾々ハ遺憾ナガラ之ヲ承諾ヲ致シマセウ、併ナガラ是ハ實ノ問題デアリマス、言ヒ換ヘマスレバ是ハ「カテゴリー」ノ問題デアリマス、範圍ノ問題デアリマス、即チ量ノ問題ニ非ズシテ質ノ問題デアリマス、何トナレバ斯ノ如キ豫算ガ來ラナラバ、吾々ハ其無計畫デアル限リニ於テ、三年計畫ノ内容ガ判明セザル限リニ於テ、又ハ一定ノ政策ニ非ザル無意識のナル「インフレーション」デアル限リニ於テ、恐ラク是ハ日本經濟ノ一大混亂ナルノ處アル其端緒ナリト吾々ハ信ズルノデアリマス、今日ノ御提案ヲ拜見致シマスルト、多クノ諸國ガ經濟困難ニ面シマシテヤリ出シ、ソレデ拾收スベカラザル事態ニ立到リマシタル多クノ例ノ其第一歩ト同ジ第一歩ト斷ゼザルヲ得ナイノデアリマス、サスレバ今日ノ御計畫ヲ許スナラバ、後ニ來ル所ハ國家財政ノ混亂、經濟ノ混亂ト大衆ノ勞働力ノ收奪トノミデアル、他ノ諸國ノ經濟困難ノ其混亂期ノ最後ニ現レマシタル、拾收スベカラザル狀態ノ如キモノガ、必ズヤ來ルコトヲ吾々ハハッキリト御警告申上ゲナケレバナラナイノデアリマス

要スルニ吾々ハ斯ノ如キ豫算ハ百弊アリテ一利ナシト考ヘマス、當面ノコトデアラカラ取敢ズ受取レト斯ウ仰シヤルナラバ、當面ノコトデアラナラバ、吾々ハ百ノ斯ノ如キ豫算ヨリハ、勤勞農民トシテハ「モラトリアム」ヲ要求セザルヲ得ナイノデアリマス、千ノ斯ノ如キ豫算ヨリモ立入禁止、青田差押或ハ土地取上ノ禁止ヲ吾々ハ要望セザルヲ得ナイノデアリマス、或ハ政府持米ノ飯米給與ヲ要望セザルヲ得ナイノデアリマス、要スルニ是ハ過タル道ニ向テ進ンダル中途半端ノ案デアリマス、元ヘ歸テ御出直シニナラナケレバナラナイ、政府ハ速ニ日本現下ノ情勢ニ於テ起リツ、アル聲ヲ御聽キニナラナケレバナラヌト存ジマス、要スルニ左ハ極左ノ共產黨カラ、右ハ極右ノ諸政黨ニ至ル迄、一國大衆ノ間ニ貫ク一ツノ者ハ、反個人主義、反自由主義ノ精神デアリマス、簡單ニ申シマスレバ極メテ漠然デハゴザイマスルガ、反資本主義ノ空氣デゴザイマス部分社會ニ於ケル自由ハ之ヲ確保シツ、綜合社會ニ於ケル強力ヲ統制ヲ必要トスルノガ輿論デアリマス、吾々ハ何モ今直チニ社會主義ガ實現シ得ル情勢ニアリト云フコトヲ、此處デ言フノデハナイ、吾々ハ將來ニ付テハ今申シタル社會主義ヨリ我々ヲ更生セシムルモノデアルト云フ見透シヲ持ッテ居リマス、即チ少クトモ此ノ方向ヘノ線ニ添ッタル豫算案ニ非ザレバ、吾々ハ日本ノ財政ヲ混亂セシメ、及大衆の自主的經濟組織ヲ追放シテ、經濟ヲ破局ニ導キ、却テ大衆ニ不當ナル重壓ヲ加ヘルモノト認メマス、仍テ本豫算案ハ、速ニ政府ニ於テ之ヲ御組替ヘニナリマシテ、會期延長ノ上、改メテ御提案アラントラ吾々ハ主張スル者デアリマス

○議長(秋田清君) 山崎達之輔君

(山崎達之輔君登壇)

○山崎達之輔君 政府提出ノ豫算案ニ對シマシテ、贊成ノ意ヲ表シマスル趣旨ヲ茲ニ明ニ致シタイト思ヒマス、政府ハ第六十二議會ニ於キマシテ、本院滿場一致ノ決議ヲ以テ可決セラレマシタル、時局匡救ニ關スル決議ニ基キマシテ、今回ノ議會ヲ召集セラレタ譯デアリマス、而シテ之ニ關聯致シマスル各般ノ法律案及豫算案ヲ提出セ

ラレタノデアリマス、私ハ内閣諸公ガ衆議院ノ決議ニ促サレマシテ、或ル程度ノ苦心ト努力トヲ拂ハレマシタル跡ヲ認ムルニ吝カナラザルモノデアリマス、申ス迄モナク我國ノ今日ハ、内治外交ノ全局ニ亙リ、又精神物質ノ兩面ヲ通ジマシテ、洵ニ重大ナル秋デアリマス、此非常重大ノ時局ヲ救ヒマシテ、未曾有ノ難局ヲ打開致シ、所謂國運開拓ノ使命ヲ達シマスルコトハ、我ガ國家及國民ニ負ハサレタル一大試練デアルト私ハ考ヘマス、隨テ政治ノ局ニ當ル者ハ能ク時局ニ對シテ明確ナル理解ヲ認識ト有セラレ、高邁ナル識見ト敢爲ナル果斷トヲ以テ、周到ナル對策ヲ決行セラレ、其熱ト力トヲ以テ全國國民ヲ感奮興起セシムルノ概ガナケレバナリマス、隨テ巨款對策ハ單ナル雖然タル諸施設ノ羅列デアッテハナリマセヌ、須ク案其モノニ政府ノ非常時局ニ處スル毅然タル態度ガ現ハレ、一貫シタル精神ト信念トガ躍動セネバナスト私ハ信ズルモノデアリマス(拍手)私共ハ努メテ公正ノ見地ニ立チマシテ、荷モ實行可能ナラザルコトハ、主張致スモノデアリマセヌ、又效果ノモノデナケレバ主張致シマセヌ、努メテ堅實ヲ守リ、眞面目ナル態度ヲ以テ時局ニ關スル諸對策ハ考究シ來タモノデアリマス(拍手)隨テ今回政府ガ提案セラレマシタル各種ノ案件ニ對シマシテモ、同様ノ趣旨ヲ以テ眞劍ナル態度ヲ以テ、是ガ檢討ニ當リテ次第デゴザリマス(拍手)

今回ノ議會ハ先程申上ゲマシタ通り、主タル使命ガ時局匡救ニ關スル應急喫緊ノ對策ヲ解決スルニアリマスルガ故ニ、私共ハ必シモ政府ガ恆久ノ對策ヲ提案セラレザリシコトヲ咎メルモノデハゴザリマセヌ、而モ應急喫緊ノ對策トシテノ政府ノ諸案ヲ檢討致シマシテモ、遺憾ナガラ甚シキ不滿ノ感ヲ懷カザルヲ得ザルモノガアリマス(拍手)我國ノ現在ノ經濟産業ノ全局面ニ亙リマシテ、基本的ノ問題トモ申スベキ爲替ノ

關係ニ付キマシテハ、既ニ同僚大口喜六君ヨリ、先般本議場ニ吾々同志ノ所信ヲ表明致サレマシタカラ、私ハ之ヲ繰返スコトハ差控ヘマス、私ハ直チニ豫算其他ノ計畫ノ内容ニ入リマシテ、私共ノ所信ヲ表明致シタイト思ヒマス

吾々ガ政府ノ計畫ニ對シマシテ、最モ不滿ノ感ヲ禁ジ能ハザル第一點ハ、先程、委員長ヨリ委員會ニ於ケル我黨ノ附帶決議ノ提案ニ付テ、御述ニナリマシタル通り、政府ノ豫算及融資ニ關スル計畫ガ、三箇年ヲ以テ實施スルノ方針ヲ立テラレタル點デアリマス、吾々ハ此窮迫セル局面ニ當リマシテ、出來得ベクン本年、已ムヲ得ザルモ來年ニ亙ッテ、極メテ急速ニ、官民一致全國國民緊張裡ニ、應急ノ對策ヲ解決スベキモノナリト信ズルモノデアリマス、之ヲ三箇年ニ亙リ計畫ヲ以テ臨ムガ如キハ、餘リニ悠長デアリ、緩慢デアリ、其處ニ喫緊ノ應急對策タルノ精神ニ副ハザルノ憾ガ甚ダ多イノデゴザリマス(拍手)豫算總會ガ多數ヲ以テ、同僚島田君ノ提案セラレマシタル附帶決議ヲ可決致シマシタルコトハ、當然ノ事デアリマシテ、此點ニ付キマシテハ、須ク政府ハ豫算總會ノ決議ノ趣旨ヲ體セラレテ、從來懷カレテ居リマシタル三箇年計畫ハ、原則トシテ二箇年ヲ以テ之ヲ實行スルト云フ方針ニ、改訂セラレベキモノデアルト信ズル者デアリマス(拍手)

次ニ私共ハ政府ノ提出セラレマシタル豫算ノ大體ヲ通觀致シマシテ、甚ダ緊張味ヲ缺イテ居ルノ憾ミヲ感ズル者デアリマス、即チ各省ニ亙リマシテ、雖然ト項目ヲ羅列セラレ、或ル意味ニ於テハ從來多年各省ノ吏僚ガ、大藏當局ニ依テ拒絶セラレ來タ幾多ノ難然タル費目ヲ、此機會ニ於テ時局匡救案ノ中ヘ盛込ンデ、解決シヨウトシテ居ルノデハナイカト思フ位ノ感ジヨ、禁ズルコトガ出來ナイ(拍手)即チ應急對策トシテ如何ニモ不適當デアリ、寧ロ不用デハナイカ

ト思フ位ノモノガアリマス、又一面ニハ甚ダ其經費ノ不十分ヲ、感ゼザルヲ得ナイモノガアリマス、二三ノ例ヲ取テ申シマスレバ、今回ノ豫算中ニ計上セラレテ居リマスル人件費ノ如キハ、寧ロ不謹慎ナル計上デアルト思フ、官吏ノ總員、司法官ヲ併セマシテ千三百人デアリマス、荷モ斯ノ如キ非常重大ノ時局ニ當リテ、政府ハ寢食ヲ忘レテ上下一致シテ、此巨款遂行ノ任ニ當ラナケレバナラヌ際ニ、名ヲ新事業ニ藉リテ直チニ官吏定員ノ増加ヲ圖ルガ如キハ、寧ロ我國ノ官場内ニ於ケル多年ノ宿弊ヲ、其儘露出シテ居ルモノト言ウテモ宜シイノデアリマス(拍手)又自力更生運動費ナルモノガアリマス、此内容ヲ見マシテモ、眞ニ自力更生ノ運動ヲ獎勵シ、助成スル費用ハ、總額十萬圓ノ中ニ僅ニ三萬圓ニ過ギマセヌ、斯ノ如キコトモ甚ダ本末顛倒ノ感ガアルノデアリマス、其他或ハ不急ナル新營費ノ如キ、私共ハ何レモ應急ノ時局匡救策トシテ、如何ニモ不適當デハナイカト思フモノガ少クナイノデアリマス、之ニ反シマシテ、私共ガ時局匡救ノ上ニ最モ必要ト考ヘマスル、或ハ地方土木事業、或ハ農林關係ノ土木事業計畫ノ如キハ、如何ニモ過少デアアルノデアリマス、又豫算以外ノ所謂融資計畫ノ内容ヲ見マシテモ、例ヘバ中小商工業者其他ニ對スル低利資金ノ融通計畫ノ如キ、如何ニモ貧弱ナモノデアアル、又不動產金融ノ計畫ノ如キモ、其金額ニ於テハ稍不足ナリト申サナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ私共ガ甚ダ懸念ニ感ゼザルヲ得マセヌ點ハ、内務及農林ノ土木事業ノ如キハ、國費ハ八千六百萬圓デアリマシテ、之ニ對スル地方費ハ實ニ五千六百有餘萬圓ニナッテ居リマス、政府ハ是ガ實施ニ當リテハ、補助ノ歩合等ニ付テ相當ノ考慮ヲスルト云フコトハ申シテ居リマスケレドモ、果シテ今日窮乏セル地方團體ガ、五千數百萬圓ノ新ナル負擔ニ堪ヘ得ルヤ否ヤ、疑ナキヲ得

マセヌ、況ヤ之ニ對スル利子補給ノ計畫ノ如キハ、殆ド御話ニナラヌ程度ノ過少ナモノデゴザリマス、斯様ニ一面ニ不用ナモノヲ認メ、一面ニハ必要ナモノガ甚ダ足りナイ計畫ト相成テ居ル、更ニ又土木事業ニ付キマシテハ、殊ニ私共此席ニ於テ政府ノ嚴重ナル留意ヲ促シテ置クノ必要アリト認ムル一點ガアリマス、ソレハ先程ノ委員長ノ御報告ニアリマシタル、吾々同志ノ豫算總會ニ於ケル附帶決議ノ第二項デアリマス、由來我國ノ土木營繕其他ノ事業ハ、兎角遅レ勝ノモノデアリマス、年々ノ議會ニ提案セラレマスル決算書ヲ緋イテ見マシテモ、恐ラク我國クライ繼續費ノ繰越ノ巨額ニ達スルモノハ、其例少イモノト私ハ思ヒマス、即チ實行ノ誠意ナクシテ、唯豫算ヲ斷斷セントスルノ弊風ガアル、此弊風ハ斷乎トシテ改メナケレバナリマセヌガ、況ヤ今日ノ時局匡救ニ關スル諸計畫ノ實施ニ當リテハ、政府ハ深キ決意ヲ以テ從來ノ陋習ヲ一掃シテ、速ニ事業ヲ進行ヲ圖リマシテ、出來得ベクン本年ノ議會ニ於テハ、或ハ第二ノ追加豫算案ヲ提案セラレモ一策ト思ヒマス、若シ之ヲ緩慢ニ付セラレマシテ、或ハ不用額ヲ生ジ、或ハ會計法ノ規定ヲ濫用シテ、繰越ヲ過大ナラシムルガ如キコトアラバ、是ハ政府トシテハ洵ニ國民ニ對シテ相濟マザルモノデアルト云フコトヲ、今日ヨリ深ク決意ヲ爲スノ必要アリト認ムルモノデアリマス(拍手)

元來斯様ニ政府提出ノ豫算及法律ノ諸計畫ノ中ニ如何ニモ統制ガナク、如何ニモ緊張ヲ缺イテ居ルト云フコトハ、是ハ抑何故デアルカ、私ハ其根本病弊ハ我國ノ多年ノ宿弊デアリマスル所ノ、事務の吏僚ノ手ニ放任シテ、豫算編成ノ事業ニ當ルト云フ點ニアルト思ヒマス、此宿弊ヲ改革スルト云フコトハ、實ハ我國ニ於ケル行政改革ノ、一大眼目デナケレバナリマセヌ、殊ニ今回ハ所謂非常豫算デアアル、非常豫算ノ編成ニ

當テコロ、從來ノ宿弊ヲ打破スルノニハ、絶好ノ機會デアッタニ拘ラズ、政府ハ此點ニ對シ、殆ド留意ヲ爲サレタ跡スラ、發見スルコトノ出來マセヌコトハ、私ノ衷心ヨリ遺憾トスル所デゴザイマス(拍手)

次ニ私共ハ政府ノ今回ノ全計畫ヲ拜見致シマシテ、農村救済ノ中心デアアル所ノ米價及負債整理ノ二大問題ニ對シマシテ、殆ド政府ハ無關心デハナイカト思フ程度ノ冷淡、不徹底ナル態度ヲ表明セラレテ居ラレマスルコトハ、私共ノ斷ジテ默過スルコトノ出來ナイ點デアアルノデアリマス(拍手)此二大問題ニ付キマシテハ、過般來當議場及各委員會ニ於キマシテ、ソレハ慎重ナル論議ヲ加ヘラレマシテ、議會ハ將ニ此兩問題ニ對シテ斷乎タル結論ヲ下スノ日ハ迫ッテ居リマス、此場合私ハ此問題ニ議論ヲ加ヘルコトハ差控ヘタイトハ存ジマスルケレドモ、事ハ豫算審查ノ上ニ極メテ重大ナル關聯ヲ持ツモノデアリマスカラ、私ハ一言之ニ觸レルコトヲ止メルコトガ出來マセヌ、抑、政府ガ今日ニ至ルマデ、相變ラズ欣然トシテ吾々ノ主張ニ聽キ、其態度ヲ改メザル理由ガ那邊ニアルカ、私共ハ了解シ能ハザル所デアアル(拍手)齋藤首相及後藤農相ハ、米穀法ニ付キマシテハ、現在ノ米穀法ガ最早恆久的ノ米穀政策トシテ、適當ナラザルモノデアルト云フコトヲ確認セラレテ居ッテ、速ニ根本的改正ヲ行フノ決意アルコトヲ明言シテ居ラレノデアリマセヌカ、即チ現在ノ米穀法ハ最早恆久的政策タルノ無價值ナルコトヲ政府自ラ是認シ、之ヲ言明致シテ居ルニ拘ラズ、若シ是ガ恆久ノ利益ノ爲ニ當面ノ犧牲ヲ拂フト云フナラバ一理アル、然ルニ恆久ノ策トシテ既ニ米穀法ハ不適當ナルコトヲ政府自ラ是認シ、之ヲ言明シテ居リナガラ、尙ホ戀々トシテ牽勢米價ニ執著セラレノ眞意ハ、抑、那邊ニアルヤ(拍手)是レ斷ジテ國民ノ了解シ能ハザル所デアリマス(拍手)更ニ負債整理ノ問題

モ同様デアアル、政府ハ負債整理ノ組合ノ設置ヲ必要ト認メ居ラレニ拘ラズ、是ガ中樞機關ヲ設ケルコトヲ抑、有害ナリト認メテ居ラレノデアアルカ、或ハ之ヲ無用ナリト認メテ居ラレノデアアルカ、マサカニ政府モ之ヲ以テ有害、又ハ無用ナリト放言スルノ勇氣ハナイ筈デアリマス、若シモ政府ガ吾々同志ノ提案ニ對シマシテ、部局的ノ異論ガアリマスナラバ、何故ニ政府ハ其所見ヲ堂々ト開陳スルノ公明ナル態度ニ出ラレナイノデアアルカ、私共ハ冒頭ニ申シマシタル通り、決シテ難キヲ人ニ求ムル者デハゴザイマセヌ、更ニ問題ガ枝葉末節ノ小問題デアレバ、必シモ吾々ノ主張ヲ固執スル者デハゴザイマセヌ、併ナガラ事ハ農村問題ノ中心デアリ、時局匡救諸政策ノ根幹タルベキ重大ナ問題デアリ、且又公明ニシテ正當ナル主張デアリ、豫算諸案ノ不徹底ヲ補成スベキ重點ナリト申シテモ宜シイと思ヒマスルガ故ニ、吾々ハ茲ニ所信ヲ力説致シマシテ、政府ノ深甚ナル考慮ヲ促サントスル次第デアリマス(拍手)

第四ニ申述ベタイト思ヒマスルコトハ、所謂國民ノ自力更正ニ關スル政府ノ態度デアリマス、吾々ハ國民ノ自力更正ノ運動ガ萌芽マスルコトハ、甚ダ之ヲ喜ブ者デアリマス、隨テ政府ガ此運動ヲ助成セントセラレマスルコトニ對シテハ、何等ノ異議ヲ挾ム者デハゴザイマセヌ、併ナガラ茲ニ私共ガ惑ヒヲ禁ジ能ハザル一點ハ、政府ハ抑、農村困憊ノ根本原因ニ關シテ、十分ナル理解ヲ有セラル、ヤ否ヤノ點デアリマス、農村ノ現在ニ於ケル窮狀ハ、之ヲ單ニ一般經濟、産業ノ悲境ノ結果デアルトノミ、之ヲ解スルコトハ當ラザルモノト信ジマス、況ヤ農村民ノ氣力衰ヘタルガ爲ナリト觀ル者アラバ、非常ニ淺薄ナル謬見デアルト申サナケレバナリマセヌ、吾々ハ寧ロ更ニ根本的ノ重大原因ガ伏在致シテ居ルコトヲ、先以テ意識シナケレバナラヌノデアリマス、

之ヲ一言ニシテ申シマスレバ、吾々ハ農村疲弊ノ根本原因ハ、過去數十年ノ政治其モノ、中ニ、潜在スルモノデハナイカト思フ者デアリマス、申スマデモナク維新以來、我國ハ急速ニ西洋文明ヲ輸入スルコトニ專念致シマシタ、國運ノ發展ニ邁進致シテ參、譯デゴザリマスルガ、當時ノ政治トシテハ固ヨリ大體ニ於テ誤リナカリシモノト私ハ認メマス、併ナガラ物ニハ利弊相伴フモノデアリマシテ、明治時代ノ政治ハ勢ヒ中央集權ノ政治ト相成リ、中央集權ノ政治ハ所謂大都市中心ノ政治トナリマシテ、ソコニ農村衰退ノ素因ガ醸成セラレタモノデアリマス(拍手)私ハ今日ハ政治ノ上ニ考フベキ幾多ノ問題ノ中デ、中央集權的ノ政治ヲ改メマシテ、眞ノ地方自治ヲ確立致シ、ソコニ國家ノ安泰發展ノ基礎ヲ置カナケレバナラヌト云フ所信ヲ、抱イテ居ル者デアリマス(拍手)今日ノ町村ノ狀態ハ果シテ如何デアリマス、殆ド國家事務處理ノ出張所ノヤウナ觀ヲ持ッテ居リマス、隣保輯睦純正ナル自治ノ實ヲ、ソコニ發見スルコトハ出來マセヌ、府縣ニ至ッテハ全ク中央政府ノ代辦機關タルノ觀ヲ呈シテ居ルノデアリマス、ソコニ思ヒテ致シ、ソコニ地方ノ疲弊、農村困憊ノ根本原因ノ横ッテ居ルコトヲ意識シテ、茲ニ地方制度其他ニ於テ、一大改革ヲ加フルノ必要アリト私ハ信ズル者デゴザイマス(拍手)即チ今日ノ地方農民ハ更生セント欲シマシテモ、現在ノ制度其モノガ農村ノ更生ヲ阻害スル此狀態ニ於キマシテ、唯國民ノ自力更生ノミヲ考ヘルト云フコトハ、寧ロ本末顛倒ノ事デハナイカト私ハ思ヒマス(拍手)吾々ハ敢テ此問題ニ對シマシテ、政府ガ相當ノ提案ナカリシコトヲ彼此レ申ス者デハゴザイマセヌ、唯如何ニモ政府當局ガ此點ニ對シマシテ、思ヒララ致シテ居ラレナイ狀態ヲ見マシテ、衷心遺憾ヲ禁ジ能ハザルコトヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス

以上申上ゲマシタ事ニ依テ明デアルト信ジマスルガ、私共ハ政府計畫ノ諸案、殊ニ政府提出ノ豫算案ノ内容ガ、本院ノ決議ノ趣旨ニ對シマシテ、甚ダ不満足ナルモノデアルト云フコトヲ申サマルヲ得マセヌ、併ナガラ時局ハ如何ニモ窮迫デアリ、不十分デアリマシテモ、豫算ノ成立其モノニ對シマシテハ、國民の要望甚ダ急ナリト認メマスルガ故ニ、豫算諸案ニ對シマシテハ、吾々ノ主張ヲ明ニ致シマシテ、之ニ賛成スル所以ヲ申述ベテ、此壇ヲ降ル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 木暮武太夫君
○砂田重政君 議長
○議長(秋田清君) 砂田重政君
○砂田重政君 民政黨ヲ……
○議長(秋田清君) 通告順ニ依テ發言ヲ許シマシタ、木暮君ハ拋棄サレマスカ
〔後廻シ〕〔拋棄〕ト呼フ者アリ
○議長(秋田清君) 木暮君ノ御發言ヲ後廻シト認メマス——小川郷太郎君
〔小川郷太郎君登壇〕

○小川郷太郎君 私ハ只今議題トナッテ居リマスル豫算案ニ關シマシテ、政府案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、ソレニ對シマシテ希望ヲ附シタイノデアリマスガ、ソレハ既ニ委員長カラ御報告ニナッテ居リマスノデ、其事ハ後カラ辯明シタイト思ヒマス
前議會ニ於キマシテ吾々ハ時局匡救ニ關スル決議案ヲ出シマシテ、政府ハ速ニ臨時議會ヲ召集シテ金融ノ疏通、負債ノ整理、土木事業ノ普遍の實行、農産物其他ノ生産販賣ノ統制ト云フコトニ付テ、案ヲ具シテ提出スベシト註文ヲシタノデアリマス、斯ノ如キ註文ヲ政府ニスル以上ハ、吾々モ自ラ具體案ヲ案出シナケレバナラナイト云フノデ、我黨ハ之ニ對シマシテ相當ノ具體案ヲ作りマシテ、之ヲ政府ニ進言致シタノデアリマス
此議會ニ於キマシテ提案セラレマシタ政

府ノ時局匡救ニ關スル對策ヲ見マスルト、私等ノ具體案トシテ案出シタモノ、政府ニ進言シタモノト、大體ニ於テ違ハナイノデアリマス(拍手)一體此豫算ハ、是等ノ時局匡救ニ關スル對策ヲ、財政的手段ヲ具體化スルモノニ外ナラナイノデアリマス、是ガ故ニ吾々ハ、吾々ノ主張ガ此豫算ニ於テ具體化サレテ居ルト云フコトヲ承知シマシテ、本豫算ニ賛成ノ意ヲ表サザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)

豫算ノ内容ヲ檢討致シマスルト、只今政友會ノ方カラ——殊ニ山崎君ガ指摘セラレマシタヤウニ、中ニハ吾々ハ餘リ適當デナイト見ルモノガアルト思ヒマス、殊ニ年々各省ガ要求シ、大藏省ガ之ヲ拒絕シタヤウナモノヲ、時局匡救ノ豫算案ノ中ニ織込シタモノノアルト認メマス、其點ニ對シマシテ吾々ハ不満足ノ意ヲ表スルコトハ山崎君ト違ヒマセヌ、併ナガラ此豫算ヲ以テ、漫然タル費目ノ羅列デアルトカ、雜然タル項目ノ羅列デアルト評スルニ至テハ、私ハ之ニ同意ヲ表スルコトガ出來ナイノデアリマス、豫算ノ全體ニ互リマシテ流レテ居ル所ノ精神、根本的指導原理ナルモノヲ、能ク探シテ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ハ此豫算ヲ以テ完全ナルモノト思ハナイ、之ニ不満足ノ意ヲ表シマスルケレドモ、此豫算ノ中ニ流レテ居ル一ツノ精神ガアルコトヲ認メザルヲ得ナイノデアリマス、ソレハ何デアアルカト言ヘバ、第一ニ或ハ購買力ヲ涵養スル、或ハ生産販賣ノ統制ヲスル、ソレニ依テ物ノ價ノ下テ行クコトヲ支ヘテ行カウト云フ精神、第二ニ金融ノ疏通ヲ圖テ、信用ヲ回復シテ行カウト云フ精神デアリマス、此精神ハ此豫算ヲ通シテ流レテ居ルト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)

シマシテ從來色々ト對策ガ講ゼラレタノデアリマス、或ハ通貨ノ對内價值、或ハ通貨ノ對外價值ヲ下ゲ、物價ヲ上ゲテ不況ヲ打開シヨウト云フ考ガ廣ク行ハレ、又之ヲ實現セントシタル當局者モアタノデアリマス、然ルニ其試ミハ全然失敗ニ歸シタノデアリマス、是ガ故ニ今日ノ時局ニ際シテ爲替相場ヲ下ゲタリ、其他貨幣價值ノ下落ヲ招來シテ、時局ヲ救フト云フコトハ出來ナイコトガ明トナッタノデアリマス(拍手)何故ニソレガ失敗シタデアラウカト申シマスルニ、要スルニ大衆ノ購買力ガ缺ケテ居ルト云フコトニアルノデアリマス、大衆ノ購買力ヲ増サナイデ、漫ニ通貨ノ價值ヲ下ゲテ物價ヲ上ゲルト云フコトハ出來ナイ、今日ノ政治ノ要諦ハ、大衆ノ購買力ヲ涵養スルコト云フコトニアル、大衆ノ購買力ヲ涵養スル方法ト云フモノハ、一ニシテ足りマシメハ、政府ノ施設トシテ行フニ當リマシメハ、廣ク全國ニ互リ、市町村ノ隅々迄ニ行渡リマシテ、土木事業ヲ起シ、之ニ依テ地方發展ニ必要ナル基礎ヲ作ルト共ニ、勞働ニ堪ヘル所ノ者ヲ之ニ從ハシメ、之ニ依テ賃銀ヲ得、所得ヲ得、以テ各自ガ相當ノ購買力ヲ得ルヤウニスルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、其見地カラ出デマシテ、吾々ハ土木事業ノ普遍的實行ヲ唱ヘ來シタノデアリマス、然ルニ、政府ノ考モ茲ニアルト見エ、此豫算ヲ見ルト、其大部分ハ、此種土木事業ノ普遍的實行ニ要スル經費ガ、計上セラレテアリマス、内務省ノ農村振興土木事業、農林省ノ農林土木事業ト併セテ見マスルト云フト、國費地方費ヲ合セ、國費ハ公債ニ依テ支辨シテ行キ、地方費ハ政府ガ資金ヲ融通シテ行クノデアリマスカ、ソレダケヲ合セテ見マシテモ、約一億二千萬圓ニ垂、トシテ居ルノデアリマス、而シテソレニ使ハレル所ノ勞働者ノ延人員モ、極メテ大ナルモノガアリマス、農林省ノ示サレタ數字ニ依リマシテモ、七年度ニ

計畫シテ、八年度ニ及ブモノモアリマスガ、延人員一億千六百万人ト云フノデアリマス、内務省ノハ延人員七千万人ニ及ンデ居リマス、陸海軍其他ノ省ノ關係工事ニ於キマシテ、勞働者ヲ使テ行ク所ノ數ハ、尙ホ千何百万人ニ上テ居ルノデアリマス、斯ノ如ク土木事業ガ普遍的ニ行ハレマシテ、斯ノ如ク多クノ勞働者ガ之ニ使ハレルト云フコトニナリマスレバ、最モ所得ノ乏シイ者、購買力ノ乏シイ者ガ、之ニ依テ所得ヲ得テ、購買力ヲ増スト云フコトニナルト思フノデアリマス、私ハ從來ノ豫算史ニ於キマシテ、斯ノ如キ見地ニ立テ豫算ヲ編成セラレタコトヲ聞キマセヌデシタ、此前例ニ乏シイ所ガ即チ此豫算ノ特質デアリマス、岡田委員長ハ、只今報告ノ中ニ於キマシテ、此金ガ地方ニ廻ルコトハ一町村ニ十五六圓ノヤウニ言ハレマシタケレドモ、ソレハ何カノ御間違デハナイカト思フノデアリマス、既ニ農林省及内務省ノ土木事業ダケニ於テモ一億二千萬圓、ソレヲ一万二千ノ町村ニ割テ見マスルト云フト、一町村平均一萬圓デアリマス、サウシテ文部省ノ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○小川郷太郎君(續) 文部省ノ市町村立尋常小學校臨時國庫補助法ニ依リマシテ、地方ニ分布スル金ハ一千二百餘萬圓デアリマスカラシテ、先ヅ一町村平均千圓デアリマス、之ニ關聯シテ……

(一戸當リダ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○小川郷太郎君(續) 岡田君ハ一戸當リトハ言ハレマセヌデシタ、一町村ト言ハレマシタカラシテ、私ハ茲ニ之ヲ是正セントスル者デアリマス

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○小川郷太郎君(續) 兔ニモ角ニモ斯ル相當ノ金カ、市町村ニ分布セラレルト云フコトニナリマスレバ、購買力ヲ涵養スルコトハ出來得ルモノデアルト、斷言シ得ラレルノデアリマス(拍手)尙ホ中小商工業ヲ振興スルト云フ意味ニ於キマシテ、或ハ海軍省ノ艦艇ヲ製造スルトカ、陸軍省ノ軍需品ヲ製造スルトカ、或ハ遞信省ノ船舶改善事業其他ノ工事トカニ關係シ、使ハレル費用ヲ一絡ニ加ヘテ見マスルト云フト、都市ニ分布セラレレル所ノ金モ、相當ニ巨額ナリト認メザルヲ得ナイノデアリマス、之ヲ要スルニ政府事業ニ依リマシテ相當ノ金ガ分布セラレ(ノ)ソレガ而モ小サイ勞働者ニ行渡ルノデアリマス、單ニ平時ニ於テ土木事業ヲ行フト云フトハ違ヒマス、目指ス所ハ社會ノ小サイ細胞ニ所得ガ行渡ルト云フコトニ存スルノデアリマス(拍手)是ガ此豫算ノ魂デアリ、精神デアルト私ハ思フノデアリマス

次ニ生産販賣ノ統制ニ付キマシテ考ヘテ見マスルト云フト、今日ノ農村不況ノ一ノ原因ハ、世界ノ不況ト同ジヤウニ生産過剩ニ存シテ居ル、即チ滞貨ノ多クナッタト云フコトニ原因シテ居リ、而モ之ヲ統制スル方法ヲ知ラスノデアリマス、是ガ故ニ此生産販賣ニ對スル統制ヲ付ケルト云フコトガ必要トナリマス、吾々ハ之ニ對シテ一ノ具體案ヲ考ヘテ政府ニ進言シタノデアリマス、一々之ヲ茲ニ申上ゲル暇ハ持マセヌガ、中小商工業ニ對シマシテモ、或ハ商業組合ヲ設ケマシテ一ノ團體的、統制的進退ヲスル必要ガアルト云フコトヲ認メタノデアリマス、ソレガ政府ニ於テ實行セラレ、ソレニ關聯シテ豫算モ出テ居ルノデアリマス、或ハ農村ニ於ケル蠶ノ問題、生絲ノ問題ニ致シマシテモ、從來之ガ生産販賣ニ對シテ統制ガナイ、ソコデ其統制ヲ行フガ爲ニ、或ハ製絲業法ヲ立ツルニ至ッタノデアリマス、吾々ハ此立法ヲ主張シタノデアリマス

ルガ、此法律ヲ行フ爲ニ經費ガ必要トナリ、ソレガ此豫算ニ編込マレテ居ルノデアリマス、殊ニ米ニ關シマシテハ今日ノ大ナル問題トナリテ居リマシテ、只今山崎君モ之ニ論及サレマシタ、今日ノ米ノ價ヲ維持シテ行カウト云フコトハ、方法ハ色々アルト思フノデアリマス、政友會ノ御方ハ單ニ率勢米價ヲ打チ壊ハシサヘスレバ、米ノ値段ハ維持サレルト考ヘテ居ラレマス、何レ後ニ法律案ノ討究ニ於テ明ニナラウト思ヒマスノデ、私ハ茲ニ深ク論ジ入ル必要ガナイト思ヒマスケレドモ、山崎君ガ此問題ニ論及セラレタ以上ハ、私モ一言之レニ及ンデ見タイト思フノデアリマス、此秋ノ米ガドウ云フ風ニナルカト云フコトガ問題デアリマス、ソレニ對シマシテ相當ニ買上ゲテ行ク必要モアラウト云フノデ、吾々ハ米穀需給調節特別會計法ノ中ノ米穀資金ヲ一億三千万圓増スコトニシテ居ルノデアアル、之ヲ吾々ガ主張シテ居ラタノデアリマス、尙ホ内地ノ米ノ値ヲ脅カスモノハ朝鮮米、臺灣米ガ一時ニ殺到スルト云フコトデアリマス、其朝鮮米、臺灣米ガ一時ニ殺到セナイヤウニ、月別平均的ニ移入セラレラユウニシテ、政府ハ之ヲ買上ゲシテ行ク必要ガアリマス、ソレヲ吾々ハ主張シテ來タノデアリマス、政府モ米穀應急施設法案ヲ提出シ、其中ニ其趣旨ヲ認メテ居ルノデアリマス、尙ホ米ヤ粉ノ貯藏ヲ獎勵シテ行キ、米ガ一時ニ市場ニ出テ來ナイヤウニ致ス必要ガアリマス、ソレガ米穀應急施設法案ニ定メラレ、豫算ニ出テ居リマス、斯ノ如ク諸種ノ方策ヲ講ズルト縱シ本年ノ米ハ豐作デアリマシテモ、非常ニ米ノ値ガ下ッテ來ルト云フモノデハナイ値ノ下ルヲ防ギ止メルコトガ十分出來ル、況ヤ一億三千万圓ノ米穀資金ヲ増シテ之ニ備フルニ於テヤデアリマス、而モ率勢米價ヲ取去ッテ行クト云フコトニナレバ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ
○小川郷太郎君(續) 即チ米穀ヲ買上グル基準ガ無クナル、米穀買上ノ基準ヲ無クシテ、無軌道ニ政府ガ米ヲ買上グルト云フコトニナリマスレバ、吾々ガ嘗テ過去ニ於テ弊害ヲ見タ如ク、必要ノナイ時ニモ、米價ノ既ニ高イ場合ニ於テモ、濫ニ米ヲ買フト云フヤウナコトガ起リテ來ルノデアリマス(拍手)
ソレガ爲ニ國庫ノ利益ヲ害シ、而モ亦消費者ノ利益ヲ害スルト云フコトニナルノデアリマス、苟モ行政ノ局ニ當ル者ガ神ニ非ザル限り過チモアリマスルカラシテ、過チノナキヤウニ法律ガ一定ノ買上ノ基準ヲ定メルト云フコトハ當然デアラウト思フノデアリマス、其基準ヲ撤去シテ如何ニシテ米ヲ正當ニ買上ゲルコトガ出來ルデアリマセウカ(拍手)私ハ政友會ノ諸公ガ此點ニ於テ深ク留意セラレコトヲ望ムノデアリマス、今日ハ立憲政治ガ非議セラレテ居ル時デアリマス、法律ニ依テ行政府ノ歩ム途ガ明ニナリテ居テ、決シテ人ヲシテ之ニ對シテ疑ヲ挿マシメナイ様ニスルコトガ、吾々が立憲政治ヲ守ル要道デアルト思フノデアリマス(拍手)サウ云フ點ヨリ出發シマシテ、私ハ不幸ニシテ山崎君ノ御意見ニ賛成スルコトガ出來ナイノデアリマス、政府ノ米ニ關スル施設ニ賛成シ、ソレニ關係シテ居リマス所ノ豫算ニ協賛ヲ與ヘント欲スルモノデアリマス(拍手)

第二ニ此豫算ノ中ニ流レテ居リマスル一ツノ精神ハ、金融ノ疏通ニ依テ信用ヲ回復シテ行クト云フ點デアリマス、此點ハ大藏大臣ガ豫算委員會ニ於テモ力説セラレタ所デアリマシテ、政友會ノ諸君ハ能ク之ヲ諒承サレテ居ル筈ダト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ豫算ニ精神ガナイト云フコトハ、恐クハ政友會ノ御方モ主張セラレナイデアラウト思フノデアリマス(拍手)今日ノ財界ガ行詰ラテ居リマスト云フコトハ、一方面カラ見レバ金融ガ梗塞シテ居ルト云フコトデアアル、此金融ノ梗塞ヲ解イテ行クトガ必要デアアル、ソレ故ニ吾々ハ此見地ニ立チマシテ、或ハ不動産ノ固定化シテ居ルモノヲ流動化セシムベシト主張シ、或ハ農村ノ小資産者ニ對シマシテ無擔保貸付ヲスル必要ヲ説キ來タノデアリマス、又農村ノ背負テ居リマス所ノ負債ニ對シマシテハ、之ヲ整理スル必要ヲ唱ヘ、政府ノ低利資金ニ對シマシテハ、暫ク猶豫スルコトヲ求メ、其他ノ負債ニ付シマシテハ或ハ負債整理組合ヲ作り、或ハ金錢債務調停法ヲ作り、之ニ依テ債務者ノ力ニ應ジテ償還スル途ヲ開カント主張シ來タノデアリマス(拍手)
ソレガ此議會ニ於テ具體化サレントシテ居ルノデアリマス、ソレニ關聯シテ豫算ガ請求サレテアルト思フノデアリマス、即チ政府ハ此見地ニ立チマシテ、農村振興、土木事業、農業土木事業資金ヲ併セ、是等各種ノ資金ヲ預金部ヨリ二億二千六百万圓融通シ、三年間ニ於キマシテハ、十一億ニ垂、トスル所ノ金ヲ融通シヨウトシテ居ルノデアリマス、一方カラ見マスト云フト、預金部ノ金ハ、財界ニアル資金ガ郵便貯金ノ形デ日本銀行ニ還テ來ルノデアリマシテ、其融通ニ依テソレガ又出テ行クト見ルコトガ出來ル、從テ預金部ノ資金融通ハ、或ハ通貨ノ供給ヲ大ナラシムルモノトハ言ヘヌカモ知レナイト思フノデアリマス、所ガ此豫算ニ依ル政府ノ支出ハ公債ニ依テ支辨セラレルコトニナリマス、其公債ハ本年一億七千六百万圓ニ上リマス、從來ノ公債計畫ハ合セマスト云フト七億八千万圓ニ上リマス、其中日本銀行ヲシテ引受ケシムル見込ノ公債ハ六億七千万圓デアルト大藏大臣ハ御演説ニナリテ居リマス、之ヲ三年間ノ時局匡救豫算ニ付テ見マスレバ、三年間ニ於テ六億ノ時局匡救ノ經費ヲ支出シヨウト言ハレノデアリマス、數字ハ能ク似テ居リマスガ、本年度ニ於テ日本銀行ガ引受ケル所ノ公債ハ六億七千万圓ニ上ルノデアリマス、ソレガ

問題ニナリマス、大體日本銀行ノ引受ニナリマスモノハ、ソレダケ通貨ガ新タニ社會ニ出ルモノト見ナケレバナリマセヌ、併シ一旦出タ通貨ガ、果シテ流通過程ニ入り財界ニ止テ居ルカ、ソレトモ日本銀行ニ還テ來ルカト云フコトハ、一ツノ問題デアリマス、此點ニ付キマシテ私ハ大藏大臣ノ意見ヲ交換シタノデアリマスガ、大藏大臣モ其中ノ或モノハ還テ來ル、或モノハ流通過程ニ止テ居ルト云フコトヲ申サレマシタ、私ハ今日ノヤウナ財界不安ノ空氣ガマダ濃厚デアル時ニハ、一旦社會ニ出マシタ通貨ハ、マダ相當ニ還テ來ルモノデアルト云フコトヲ信ジマス、併ナガラ今回ノ豫算ニ於キマシテハ、政府ガ金ヲ出シテ地方ノ土木事業ヲ爲シ、而シテ町村ノ末々迄ニ互ル、即チ小サイ細胞マデニ互ラテ通貨ヲ供給スルト云フコトニナルノデアリマスカラシテ、茲ニ多少還流ニ付キ一ツノ抵抗力ガ出來テ來マシテ、急ニ還ラナイモノモ出來テ來ル、即チ六億圓ノ日本銀行ノ公債引受ニ依リマシテ、或モノハ還テ來ルガ、或モノハ社會ニ相當ニ止テ居ルト思フノデアリマス、此社會ニ相當ニ止テ居ルト云フノガ、下痢症ヲ病ンデ居ル日本ノ財界ニ榮養物ヲ攝取セシムル方法デアルト思ヒマス、是ガ此豫算ノ一ツノ特色デアルト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)茲ニ豫算ノ精神ナルモノガ儼乎トシテ侵スベカラザルモノトシテ存シテ居ルト思フノデアリマス(拍手)此點カラ見マシテ、私ハ此豫算ナルモノハ、今日ノ時局ヲ匡救スルコトガ相當ニ出來ルモノデアルト云フコトヲ信ジテ疑ハナイノデアリマス、或ハ議論ヲセラレル人ガ此豫算ヲ見マシテ、二階カラ目藥デ何ノ效能モナイト云フコトヲ言ハレマスガ、何處ヲ抑シテサウ云フヤウナ理窟ガ出テ來ルノデアリマセウ、今私ガ豫算ニ流レテ居ル所ノ精神カラ出發シテ議論ヲシテ來マシタ所ヲ如何ニシテ反駁セラレルノカ、謹ンデ其議論ヲ聽キ

タイト思ヒマス、私ハ虚心坦懷ニ考ヘテ見マスレバ、此豫算ハ決シテ完全無缺ナモノデハナイケレドモ、此豫算ヲ總テ棄テ、惡口雜言デ葬リ去ルベキモノデハナイト信ズルノデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

議ハ出來マス、併シ私ハ只今申上ゲマシタヤウナ豫算ニ流レテ居ル指導精神ニ依テ之ヲ賛成スルモノデアリマス、又一方ニ於キマシテハ何ト言ヒマシテモ、財政ヲ顧慮シナケレバナルマイト思フノデス、又融通スベキ資金ノ源ガ十分ニアリヤ否ヤモ考ヘナケレバナラナイト思フノデアリマス、又仕事ヲ致シマシテモ、其仕事ガ或ル時期ノ間ニ十分ニ出來ルカ否カト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フヤウナ色々ナコトヲ考ヘ合シテ見マスレバ、今日ニ於キマシテハ此位ノ程度ガ満足ヨリ外ナイノデアラウト考ヘルノデアリマス

一、中小商工業對策ハ不十分ナル嫌アリ政府ハ更ニ適切有效ナル對策ヲ講スヘシ

二、政府ハ農漁山村ノ小産者ニ對スル小額無擔保貸付ノ途ヲ拓キ其更生ニ資スヘシ

三、政府ハ速ニ爲替安定ニ必要ナル處置ヲ採ルヘシ

四、内務省ノ農村振興土木事業、農林省ノ農業土木事業ノ施行ニ當リテハ政府ハ特ニ事務ヲ簡便ニ運ヒ取扱ヲ迅速ニシ其事業力速ニ行ハレテ農村救済ノ本旨ニ副フ様最善ノ注意ヲ拂フヘシ

斯ウ云フコトデアリマス、此第四ノ希望條項ハ、政友會ノ附帶決議ノ第二「本追加豫算ハ運用上特ニ意ヲ用ヒ必ス年度内ニ之ガ實施ヲ期スヘシ」ト云フコト、趣旨ニ於テ大體異ニテ居ナイト思ヒマス、私ハソコデ後ノ三ツノ希望條項ニ付テ、簡單ニ説明ヲシテ置キマス

パナラスト云フコトヲ考ヘテ居リマス、政府ノ豫算ヲ見マス、内務省ナリ農林省ノ方ニ於キマシテハ、經濟更生ニ關スル所ノ施設ガ出來テ居リマス、ニ拘ラズ、商工省ノ豫算ニハ現レテ居リマス、其他色々商工省ノ施設ニ對シマシテ、望ムベキモノハアルノデアリマスガ、ソレヲ玆ニ一々ハ説キマセヌ、豫算委員會ニ於テモ、他ノ委員會ニ於キマシテモ、私等ハ此點ニ於キマシテ主張ヲシテ居ルノデアリマス、政府ガ之ヲ酌取ラレマシテ、適切有效ナル對策ヲ講ゼラレンコトヲ望ムノデアリマス

次ニ金融ノコトニ付キマシテハ、大體申上ゲマシタガ、私等ノ主張ノ中デ一ツ政府ガマダ十分ニ御開闢ケニナラナイモノガアリマス、ソレハ此處ニ申シマシタ農漁山村ノ小産業者ニ對スル小額無擔保貸付デアリマス、既ニ政府ハ支那ニ居ル所ノ日本人ニ對シテスラ「ボーイコット」ニ依テ苦シデ、營業ガ十分ニ出來ナイト見レバ、之ニ對シテ五百萬圓ノ金ヲ貸付ケラレテ居リマス、此事ハ既ニ豫算委員會ニ於テモ問題ニナッタ所デ、皆様ノ御承知ノ所デアリマス、商工省ノ方ノ豫算ニ付テ見マシテモ、中小商工業者ノ金融ノ爲ニ、三千萬圓ヲ融通スルト云フコト、ナッテアリマス、其融通ヲ徹底スル爲ニハ、府縣ガ損失補償ヲスル、中ニハ五千圓迄ハ無擔保貸付、ソレニ依テ中小商工業者ガ生業ヲシテ行ク所ノ便ニ備ヘルノデアリマス、ソレト順應スベキ所ノ小農、謂ハバ貧農ニ對シマシテ、融通スル所ノ方法ガ考ヘラレテ居リマセヌ、私等ハ此問題ニ付キマシテ、實ハ總理大臣ニモ、大藏大臣ニモ、非公式ニ進言致シマシテ、意見ヲ述ベタコトモアリマスガ、豫算委員會ニ於キマシテモ此意見ヲ述ベマシテ、而シテ政府ノ觀ル所ヲ聽キマシタ、農林大臣ハ之ニ對シマシテ、現政府ノ政策トシテ之ヲ行フト云フコトヲ明言サレマシタ、大藏大臣ハ之ニ對シマシテ、マダ金ガ無い、而モサウ

云フ交渉ハ受ケテ居ナイト云フコトヲ申サレタノデアリマス、而シテ總理大臣ニ之ヲ聽キマス、大體農林大臣ノ言ハレタコトト同ジコトヲ申サレテ居ルノデアリマス、既ニ現政府ノ政策トシテ行ハレルト信ズルモノデアリマスガ、大藏大臣ガ之ニ對シテ資金ノナイト言ハレ、躊躇ノ色ガアリマス、私ハ私等ノ主張ヲ致シマシテ、希望ト致シマシテ、玆ニ其意思ヲ表明シテ置キタイト思フノデアリマス、政府ガドウカ吾々ノ主張ヲ諒トシ、早ク之ヲ實行セラレンコトヲ希望スルモノデアリマス

最後ニ爲替ノ問題デアリマスガ、爲替ハ今日ニ於ケル重大問題デアリマス、或ハ爲替政策ト致シマシテ爲替ノ下ルコトガ宜イ、ソレニ依テ物價ガ上ルンダ、財界ガ好クナルンダト云フコトヲ論ズル人モアリマスケレドモ、前既ニ述ベマシタ通りニ、過去ノ體験ニ依リマシテ、吾々ハ其間違デアルト云フコトヲ明カニシタノデアリマス、殊ニ爲替ノ動搖ガ已マナイト云フコトハ、總テノ事業ヲ投機化致シマシテ、而シテ正當ナル取引ガ行ハレヌコトニナリマス、殊ニ爲替ガ今日ハ二十一弗、二弗ト云フ所迄ニナッテ、今後ドウ云フ風ニ下落スルカ分リマセヌ、之ニ依テ日本ノ財界ガドウナルカ分ラナイヤウニナッテ居ルト思フノデアリマス、爲替下落ニ依リ好影響ヲ受ケルモノモアリマセウケレドモ、苟モ日本ガ原料ヲ外國カラ取テ居ル、其原料ニ依テ商品ヲ拵ヘ日本人ノ消費ニ充テルヤウナモノニアリマシテハ、私ハ非常ナ打撃ヲ受ケ、今後ニ於キマシテ見込ハ十分ニ立タナイモノデアルト考ヘルノデアリマス、況ヤ外貨社債ヲ負テ居リマス會社ニ於キマシテハ、其前途ハ實ニ暗澹タルモノガアルノデアリマス、斯ウ云フコトデ日本ノ財界ノ建直シト云フコトハ、容易ニ出來ナイ、不況打開ヲ片方ニ策シテ居リナガラ、此爲替ノ不安定ヲ其儘ニシテ置キマス云フト、ドウシ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——尾崎君、注意シマス

テモ其不況打開ノ目的ヲ達スルコトハ出來
ナイト考ヘルノデアリマス、政友會モ此間
マデ爲替ノ下ルコトニ賛成ヲシテ居ラレ
ヤウニ聞イテ居リマシタガ、今回ノ議會
於キマシテハ、大口君ヲ始メト致シ、爲替
ノ安定ヲ説クニ至ラレマシタ、私ハ是ハ私
等ノ議論ガ政友會ニモ共鳴スル者ガ出來
來タト思ヒ、國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイト考
ヘルノデアリマス(拍手)兎ニ角モ爲替安定
ノ問題ハ、今日ノ大キナル財界ノ問題デア
リマスカラシテ、政府ハドウカ速ニ爲替安
定ニ必要ナル處置ヲ取ラレンコトヲ希望シ
テ已マナイノデアリマス(拍手)是ガ私等ノ
希望條項デアリマス

最後ニ一言致シマス、政友會ノ附帶決議
ニハ「政府ガ本追加豫算ノ編成ニ當リ三箇年
計畫ヲ以テシタルハ前議會ニ於ケル本院決
議ノ精神ニ副ハサルコト甚シ、宜シク二箇
年計畫ニ改訂シテ其ノ徹底ヲ期スヘシ」ト
ト云フコトデアリマス、私ハ政友會ノ考ヘ
ラレテ居ルコトハ諒ト致シマスガ、併シ大
藏大臣ガ豫算委員會ニ於テモ繰返シ繰返シ
述ベラレテ居リマスル通りニ、此時局匡救
對策ナルモノハ三箇年ニ於テ行フガ、併シ
昭和八年度——來年度ニ中心ガアツテ、來年
度ニ一番澤山ノ經費ガ出テ行ク、其次ノ年
ハ餘波トシテ殘ルノダト思フ、如何ニ事ヲ
早クヤラウトシテモ、十分ニ爲シ遂ゲラレ
ナイモノガ殘ルノハ已ムヲ得ヌコトデア
ルト思フノデアリマス、謂ハハ此時局匡救ノ豫
算ナルモノハ、出發ハ本年デアリマスガ、
ソレハ半箇年程デアリマスカラ少イ、併シ
眞中ニ非常ナ膨レタモノガ出テ來ルノデア
ルト思フノデアリマス、其事ヲ政府ガ既
ニ聲明セラレテ居ル以上ハ、私ハ此政府ノ
聲明ニ信賴シテ可ナリト思フノデアリマス
(拍手)既ニ内務省ノ豫算ニ於テモ分テ居
リマス通りニ、來年度ノ繼續事業ト云フノ
ガマダハキリ出テ居リマセヌ、併シ政府ノ
考ハ、來年度ニ十分ニヤツテ行カウト云フ

ノデアリマスカラ、私ハ是ハ政府ノ爲ス所
ヲ見テ、然ル後ニ判斷シテ宜シイト思フノ
デアリマス、殊ニ政友會ガ第二ノ附帶決議
ニ於キマシテハ「本追加豫算ハ運用上特ニ
意ヲ用ヒ必ス年度内ニ之カ實施ヲ期スヘ
シ」ト云フノデ、僅カ一億七千六百萬圓ノ
モノデモ、能ク使ヒ切レナイモノト見テ必
ズ使ヘト註文サレテ居ル、然ルニ六億圓ニ
モ餘ルヤウナ豫算ヲ來年度迄ニ使ヘシマ
ヘト言フト、第一ノ附帶決議ト第二ノ附帶
決議ナルモノガ、精神ニ於テ矛盾致シテ居
ルト思フノデアリマス(拍手)況ヤ政友會ガ
大藏大臣ヨリシテ繰返シ——諒解ヲ求メラ
レテ居ルモノヲ、反對セラレルト云フコト
ハ、政友會ハ大藏大臣ニ對シテ不信任狀ヲ
突付ケルモノデアルト思フノデアリマス、
私ハサウ云フヤウナ程度ニマデ響カセナク
テモ宜シイノデアルト思フノデアリマス、
斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、政友會ノ附帶
決議ニハ第一項ニ付テハ遺憾ナガラ賛成ス
ルコトガ出來ナイノデアリマス

○議長(秋田清君) 小山谷藏君
(小山谷藏君登壇)
○小山谷藏君 諸君、私ハ只今上程サレテ
居リマスル所謂豫算四案ニ賛成ヲ致スモ
ノデアリマス、併シ賛成ヲスルカラト申
シマシテモ、必シモ政府ノ施設ガ洵ニ結
構デアル、吾々ガ第二臨時議會ニ於テ決議
致シマシタ、其精神ニ副ヒタルモノデア
ルト考ヘルカラ賛成致スノデアリマセヌ、
先ニ政友會ヲ代表サレマシテ山崎君ガ述
ベラレタ通り、否或ル意味ニ於キマシテハ吾
等ノ立場カラ申シマスト云フト、案全體ヲ
通ジマシテ、不滿ダラケデアルト謂ハナケ
レバナラスコトヲ洵ニ遺憾ト致スノデア
リマス(ヒヤ)ソレナラ反對シタ宜イ
デヤナイカ、不滿ダラケナ豫算ニ何デ賛成
致スノデアアルカト申シマスレバ、山崎君ガ
述ベラレタ通り、時局ハ餘リニ窮迫致シテ
居ル、餘リニ重大デアアル、此窮迫重大ナル

時局ヲ、到底匡救スル能ハザルモノデア
ルトハ明瞭デアリマスルケレドモ、若シ小
川君ノ言ハレルガ如ク、之ヲ葬リ去ルガ如
キコトヲ致シマスナラバ、此窮迫シタル重
大時局ハ、更ニ窮迫重大ヲ重ネルト云フコ
トヲ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)
吾々ハ斯ル見地ヨリ、洵ニ政府ノ施設ニ對
シテハ不滿極マリマスルケレドモ、賛成ヲ
致サナケレバナラヌト斯様ニ考ヘテ、今此
賛成ヲ致ス理由ニ付キマシテ、少シク吾々
ノ見ル所ヲ御話申上ゲテ置キタイト思フ
デアリマス

此農村並ニ中小商工業者ノ窮迫ヲ匡救ス
ル對策ト致シマシテハ、申上ゲル迄モナク
根本對策ト應急對策ノ二ツニ分ケテ考ヘル
コトガ出來ルノデアリマス、固ヨリ此臨時
議會ハ、應急對策ヲ審議センガ爲ニ召集セ
ラレタモノデアリマシテ、私ハ此場合、根
本對策ニ付テ敢テ茲ニ論議スベキ場合ニ非
ズト云フコトヲ先ツ認識致シマシテ、此應
急對策ニ對スル吾々ノ所信ヲ明ニ致シタイ
ト思フノデアリマス、先ノ本院滿場一致ヲ
以テ通過致シマシタ決議案ニ明ナルガ如
ク、應急對策ノ最モ重要ナルモノハ農產物
ノ價格ノ維持デアリマス、又更ニ是ト相
並ニ、私共ノ見地カラ最モ大切デアルト考
ヘル問題ハ、所謂負債ノ整理デアリマス、
金融ノ疏通デアリマス、吾々ハ此最モ重大
ナリト信ズル農產物ノ價格ノ維持並ニ負債
ノ整理、若クハ金融ノ疏通ト云フヤウナ點ニ
關シマシテハ、殆ド見レベキ何物ヲモ發見
スルコトガ出來ナイノヲ頗ル遺憾ニ存ズル
ノデアリマス(拍手)小川君ガ御賛成ニナ
レタ理由トシテ、土木事業ニ政府ハ相當巨
額ノ金ヲ使ハレテ、是ガ所謂民間ノ、ドン
底迄浸潤シテ參ッテ、其處カラ購買力ガ生
レテ來ル、此處カラ景氣ノ恢復ガ出テ來ル
ト云フヤウナ御説デアリマシタ、成程此豫算
殆ド大部分ハ所謂土木事業ニ主力ヲ集中サ
レテ居ルコトハ明デアリマス、私ハ此豫算ヲ

見マシテ、政府ガ此點ニ大ニ力ヲ盡サレ
タ云フコトニ付テハ、敢テ反對ヲ致ス者デ
ハアリマセヌ、是ニ因テ所謂失業ノ救済ハ
相當ノ目的ヲ達スルコトハ疑ハナイノデア
リマスガ、併シ失業救済ハ、彼ノ所謂緊縮
節約ヲ本領ト致シマシタ井上財政當時ニ於
キマシテモ、相當巨額ノ金ヲ以テ失業救済
ハヤツテ居クノデアリマス、唯此非常時ト云
フ場合ニ、此失業救済費ヲ其當時ニ較ベマ
スレバ、倍額近所マデ其金額ヲ増シテアル
ト云フコトニ止マリマシテ、之ヲ以テ此非
常時局ヲ救済スルコト云フコトハ、夢ニモ思
ハレヌモノデアアラウト云フコトヲ憂フル
デアリマス(拍手)

先ツ第一ニ農村生産品ノ價格ノ維持ニ關
シテ、如何ニ不徹底ナモノデアアルカト云
フコトニ付キマシテ、吾々ノ見ル所ヲ申上
ゲテ見タイノデアリマス、政府ハ農村生活品
ノ價格ノ維持ニ關シマシテ、殆ド是ト云フ
施設ハアリマセヌ、唯米穀法中ニ、運用資金
一億圓ノ増額ヲ致シマシテ、之ヲ以テ來ル
來秋、應急對策ヲ居リマスル所ノ米ガ出來
スレバ、本年ハ豐作デアラウ、米價ハ暴落
スルデアラウ、茲ニ此資金ヲ以テマシテ、
米穀法ノ出動ヲ促シ、以テ價格ノ維持ヲ圖
ラウトスルノガ主眼デアリマス、他ニ或ハ
臺灣米トカ、朝鮮米ノ輸入ヲ調節スル爲ニ、
一ツノ法律ガ伴ッテ居リマス、米穀法ガ過
去幾年ノ長年月ノ實驗ニ依リマシテ、如何
ナル效果ガアルカト云フコトニ付キマシ
テハ、最早試驗済ノ法律デアリマス、米價ノ
維持、價格ノ調節ト云フコトニ付キマシ
テハ、最早何等ノ效果ナカッタモノデア
ルト云フコトダケハ、一點ノ疑ヲ挾ム餘地ハ
ナイト吾々ハ信ズルノデアリマス(拍手)然
ルニ昨今傳フル所ニ依リマスレバ、此米穀
法中ノ唯一部ニ止マル所ノ率勢米價ガ善イ
トカ惡イトカ云フコトヲ中心問題ト致シ
マシテ、大政黨相互ノ間デ角ヲ突合シテ、
泡ヲ飛バンシテ論ジ合ッテ居ルナドハ、吾々

見マシテ、政府ガ此點ニ大ニ力ヲ盡サレ
タ云フコトニ付テハ、敢テ反對ヲ致ス者デ
ハアリマセヌ、是ニ因テ所謂失業ノ救済ハ
相當ノ目的ヲ達スルコトハ疑ハナイノデア
リマスガ、併シ失業救済ハ、彼ノ所謂緊縮
節約ヲ本領ト致シマシタ井上財政當時ニ於
キマシテモ、相當巨額ノ金ヲ以テ失業救済
ハヤツテ居クノデアリマス、唯此非常時ト云
フ場合ニ、此失業救済費ヲ其當時ニ較ベマ
スレバ、倍額近所マデ其金額ヲ増シテアル
ト云フコトニ止マリマシテ、之ヲ以テ此非
常時局ヲ救済スルコト云フコトハ、夢ニモ思
ハレヌモノデアアラウト云フコトヲ憂フル
デアリマス(拍手)

先ツ第一ニ農村生産品ノ價格ノ維持ニ關
シテ、如何ニ不徹底ナモノデアアルカト云
フコトニ付キマシテ、吾々ノ見ル所ヲ申上
ゲテ見タイノデアリマス、政府ハ農村生活品
ノ價格ノ維持ニ關シマシテ、殆ド是ト云フ
施設ハアリマセヌ、唯米穀法中ニ、運用資金
一億圓ノ増額ヲ致シマシテ、之ヲ以テ來ル
來秋、應急對策ヲ居リマスル所ノ米ガ出來
スレバ、本年ハ豐作デアラウ、米價ハ暴落
スルデアラウ、茲ニ此資金ヲ以テマシテ、
米穀法ノ出動ヲ促シ、以テ價格ノ維持ヲ圖
ラウトスルノガ主眼デアリマス、他ニ或ハ
臺灣米トカ、朝鮮米ノ輸入ヲ調節スル爲ニ、
一ツノ法律ガ伴ッテ居リマス、米穀法ガ過
去幾年ノ長年月ノ實驗ニ依リマシテ、如何
ナル效果ガアルカト云フコトニ付キマシ
テハ、最早試驗済ノ法律デアリマス、米價ノ
維持、價格ノ調節ト云フコトニ付キマシ
テハ、最早何等ノ效果ナカッタモノデア
ルト云フコトダケハ、一點ノ疑ヲ挾ム餘地ハ
ナイト吾々ハ信ズルノデアリマス(拍手)然
ルニ昨今傳フル所ニ依リマスレバ、此米穀
法中ノ唯一部ニ止マル所ノ率勢米價ガ善イ
トカ惡イトカ云フコトヲ中心問題ト致シ
マシテ、大政黨相互ノ間デ角ヲ突合シテ、
泡ヲ飛バンシテ論ジ合ッテ居ルナドハ、吾々

ラ見レバ時代錯誤モ亦甚シト信ズルノデアリマス(拍手)若シ眞ニ農村ノ救済ト云フコトヲ念ト致シマシテ、而シテ救済ノ目的ハ彼等ノ主要生産物デアアル即チ米穀價格ノ維持デアルト云フコトデアリト致シマスナラバ、吾々ハ此米穀法ナドト云フモノニ最早何ノ執著モナク、之ヲ一擲シ去テ、茲ニ國家管理ノ力ヲ以テ此米價ヲ安定シ、其安定ニ依テ生産者タル農民ヲ救ヒ、消費者タル消費階級ノ主要食糧品價格ヲ安定シ努力致サナケレバナラヌト信ジ、吾々ハ茲ニ國家管理ノ米穀法ヲ主張致ス者デアリマス(拍手)

次ニ吾々ハ負擔ノ輕減問題ニ關シ、政府ニ何ノ誠意モナイノデハナイカト疑ハザルヲ得ナイノヲ遺憾ト存ズルノデアリマス、政府ハ文部省ヲ通ジテ、教育費一部ノ補助ヲ地方ニ撒布スル爲ニ、千二百萬圓ノ豫算ヲ要求致サレテ居リマス、洵ニ貧弱極マツタモノデアリマス、之ヲ全國一萬二千ノ町村ニ分配致シタナラバ、七八百圓ニ達スルノデアリマセウ、斯ルモノヲ以テ、是デ所謂國民ノ負擔輕減デアルナドト大言壯語スルニ至レハ、情越モ亦極メリト謂ハナケレバナリマセウ(拍手)論ヨリ證據、政府ハ政府自ラ今日ノ農村ニハ支拂能力ナシト云フコトヲ認メテ居リデアリマセウカ、即チ政府ノ提案ニナッテ居リマス預金部ヨリ地方ニ貸出シタル所ノ六千五百餘萬圓ニ支拂期限到來スル農村ノ負債ニ對シテハ、事實上三年間ノ「モラトリアム」ヲ求メルノデアリマス、民法上ノ契約ニ基ク金錢ノ貸借關係ヲ事實上ノ「モラトリアム」ヲシナケレバナラヌト云フ程窮迫シテ居ル云フ、此事實ヲ認メナガラ、過重ナル負擔ニ苦シデ居ル農村ニ對シテ、負擔ノ輕減ニ對シスノ如ク貧弱ナル考慮ヲ以テ足レリトスルモノハ、吾々ノ立場カラ申シマスレト認識不足モ亦極メリト言ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)私共ハ農民ノ負擔

中小商工業者モ同様デアリマスガ、特ニ農民ノ負擔ヲ輕減シテヤラナケレバナラヌト云フコトヲ茲ニ高調致ス所以ノモノハ、中小商工業者ニ比較致シマシテ、農村ノ負擔ガ不當ニ過重デアルト云フ、此事實ガ現存シテ居ルカラデアリマス、政府ノ手ニ依テ調査サレタル其報告ヲ拜見致シマス云フト、千二百圓ノ收入アル農民ハ、之ヲ商工業者ニ比較致シマスル云フト、農民ノ百ニ對シ商工業者ハ四十七、二千圓ノ收入アル農民ハ之ヲ商工業者ニ比較致シタ場合ニ、農民ノ百ニ對シテ商工業者ハ四十六トナリテ居ルノデアリマス、即チ農村ノ負擔ガ都會ノ商工業者ニ比較致シマシテ、如何ニ不當ニ過重ナモノデアアルカト云フコトハ、此政府ノ調査シタル數字ニ依テ明瞭デアリマス(拍手)何故ニ農村ガ斯ノ如ク不當ニ過重ナル負擔ヲ負ハナケレバナラヌカ、是ハ主トシテ地方費ノ負擔ガ重タイノデアリマス、吾々農村ノ者ガ全國到處其村ノ、或ハ其地方ノ、所謂富豪階級ノ人達ハ、先ヲ爭フテ農村ヲ捨テ、都會ニ移住シツ、アル、此傾向ヲ見タラ、此事實ハ明瞭デアリマス、即チ地方ノ富豪ハ其負擔ノ重キニ堪エルコト能ハズ、之ヲ逃レシガ爲ニ都會ニ移住スル、殘サレタル所ノ農民ハ、其富豪ガ負擔シツ、アツタ其負擔ヲ、又彼等殘サレタル者ノミニ依テ負擔致サナケレバナラヌ、有産階級ノ——富豪階級ノ人達ハ、斯クシテ農村ヲ見捨ルコトガ出來マス、致々トシテ勤勞ニ從事シテ居ル、農業勞働ニ從事スル所ノ本當ノ農民ハ、如何ニ負擔ガ重イカラト云フデ、農村ヲ見捨ルコトハ出來ナイノデアリマス、私ハ若シ一片同情ノ涙アルナラバ、政府當局ニ要求致シマス、此不當ニ過重ナル農村負擔輕減ニ對シテ、更ニ慎重ナル考慮ヲ拂ハレンコトヲ望ムノデアリマス、(拍手)吾々ハ此意味ニ於テ田畑地租三箇年ノ全免ヲ主張致シタイノデアリマス(拍手)吾々ハ更ニ進ンデ千二百萬圓ナドト

云フ、コンナ吾々考ヲ棄テ、教員俸給費全額ニ相當スル負擔額ヲ、農村ノ此貧弱ナル狀態ノ地方カラ撤去致シマシテ、以テ彼等負擔輕減ノ一部ニ補充セラレンコトヲ切ニ高調致スノデアリマス(拍手)

次ニ負債整理ト金融ノコトニ付キマシテ、吾々ノ主張ヲ明ニシテ、政府案ニ贊成致ス理由ヲ明瞭ニ致シタイト存ジマス、農村ノ負債ハ今日五十億圓ト謂ハレテ居リマス、更ニ中小商工業者ハ二十億圓トカ十六億圓トカ謂ハレテ居リマスルガ、此巨額ナル負債ハドウシテ生ジタカト云フコトニ付テ、政府ノ當局者ハ御考ニナツタコトガアルノデアリマセウカ、御承知ノ通り、或ハ十圓トカ十五圓、米一石三十圓トカ或ハ三十五圓ト云フ、彼ノ好況當時、政府ハ農民其他商工業者ニ對シテ、盛ニ所謂産業ノ指導獎勵ヲ行ヒ、農村ニ於キマシテハ或ハ耕地ノ整理デアルトカ、灌漑排水デアルトカ、開墾事業デアルトカ、即チ政府ノ指導ノ下ニ、農民ハ彼ノ好況當時多大ノ負債ヲ起シタノデアリマス(ヒヤ／＼)所ガ昨今世界ノ大勢急變致シマシテ、御承知ノ通り、彼等ハ生産物ノ暴落ヲ見タノデアリマス、米ガ一石二十圓内外、藁ガ二圓、三圓ト云フヤウナ暴落ヲ見タ時ニ、負債ノ整理ドコロデハナイ、彼等ノ生活スラモ到底安全ヲ保障スルコトガ出來ナイノデアリマス、此所謂生産品ノ暴落ノ爲ニ、其生活スラモ安全デナイト云フ狀態ノ下ニ、何トシテ負債ノ償却ガ出來マセウカ(拍手)私ハ斯ノ如ク政府ノ指導ノ下ニ出來タル所ノ農民ノ負債、若クハ中小商工業者ノ負債、而モ何人モ豫測スル能ハザル世界の大變動ニ依テ、物價ノ激落ノ爲ニ其收入ヲ激減シテ、負債ヲ償却スルコトノ出來ナイト云フ狀態ニ至ツタモノハ、之ヲ彼等自身ノ罪デアルト云フコトガ出來マセウカ、是ガ彼等ノ責任ナリトシテ其負債ノ償却ヲ責メルコトガ出來マセウカ、吾々ハ斯ル事情ノ下ニ生ジタ

ル所ノ負債ハ、政府ニモ一部ノ責任ノアルト云フコトヲ斷言致スモノデアリマス(拍手)ノミナラズ、負債ノ償却不能ニナツタト云フコトハ、民政黨内閣時代、金解禁ノ力ヲ以テシテモ、此時代ノ潮流ヲ如何トモスル能ハズ、又政友會ノ諸君ガ金再禁止ニ依テ、之ヲ匡救セント欲シテモ、亦之ヲ如何トモスルコト能ハズ、或ハ亞米利加ノ「フーヴァー」大統領ヤ「マクドナルド」、「ストレーゼマン」ト云フガ如キ大政治家ト雖モ、豫見スルコトノ能ハヌ、此經濟界ノ大激變ハ、是ハ一種ノ不可抗力デアルト云フデモ、決シテ過言デハナイト思フノデアリマス、斯ク觀察シ來レバ、農村ノ、或ハ中小商工業者ノ今日ノ負債ハ、一種ノ不可抗力ヨリ生ジタルモノデアリマシテ、是ガ所謂救済ニ對シテハ、政府自ラノ責任ニ鑑ミマシテ、絶大ノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌト信ズルノデアリマス(拍手)政府ノ提案ニナリマシタ此負債ノ整理、若クハ金融ノ疏通ト云フ重要項目ニ關聯シマシテ、政府ノ提案ニナリマシタ所謂不動産資金化法案、又ハ負債整理組合法ノ如キモノハ、斯ル狀態ノ下ニ呻吟シテ居リマスル所ノ負債ノ整理ニハ、若クハ金融ノ疏通ト云フコトニ付テハ、遺憾ナガラ其效力ハ頗ル乏シイモノデアルト云フコトヲ憂フルノデアリマス(拍手)私ハ斯ル見地カラ致シマシテ、此所謂金融及負債整理ト相關聯致シマシテ、吾々ハ本議場ニ提案致シテアリマスル所ノ、所謂統制銀行ニ依テ、之ヲ中心トシテ此下ニ政府ノ補償ヲ行ヒ、或ハ今回御提案ニナリマシタ如キ、負債整理組合法ノ如キモノヲ活動セシメテ、之ヲ中心トシテ金融ノ疏通ヲ圖リ、以テ此負債整理ヲ實行サレンコトヲ要求致スモノデアリマス(拍手)

(發言スル者アリ)

○議長(秋田 君) 靜肅ニ

○小山谷藏君(續) 私ハ大體豫算ニ關スル吾々ノ見ル所ハ、凡ソ此程度ニ止メマシ

テ、終リニ臨ンデ此豫算案、竝ニ此豫算ノ背景ヲ爲シテ居リマス諸法案ヲ通觀致シマシテ、政府ノ資本財保護ニ餘リニ忠實ナルト云フコトニ驚キ入ラザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)是ハ小川君モ亦政友會ノ諸君モ、必ズ其點ニ付テハ御同感デアリ、高橋大藏大臣モ、其事ニ付テハ御漏シニナクデアリマス。成程政府ノ提案ハ不徹底デアルカモ知ラヌ、不十分デアルカモ知ラヌガ、我國財政ノ將來、收入ノ如何ト云フコトヲモ考慮ニ入レナケレバ、ソナハ亂暴ナコトハ出來ルモノデハナイト云フコトデアリマス、固ヨリ高橋君ノ大藏大臣トシテノ御苦心ニハ、吾々モ多大ノ敬意ト同情ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ此豫算案ノ中ニ、政府ノ不誠意、不忠實ノ爲ニ、高橋君自ラ御心配ニナラレテ居ル、其重點ヲ關却シテ居ル幾多ノ點ヲ發見スルニ至テハ、私ハ茲ニ之ヲ默視スルコトガ出來ナイノデアリマス(拍手)先ヅ第一ニ政府ハ本年六億圓ニ餘ル所ノ巨額ノ公債ヲ發行ニナル、其公債ハ總テ之ヲ日銀ヲシテ引受ケシメルト仰セラレテ居ルノデアリマス、日本銀行ハ條例ノ改正ニ依リマシテ、僅ニ一億二千萬圓ニ止テ居ル準備發行權ヲ、過般ノ改正ニ依テ之ヲ十億圓ニ増額ヲ致シ、茲ニ八億八千萬圓ト云フ巨額ナル所謂準備發行權ヲ獲得致シタ、政府ノ御蔭デ、法律ノ御蔭デ此巨額ナル發行權ヲ獲得シテ、印刷機械一ツヲ以テ此八億八千萬圓ハ自由ニ出來ルノデアリマス、政府ハ本年ノ豫定サレテ居ル六億七千萬圓ト云フ此公債ヲ日銀ニ引受ケセシメテ、而シテ之ニ對シテ五分ノ利息ヲ拂フトハ何事デアリマセウ、日銀ハ政府ノ御蔭ニ依テ此發行權ヲ獲得シ、政府カラ仰付カ、公債引受ニ依テ、本年ダケデモ少クモ三千万圓以上ノ利息收入ヲ獲得致スノデアリマス、私ハ政府ハ何ヲ苦シンデ斯ノ如ク資本財保護ヲ擁護シナケレバナラヌノデアルカト云フコト

ヲ疑フノデアリマス(拍手)又融資法案ヲ繞リテ居リマス所ノ金融關係ヲ點檢致シマシテモ、御承知ノ通り政府ハ本年十月一日ヨリ郵便貯金ノ利下ヲ斷行致シマシテ、之ヲ三分ニ引下ゲタノデアリマス、此郵便貯金ヲ資金トスル所ノ政府預金ハ、此度政府ノ提案ニナリマシタ融資法案ニ、今後三箇年ニ跨リテ勸業銀行ニ向テ五億圓ヲ融通スルコト、ナルノデアリマス、政府ノ説明ニ依レバ此低利資金、即チ預金部ヨリ勸業銀行ノ取次銀行ニ放出サレル金ハ五分六厘ト云フコトデアリマス、預金部ハ三分ノ資本ヲ民間カラ預リマシテ、之ヲ低利資金ナリト稱シテ勸業銀行ニ五分六厘ヲ融通シテ、其間二分六厘ト云フ利鞘ヲ取テ、更ニ勸業銀行ハ所謂取次ノ費用ト致シマシテ六厘ノ利鞘ヲ其間ニ稼イデ、六分二厘ノ金ヲ所謂融資法案ノ御蔭デ民間ニ融通サレルコトニナッテ居ルノデアリマス、預金部ハ一方零碎ナル國民ノ預金ニ對シテ一分二厘ノ利下ヲ斷行シ、他方此所謂低利資金融通ニ對シテ、其間二分六厘ノ高利ノ利鞘ヲ稼グトハ、預金部モ亦即チ資本財保護ト同一ノ罪惡ヲ犯スモノト言ハナケレバナリマセヌ(拍手)

私ハ此處マデ議論ヲ進メテ參リマス云フト、公債利下政策ニ關シテ一言ヲ致サナケレバナリマセヌ、政府ハ低金利政策ヲ徹底セントシテ居ルコトハ申上グル迄モアリマセヌ、只今御話シタ郵便貯金ヲ三分ニ利下シタ、是ハ大藏大臣ノ一大英斷デアリマセウ、更ニ所謂「インフレーション」政策ト相伴ウテ、金利ハ大ニ低下スルモノデアルト云フコトヲ信ジテ疑ヒマセヌ、政府ハ國家ノ權力ヲ以テ低金利政策ヲ遂行セントスル時ニ、只今御話シタ如ク日銀ニ對シテ何ヲ苦シンデ五分ト云フ高利ノ公債ヲ發行シナケレバナラヌト云フ義務ガアルデアリマセウ、低金利政策ヲ遂行スル時ニ、公債ノ市價、或ハ其他ノ財産ノ市價ハ騰貴スルノデアリマス、一面ニ於テ此財産ノ市價ノ騰貴ニ依テ、所謂資本家階級ハ大ナル利益ヲ得ントスル時ニ、私ハ政府ノ低金利政策ト相竝ンデ、此公債ノ利下ト云フコトニ付テモ、深甚ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ大問題デアルト云フコトヲ信スルノデアリマス(拍手)若モ日本銀行ニ對スル公債ニ致シマシテモ、又ハ只今御話致シマシタ預金部ノ低金利政策ニ致シマシテモ、又既發公債ニ對スル借換ニ致シマシテモ、若シ眞ニ國家ノ爲ニ忠實ニ此財政計畫ヲ御立テニナラウトスルナラバ、其處ニ考慮スベキ幾多ノ問題ガ此度提案ニナッテ豫算ノ中ニアルト云フコトヲ發見サレル、私ハ政府ノ時局ニ對シテ如何ニモ不忠實デアル、不誠意デアルト云フコトヲ茲ニ痛歎セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)

私ハ終リニ滿洲移民政策ニ關シテ

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○小山谷藏君(續) 一言主張ヲ明ニシテ置キタイト思フノデアリマス(拍手)過般本議場ニ於ケル内務大臣ノ御演說ハ、我國ノ外交史上劃時代的ノ大演說デアッタト拜聴致シタノデアリマス、而シテ外務大臣ノ御演說ノ趣旨ヲ徹底セシメンガ爲ニハ、吾々同時ニ滿蒙移民問題ニ對シテモ、相當ノ計畫ガナケレバナラヌト云フコトヲ信ズル者デアリマス(拍手)吾々ハ如何ナル犠牲ヲ拂ウテモ、少クモ三百万ヤ五百万ノ大和民族ヲ、彼處ニ植付ケナケレバナラヌト云フ信念ヲ有テ居ル者デアリマス(拍手)然ルニ此度政府ノ豫算ニ現ハレタル所ヲ見マスト云フト、僅ニ二十萬圓ノ移民助成費用ガ要求サレタルトハ、何ゾ夫レ貧弱ナコトデアリマセウ(拍手)吾々ハ政府ノ此大ナル外交方針、大ナル世界進出ノ所謂決心ヲサレタ滿蒙政策ニ伴ウテ、更ニ大ナル移民獎勵ノ御方針ヲ立テラレンコトヲ、茲ニ要スル者デアリマス(拍手)

斯ノ如ク政府ノ態度ハ國家機構ノ農村ノ地位ヲ解セズ、時局ニ對スル認識ヲ誤リ、爲ニ其施設ハ姑息不徹底デアリマシテ、何ノ脈絡統一モナキノミナラズ、時代錯誤ノ資本主義ニ囚ハレ、國家ノ爲ニ謀テ忠ナラザルモノデアリマス、而シテ益、人心ヲ惡化セシムル危險アリト云フコトヲ憂フル者デアリマス、現内閣ハ一黨一派ノ力ヲ以テ爲ス能ハザル所ヲ敢行シテ、人心ヲ安定スルト云フコトガ使命デアリマス、然ルニ其期待ヲ裏切り、其使命ニ背イテ居ルノデアリマシテ、何ノ顔ヲ以テ茲ニ見エラレタノデアラウカト云フコトヲ疑フノデアリマス(拍手)併シハ無キニ優テ居ル、即チ先程モ御話シタ如ク、之ヲ葬リ去ルト云フコトハ忍ビナイノデアリマス、時代ハ餘リニ急迫シテ居ル、時局ハ餘リニ重大デアル、即チ吾々ハ不満足至極デアルト云フコトヲ表明シテ、之ニ贊成致シマスル理由ヲ明ニシテ置クノデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 討論ハ終局致シマシタ、戸澤民十郎君ヨリ議事進行ニ關スル發言ノ通告ガアリマス、即チ三木君ノ質疑ニ對シ政府ノ答辯ナキ件ニ付テバアリマス、是ハ議題ニ關係アリト認メマスルカラ、討論終局後採決前タル此際之ヲ許シマス——戸澤民十郎君

(戸澤民十郎君登壇)

○戸澤民十郎君 極メテ簡潔ニ唯一言、議事ノ進行ニ關シマシテ議長ヲ通ジテ政府ニ御尋ヲ致シマス、先刻豫算委員會長ヨリ此席デ御報告ノアツタ後デ、同僚三木君ヨリ重要ナル質問ヲ致サレマシタ、其要點ハ今更ニ繰返シマセヌガ、今議會ヲ通ジテ、政府ノ豫算、法律案ヲ通ジマシテ、其骨子トスル所ハ、生産者側ニ極メテ慎重ナル態度ヲ以テ臨ンデ居ルコトハ、其苦心ノ跡ヲ認ムルコトガ出來マス、併シ其他ノ一面ニ於テ消費者側、全國多數ノ勞働者、勤勞者、「サラリーマン」、ソレ等ノ人ニ對シテ如何

ニ政府ノ政策ガ、此豫算案、法律案ニ織込マレテ居ルカト云フコトハ、單ニ一議員三木武吉君ガ、此席ニ於テ質問スルバカリデアリマセヌ、全國多數ノ國民ガ此議會ヲ通ジテ、此政府ノ豫算案、法律案ニ對シ謹シデ聽カントスル所デアラウト云フコトヲ、私共固ク信ジテ居リマス(拍手)然ルニ政府ハ此重要ヲ質問ニ對シ何等ノ答辯ナカリシコトハ、御同然洵ニ遺憾トスル所デアリマス

私ハ一面ニ於テハ議員ノ質問權ヲ尊重スル意味ニ於テ、一面ニ於テハ政府ノ抱負經綸乃至政策ヲ國民ノ前ニ明ニスル意味ニ於テ、進ンデ總理大臣、大藏大臣ハ此席ヨリ、全國民ニ説明ヲシナケレバナラスモノデアルト、固ク信ジテ疑ハナイノデアリマス(拍手)然ルニ政府ノ御答辯ナカリシコト、或ハ御答辯ノ機會ヲ失ヒタカ、或ハ御答辯ガ出來ナイノカ、或ハ御答辯ヲスル必要ガナイノデアルカ、若シ御答辯スルコトガ出來ナイト云フコトデアラナラバ、此重大時局ヲ擔當スル能力ナシト言ハレデモ、反對スルコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、私ハ右簡單ニ申上ゲテ議長ヲ通ジテ總理大臣又ハ大藏大臣宜イ、御答辯アラシコトヲ希望シ、如何ナサルカト云フコトヲ、質問致ス次第デアリマス、以テ議事進行ニ關シ一言申上ゲマス

○議長(秋田清君) 戸澤君ノ只今ノ議事進行ニ關スル御發言ハ、議長ハ直チニ政府ニ交渉ヲ致シマシタル所、答辯セザル趣デアリマス——採決致シマス、議題ニ供セラレタル四案ノ委員長報告ニ、贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(贊成者起立)

○議長(秋田清君) 起立多數デアリマス(拍手)四案ハ委員長報告通り可決致シマシタ

(拍手起ル)

○上田孝吉君 議事日程變更ノ緊急勸議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラシムコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ勸議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案、政府提出、本案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長原惣兵衛君

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書 一市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也 昭和七年八月二十九日 委員長 原 惣兵衛

衆議院議長秋田清殿 (原惣兵衛君登壇)

○原惣兵衛君 市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ現政府ノ提出セラレタル中ニ於テ、非難ノナイ所ノ唯一ノ良案デアルト思ヒマス、此法案ニ對シマシテ、根本的ノ反對ノ意味ニ於ケル意見ノ相違ノ質疑ハアリマセヌデシタ、其主ナル一二點ヲ簡單ニ申上ゲテ、御報告申上ゲテ見タイト思フノデアリマス

先ヅ第一ニ山柵委員カラ、特別町村ニ加入セラレルカ否ヤニ依テ、國庫ノ交付金額ニ非常ナル差異ヲ生ズルガ、此特別町村ニ加入セラレルカ否ヤノ標準ハ何處デ定メル

ノカ、此點ニ付テ十分斟酌ヲシテ貫ハナケレバ困ルト云フ御質疑ガアリマシテ、之ニ對シテ鳩山文部大臣ハ、十分ニ考慮ヲスルト云フ御答辯ガアリマシタ、其次ニ木村委員カラ、國庫補助ノ此千二百萬圓ヲ算出シタル標準ハ、何處ニ標準ヲ置イテシタルデアルカ、又其金額ヲ交付スル時期ハ何時カ、之ヲ明白ニスル事ガ非常ニ重大デアル、此交付時期ガ從來九月ニナッテ居ルガ、此點ニ付テ改正スルノ意思ハアルカナイカト云フ御尋ガアリマシタ、鳩山文部大臣ハ同感ノ意ヲ表セラレ、殊ニ七百萬圓ノ教員俸給ノ不拂ガアルガ爲ニ、一面ニ之ヲ土臺トシテ、千二百萬圓ノ補助額ヲ算定シタルデアルト云フ御答辯ガアリマシタ、尙ホ交付ノ時期、其他ニ付テ質疑應答ガアリマシテ、討論採決ノ結果、本案ハ滿場一致ヲ以テ可決シタルデアリマス、以上御報告申上ゲマス(拍手)

(福田關次郎君)議長、本案ニ付テ質疑ガアリマス「無用々々」ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 福田君、何デスカ

○福田關次郎君 委員長ノ報告ニ對シテ質疑ヲ致シタイ

○議長(秋田清君) 宜シイ——福田關次郎君

(福田關次郎君登壇)

○福田關次郎君 只今議題トナッテ居リマスル國民教育費國庫補助ノ増額ニ付キマシテ、一言委員長ニ御同致シタイと思ヒマス、私共ハ今日ノ農村窮乏ノ時局ニ對シテ、眞ノ意義ハ、政府ハ種々提案ヲサレテ居リマスルケレドモ、眞ノ農村ノ恆久的救済ハ、國民教育費ノ全額ヲ國庫ヨリ補助スルト云フコトガ、今日窮乏セル農村救済ノ根本義ナリト常ニ主張シテ居ルモノデアリマス、然ルニモ拘ラズ本提案ヲ見マスレバ、僅ナ金額ヲ出シテ一時ヲ糊塗サレントスルモノデアル、殊ニ政友會ノ如キハ、農村救済ニ非常ニ御熱心デアリマスルガ、此位ノ小額ヲ

以テ御満足ナサルト云フノハ、何レノ點ニ農村救済ノ眞意ガアルカヲ疑ハナケレバナラスト言ヒタイノデアリマス、此前ノ臨時議會ニ本員ハ豫算委員會ニ於テ、我が日本現代ノ農村及地方ニ於ケル商業工業者ノ救済ノ爲ニ、恆久的國民教育費ノ全額國庫補助ヲ爲セヨト云フコトヲ申上ゲ、而シテ即時ニイカスト致スナラバ、來ルベキ議會ニ對シテハ、ソレニ近キ案ヲ提出シテ、以テ今日ノ農村救済ヲ爲スベシト鳩山文部大臣ニ申上ゲマシタ、其當時鳩山文部大臣ハ、今日ノ場合ニ於テ自分トシテハ何等國民教育費國庫補助増額ノ意思ヲ有セナイ、又アナタノ言ハレルヤウニ全額ヲ補助シテモ、其補助スル金額ハ悉ク國民ガ負擔スルノデアルカラ、結局ハ同ジコトデアラウ、仍テ自分ハ何等ノ案ヲ持チマセヌト言ハレタルデアル、斯様ナコトデ文部大臣ノ職責ガ全ウ出來ルノデアリマス、又其當時増額ノ意思ナシト言ハレ、増額シテモハ國民ガ負擔スルノダト言ハレマシタガ、然ラバ今回増額提案サレタルハ、福田關次郎君ノ意見ニ御從ヒナサレタルカドウカラ伺ヒタイ、又今日農村ニ於ケル國民ハ固ヨリ負擔ハ致シマセウ、併ナガラ國民教育費ノ國庫補助ノ全額ノ負擔ニ付テハ、皆様モ冷靜ニ御考慮ヲ願ハナケレバナリマセヌ、今日ノ農村ニ於テ、國民ノ最も困難ヲ致シマスルモノハ、何ト致シマシテモ町村稅ノ増加、是ガ一番ノ困難ナノデアリマス

(議長是ハ何デス)其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○福田關次郎君(續) 町村稅ヲ拂ヒマスル者ノ中ニハ、國稅ヲ一厘モ拂フコト出來能ハザル所ノ小農民ガ、一年間ニ數十圓ノ稅金ヲ取ラレテ居リマスルガ、其稅金ノ六七割ハ盡ク國民教育費ニナルノデアリマス、然ラバ之ヲ國庫ヨリ全額補助致シマスレバ、今日ノ農村ノ眞ノ救済トナッテ、時局

匡教ノ根本對策ハ、此事ニ依テ立ツモノデアルト謂ハナケレバナラヌト吾々ハ信ズル者デアリマス(拍手)鳩山文部大臣ガ過般ノ豫算委員會ニ漏サレタ御意見ニ依レバ、今ハ千二百萬圓ヲ増額サレト云フ、其次ニハ又三千万圓、五千万圓トナッテ、遂ニハ全額負擔トナリマセウ、然ラバ吾々ノ意見ニ御從ヒナサル積リデアルカラ承リタイ(何ノ質疑ダ)議長注意スベシ(其他發言スル者多シ)又諸君ハ色々御批判ニナリマスルガ、此意見ニ反對セラレルコトヲ農民ガ聞イタナラバ、政友會ノ信望ハ地ニ墜チハ致シマセヌカ

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 福田君、質疑ノ範圍ヲ出ナイヤウニ御注意シマス

○福田關次郎君(續) 今日米價ノ騰貴ノ方法モ必要デアリマス、農村ノ生産品ノ騰貴方策ヲ運ラスコトモ、農村救済ノ一ツデハゴザイマセウ、併ナガラ吾々ハ何ト致シマシテモ、其根本對策ニ御著眼ヲ願ヒマシテ、國家國民ノ生活安定ノ基礎確立ニ、御盡力ヲ願ハナケレバナラナイ、例ヘテ見マスルト、今日ノ穀價ヲ騰貴サセル、農村生産品ヲ騰貴セシムルト云ヒマシテモ、決シテ是ハ容易ニ出來ルモノデハアリマセヌ、例ヘバ養雞業ニ致シマシテモ然リデアアル、今日産卵ニ多クナリ、養雞者ガ多クナリマスカラ、供給ガ増加スル、需要ハ之ニ伴ハズシテ、遂ニ彼等ノ生産品ノ價格ノ非常ナ下落トナルノデアリマス、又米價ニ於テモ然リデアリマス、米價ノ騰貴致シマスルコトハ、一面非常ニ宜シイガ、是ト相關聯致シマシテ、ヤハリ肥料ノ騰貴ト云フコトモ考慮致サナケレバナラヌ所ノモノデアリマス、仍テ私共ハドノ點ヨリ考慮致シマシテモ、今日ノ農村ノ眞ノ匡教ノ爲ニ……

〔議長、是ハ何デス〕何故注意シナイカ(其他發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 福田君——福田君質疑ノ範圍ヲ逸セザルヤウニ注意シマス

○福田關次郎君(續) 國民教育費ノ國庫全額補助ト云フコトヲ致サナケレバナラヌ、本案ニ付キマシテモ、吾々ハ國民教育費ノ全額負擔ニ向テ進ミタイと思ヒマスルカラ、此點ニ對シテ何等カ委員會ニ於テ質問ハナカッタカ委員長ニ明ニ御開致シタイト思フノデアリマス

〔答辯ノ要ナシ〕進行々々ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 此程度ヲ以テ質疑ハ終局シマシタ、討論ノ通告モアリマセヌ、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○上田孝吉君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス仍テ直チニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案 第二讀會(確定議)

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決確定致シマシタ

〔拍手起ル〕

○上田孝吉君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、政府提出、米穀應急施設法案、秦豐助君外二十三名提出、米穀法中改正法律案ヲ一括シテ議題トシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、政府提出、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、政府提出、米穀應急施設法案、秦豐助君外二十三名提出、米穀法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長東武君

米穀需給調節特別會計法中改正法律案 (政府提出) 第一讀會(續) 委員長報告

米穀應急施設法案(政府提出) 第一讀會(續) 委員長報告

米穀法中改正法律案(秦豐助君外二十三名提出) 第一讀會(續) 委員長報告

米穀需給調節特別會計法中改正法律案 (政府提出) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和七年八月三十一日 委員長 東 武

衆議院議長秋田清殿

〔別紙〕 (小字及——ハ委員實修正) 米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第四條ノ三中「三億五千萬圓」ヲ「四億五千萬圓」ニ改ム

附則 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附帶決議 一政府原案四億五千萬圓ヲ四億八千萬圓ト修正増額スル趣旨ハ米穀ノ數量又ハ市價調節ニ遺憾ナキヲ期スル爲ナリ故ニ米穀法中改正法律案ト本案トハ密接不離ノ關係ヲ有スル不可分ノ決議ナルコトヲ茲ニ明ニス 二政府ハ現行米穀法ニ不備缺陷アルヲ認

メ速ニ根本方策ヲ立ツル必要アルコトヲ聲明セラレタリ政府ハ速ニ現下ノ國情ニ鑑ミ米穀ニ關スル根本方策ヲ樹立シ之ヲ次ノ通常議會ニ提出スヘシ

報告書 一米穀應急施設法案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ否決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和七年八月三十一日 委員長 東 武

衆議院議長秋田清殿

報告書 一米穀法中改正法律案(秦豐助君外二十三名提出) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和七年八月三十一日 委員長 東 武

衆議院議長秋田清殿

〔別紙〕 (小字ハ委員實修正) 米穀法中改正法律案中左ノ通修正ス

附則 政府ハ當分ノ内本法ニ依リ朝鮮及臺灣ニ於テ各其ノ地ノ產米ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲テ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ票ノ輸入稅ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

本法ニ依ル米穀ノ交付又ハ貸付並朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歲入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

〔東武君登壇〕 ○東武君 只今上程ニナリマシタ米穀需給調節特別會計法中改正法律案外二件ノ、委員會ノ經過ト結果ヲ報告スル次第デアリマス、本法律案ノ審議ハ、今日二十七日ヨリ本日午前、午後ヲ通ジマシテ、五日間ニ互リマシテ審議ヲ致シタノデアリマスルガ、諸

君ノ御承知アラセラルル如ク、現内閣ハ非常時内閣ト稱シ、舉國一致ノ協力ヲ捧ゲテ時局匡救ノ大任ヲ全ウセントスル爲メ、特ニ此臨時議會ヲ開キ、幾多ノ匡救上ノ重要法案ヲ提出シタモノデアリマス、特ニ本法案ハ國民大衆ノ生活ニ即スル米穀ノ需給調節ニ關シ、且ツ直接四千万ノ農民ノ生計カ死ヌカト云フ岐路ニ立ツ、極メテ重大ナル米價問題ニ關係有スル案件デアリマスカラ、今期議會ヲ通ジマシテ、國民全體ノ注視ノ的トナテ居ルノデアリマス、故ニ委員會ハ慎重審議ヲ重ネマシタ、茲ニ本委員會ヲ通ジマシテ、委員諸君ト政府當局者トノ間ニ於ケル質問應答ヲ重ネラレタ點ニ付テ、最重要ナル點ダケヲ御報告致シタイト考ヘテ居リマス

一、現行米穀法中第四條乃至第五條ノ率勢米價ニ關スル規程ノ可否、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、率勢米價ナルモノ、條項ヲ削除スベキヤ否ヤノ點デアリマス

二、率勢米價ノ規定ヲ其儘存續シテ、現下深刻化セル農村ノ時局匡救ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ルノデアルカ否ヤ

第三點ハ現政府ハ昨年及本年ノ如キ、最極度ニ米價ノ低下セル場合ニ於テ、現時ノ米ノ價格ヲ以テ適當ナリト信ズルヤ否ヤ、現下米穀法ノ基準價格ヲ維持スル必要尙ホアリヤ如何

第四點ハ米ノ生産費ハ幾何デアルカ、率勢米價ハ米ノ最低生産費ヲ割ルコト多シ、現行米穀法ノ米價基準ヲ運用シテ、時局匡救ノ豫期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアルカ、ドウデアアルカ

第五點ハ昨年米穀法ノ一部ヲ改正致シマシテ、其後米穀法運用ヲ爲シタル經過及実績ハドウナテ居ルカ、悉ク失敗ニ屬シテ居ルノデハナイカ、斯ル有害無益ナル法律ナルコトハ既往一年間ノ実績ニ徴シテ、極メテ明白デアアルノデハナイカ、政府ノ所見ハ如何

第六ハ政府ハ現在ノ米穀法ヲ以テ適當ナル法律ナリト思考スルカドウデアアルカ、若シ現行法ニ不備缺陷ガアルト認メルナラバ、更ニ百尺竿頭一步ヲ進メテ、米穀對策トシテ根本法ヲ制定スルノ意思ガアルカドウカ、斯ウ云フ其信念ヲ有シテ居ルカドウカ

第七、政府ハ應急施設トシテ朝鮮臺灣ノ米ノ買入、賣渡ヲ爲ス方針デアルト云フガ、朝鮮、臺灣ノ米ヲ買入レ、又内地三百萬戸ノ最モ利害關係有スル貧農ノ米ヲ買入レ、其生活ト經濟トヲ緩和スルノ意思アルヤ否ヤ、又朝鮮、臺灣ニ於テハ其時々ノ時價ヲ以テ買上ゲルガ、内地ニ於テハ極メテ農民ニ不利ナル率勢米價率ヲ以テ買上出動ヲ爲スハ、跛行ノ偏頗ノ處置デハナイカ

第八、政府ハ率勢米價改正ニハ反對ダト稱シテ居ルガ、米價ノ基準トシテ率勢米價ノ基準ハ不備デアルト云フコトダケハ、委員會ニ於テ明ニ認メタコトヲ聲明シテ居ルノデアリマス、若シ適當ノ方法ヲ講ジテ、成ベク農家ノ要望スル生産費ヲ以テ買上ノ目的ヲ達スル考デアルト、政府ハ稱シテ居リマスガ、其適當ノ方法トハ如何ナルコトヲ謂フノデアアルカ

第九、政府ハ率勢米價以外、生産費ヲ加味シテ米穀法運用ヲ爲スト云テ居リマスガ、其生産費ナルモノハ何時出來ルノデアアルカ、又其生産費ナルモノハ俄カ作リノ生産費ニアラザルカ、例ヘバ昨年委員會ニ於キマシテ、帝國農會ハ米ノ生産費ヲ二十六圓何錢ト公表シテ居リマス、其當時政府ハ二十一圓ト公表シタル如キ又前農相ノ町田君ハ、生産費ヲ調査スルノニハ少クトモ二年カ三年ノ星霜ヲ費サナケレバ、生産費ノ調査ハ出來ナイト云フコトヲ、昨年ノ委員會ニ於テ屢、明言致シテ居リマス、此點ヲ考ヘルトキハ、例ヘバ昨年ノ生産費調査ノ如ク、北海道ノ如キ、又東北ノ如キ凶作地ニ於ケル米ノ生産費ハ、百圓ト云フヤウ

ナ非常ニ高イモノガアリ、又失業者ノ歸農者ナドヲ無賃同様デ雇フテ、サウシテ耕作ヲシタモノ、一石ノ生産費ハ、九圓ト云フヤウナモノガ現ニ存在シテ居ル、斯様ナ生産費ヲ俄作リニ米價生産費ニ加味シテ買フト云フガ、果シテサウ云フコトガ出來ルノデアアルカドウカ、是ガ第九デアリマス

第十、率勢米價率ナルモノハ、學說カラ申シマシテモ、實際上カラ申シマシテモ、何等經世上ニ有用ナルモノニアラズ、唯學者ノ閑遊戯ノ技巧ヲ弄シタルモノデアアル即チ昨年屢、米穀改正ノ本委員會ニ於テ申シタ如ク、農林省ハ此率勢米價ナルモノニ付テ局長之ヲ知ラズ、大臣之ニ答フル能ハズ、政府委員一モ之ニ答フルコトガ出來ナイ、唯或某技師ガ獨リ此率勢米價ナルモノヲ創定シタ、而モソレハ學說上極メテ誤タル根柢ヲ有スルモノデアルト云フコトハ、屢々議論應答ガ重ネラレタ、即チ斯ノ如キ學術上カラ見マシテモ何等ノ權威ナク、且經濟上ノ常ナキ物價ニ應用シテ、國民ノ利害關係ノ最モ重大ナルモノニ應用スルガ如キハ、抑、其根柢ニ於テ既ニ大ナル誤謬ト錯誤トヲ併有シテ居ルモノデアアル、率勢米價ナルモノハ——私ハ茲ニ時間ヲ拜借スルコトヲ遠慮致シマスルカラ、細カシイコトハ申シマセヌガ、明治三十三年十一月以降、日本銀行ノ調査シタル米價ノ指數ト物價指數、即チ物價指數ハ六十幾種ノ物價指數、其六十幾種ノ中ニハ、或ハ煉瓦ノヤウナモノガアリ、輕節ノヤウナモノガアリ、或ハ疊表ノヤウナモノガアル、サウ云フ物ノ指數ヲ寄セ集メタ六十幾種ノ物價指數ヲ、明治三十三年以來ノ米價率ト、此物價指數ヲ基礎ニ致シテ、サウシテソコニ生ジタル所ノ一圓八十七錢ト云フモノガ、率勢米價ノ趨勢値ト云フモノニナツテ居ル、斯様ナモノヲ以テ日常物價ノ變動常ナキ時ニ於テ、斯様ナル根柢ニ於テ誤タルモノヲ以テ率勢米價ナルモノヲ定メテ、國民大

衆ノ生活ニ何等ノ關係ナキ極メテ有害ナルモノヲ保存スルコト云フコトハ、全ク其根柢ニ於テ大ナル錯誤ト誤謬ガアルト云フ非難ガアル(委員長ソレハ私見ヂヤナイカ)ト呼フ者アリ)私見ヂヤアリマセヌ、斯様ノ論議ガ應答サレテ居タト云フコトヲ言ウテ居ルノデアアル(委員長報告ヲセヨ)ト呼フ者アリ)

第十一——是ハ皆私ノ意見デハアリマセヌ、皆委員會ニ於テ質問應答ヲ重ネテ居タモノヲ要約シテ言フタノデアアル、米穀法ノ率勢米價ノ基準價格ト云フモノニ付テ、質問應答ガ重ネラレタノデアリマス、今率勢米價率ハ幾ラニナツテ居ルカト申シマス、昨年ノ米價率ノ最低ハ十六圓三十一錢デアリマス、率勢米價ノ標準價格ハ二十圓三十九錢デアアル、昭和七年即チ本年ノ率勢米價ノ最低價格ハ、十七圓九十一錢デアアル、率勢米價率ハ二十二圓三十九錢デアアル、此最低價、犬養內閣ガ出來タ爲ニ物價指數ニ大ナル變動ガアルト稱シテ——是ハ一年間ヲ通ジテ、其前年ノ十一月ニ其翌年ノ指數ノ査定ヲスルコトニ法律ノ明文ガナツテ居ル、又經濟界ニ異常ノ變動ガアツタ場合ニハ、特ニ修正ヲスルト云フ簡條ガアル爲ニ、本年ノ四月ニ一時改正ヲシタ値ガ十七圓九十一錢ニナツテ居ルノデアアル、米穀法ノ法則ニハ勅令ニ依テ定メテ居ル、法律第三十一號デアリマスガ(命令ノ定ムル所ニ依リ當分ノ内第四條ノ最低價格又ハ最高價格ハ第五條ノ規定ニ拘ラズ米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格ヲ基礎トシテ之ヲ定ム)ト明文ガアルカラ動カストトハ出來ナイ、是ハ法律ノ明文ガ儼乎トシテ居ルカラ自由裁量ヲ許サザル所ノイ、此基準價格ハ自由裁量ヲ許サザル所ノ明文ガ儼存シテ居リマスル故ニ、本年ノ米價率ノ最低價格ハドウデアアルカト申シマスレバ、十七圓九十一錢ト云フモノニナツテ居ル、是ハ動カスコトハ出來ナイ、斯様ニ

本年度ノ米價率ヲ以テスレバ農家ノ庭先相場、是ヨリハ政府委員ノ言明ニ依リマシテモ、約二圓ノ開キガアルト云フコトハ、諸君御承知ノ通りデアル、二圓乃至ソレ以上ノ落差ヲ見ナケレバナラヌノデアリマス、假ニ最低二圓ノ此庭先相場ト、率勢米價ノ値開キガアルト致シマスレバ、此農家ノ手離ス所ノ本年ノ米ノ價格ハ十五圓九十一錢ニナルデアアル、農家ノ米ハ十五圓九十一錢デナケレバ買上ゲラレナイト云フコトニナル、サウ云フ結果ヲ生ズルガ、若シ果シテ然リト致シタナラバ、實ニ農家ノ手放相場ハ、一依ニ付キマシテ六圓四十錢デナケレバ、政府ニ賣ルコトガ出來ナイト云フ、斯カル非常ナ矛盾惡法ノ結果ガ、茲ニ起テ來ルデアリマス(拍手)

第十二ト致シマシテ、農林省ノ昭和六年及同七年ノ米穀生産費ノ調査報告ニ依リマスルト云フト、全國ノ千三百五戸ニ對スル所ノ自作農及小作農、自作及小作ヲ通ジタルモノ、生産費ハ幾ラデアルカト云フコトヲ檢討致シテ見マスルト云フト、是ガ自作農ニ於テハ二十圓二十錢、小作農ハ十九圓九十五錢、自作小作ヲ通ズルモノガ二十圓十一錢、之ヲ三ツ平均致シマスルト云フト農家ノ生産費ガ一石當リ二十圓十一錢ニナルヲ云フ……

(ソレハ誰ガヤッテノカ)其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○東武君(續) 是ハチャント政府ガ發表シテ居ル、政府ガ發表シタ統計デアル、右ノ率勢米價ノ基準價格ニ依リマシテ、農家ノ賣放ス所ノ米ノ價格ハ、農林省ノ發表シタ生産費ト比較スルモ、農林省ガ生産費トシテ出シタモノト、農家ガ現ニ賣放ス所ノ相場ノ値トハ、尙ホ四圓二十錢ト云フ下値ニナラナカタナラバ、之ニ假令幾分ノ生産費ヲ加味スルト致シマシテモ、農林大臣ハ生産費ヲ加味スルカラ、左様ナ心配ハナイ

ト屢、言フノデアアルガ、假ニ生産費ヲ加味スルト致シマシテモ、生産費ヲ割ルコト既ニ二圓五十錢乃至三圓以上デアル、農林省ノ發表シタル生産費ト、實際ノ買上價格トヲ較ベレバ、此法律ヲ嚴密ニ的確ニ應用スレバ、現ニ生産費ヲ割ルコト二圓五十錢乃至三圓ト云フ價格デ、農家ハ米ヲ賣ラナケレバナラヌト云フ結論ニナル、是ハ私ノ私見デハアリマセヌ、私ハ數字ノ示シタ所ヲ根據トシテ申シタノデアリマス、ソレニ尙ホ厚顔ニモ時局ヲ匡救スルト云フヤウナコトヲ言ハレルカ、ドウカト云フ質問ガアリマシタ(拍手)農林大臣ハ委員會ニ於キマシテ屢、農村匡救ト米價對策ニ對シテハ、全然諸君ト同感デアル、感ヲ同ジウスルモノデアルト云フコトヲ屢、言ウテ居ル、然ラバ率勢米價ト云フモノハ、感情ト行掛リヲ拋棄シテ恬淡ナル雅量ヲ以テ、何故政友會ノ提出スル改正案ニ同意スルコトガ出來ナイノデアアルカ——是ハ質問デスヨ、同意スルコトガ出來ヌノカト云フ質問ガアリマシタ、又農林大臣ハ生産費ヲ加味スルト云フガ、其生産費ナルモノハ何時出來ルノデアアルカ

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——手代木君ニ注意シマス

○東武君(續) 政府委員ハ生産費ヲ加味スルカラ差支ハナイト屢、言フガ、其生産費ナルモノハ何時出來ルノデアアルカ、之ヲ政府委員ニ質問致シマスルト云フト、生産費ナルモノハ十二月中旬ト云々ニハ報告シテ居ル、中旬デハ分ラヌガ、何日デアアルカト云ヘバ、十二月ノ十日デアアルト斯ウ言フ、十日ニナッタラ全國ニ命ジテアル所ノ、農家ノ經濟調査ノ報告ガアル、其報告ヲ集計スルノニハ十二月十日ニナラナケレバ生産費ハ分ラヌ、假令不完全デアッテモ、生産費ト云フモノハ分ラヌト斯ウ言フ、ソコデ若シ農林大臣ノ言明ヲ率直ニ吾々ガ信用スル

ト致シマシテモ、米ノ生産費ハ假令不備ナルヲ我慢スルトシテモ、十二月十日迄ニハ農林省ハ生産費ト云フモノハ分ラヌカラ、此率勢米價ニ生産費ヲ加味シヨウトシテモ出來ナイノデアアル、是ハ極メテ明瞭デアル、然ラバ十二月十日ハ既ニドウ云フ時期デアアルカト申シマスルト、季節的ニ於テ最早全國ノ稻ノ早生、早廻リノ米ト云フモノハ、多量ニ市場ニ販賣サレル季節デアル、農林省ガ吾々ニ提供シタル所ノ米穀要覽ニ依テ見マシテモ、米ノ出廻リノ季節ハ十一月、十二月、一月ヲ通ジテ、小農ノ賣出ス數量ト云フモノハ全收穫量ノ五割三分ニ當リテ居ル、五割三分ト云フモノハ十一月、十二月、一月ヲ以テ小農、貧農ハ賣出シテ居ル、若シモ農林大臣ノ生産費ヲ加味シテ米價ヲ定メルトシテモ、既ニ貧農、小農、小作農ノ如キハ——吾々ノ最モ匡救ノ對象物タル貧農、小農ト云フモノハ、賣ラウトシテモ最早米ガナイ、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、此出廻時期ニ吾々ガ時局匡救ノ對象物トシテ救ハナケレバナラヌモノハ、此農林省ガ生産費ヲ加味シテ率勢米價ヲ作ッテ、ソレヲ應用シヨウト云フ時ニハ、既ニ時期遅レデアルト云フコトヲ言ハナケレバナラヌ、然ラバ其間ハドウスルカト云ヘバ、是ハ整理調節ヲスルノダ、ソナナ法律違反ナコトヲシテ、サウシテ時局ヲ匡救シヨウト云フノハ大ナル間違デアアル、以上ガ即チ大體ノ經過デアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイ(拍手)

結果ノ概要ニ付テ御話申上ゲマス、本委員會ニ付託サレタ所ノ米穀需給調節特別會計法中改正法律案、政府提出ノ原案第四條ノ三ノ中ノ資金ヲ増加スル、即チ三億五千萬圓ヲ四億五千萬圓ト云フコトニ改メルト云フコトニナツテ居ル、之ヲ本委員會ニ於キマシテハ、四億五千萬圓ト云フノヲ修正致シマシテ、之ヲ四億八千萬圓ト改正シタ、米穀特別資金會計ニ於テハ一億三千万圓ヲ

増加致シタコトニナルデアアル、ソコデ第二ハ米穀應急施設法案デアリマス、此施設法案ニドウ云フコトヲ規定シテアルカト云ヘバ、第一條ニハ、政府ハ必要ノアル場合ハ米穀ヲ道府縣ニ對シテ貸付ケルト云フ條項ガ一項、第二條ハ、米穀ノ貯藏施設ニ對シテ獎勵金ヲ出スト云フコトガ一項、第三條ハ、政府ハ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工、貯藏ヲ爲スコトガ出來ル、朝鮮米、臺灣米ヲ買上ゲルト云フコトガ、此法律ノ中ニ入ッテ居ル、第四條ハ、勅令ヲ以テ滿洲カラ朝鮮ニ入ル粟ノ輸入關稅ヲ増減シ、或ハ撤廢スルコトガ出來ルト云フ條項ガ入ッテ居ル、サウシテ特別會計ノ所屬ニ屬スル所ノ最高金額四億八千万圓ト別ニシテ、朝鮮臺灣ニ於ケル所ノ植民地米ヲ買上ゲル處理スル爲ニ、三千万圓ト云フモノヲ應急施設法案ニ計上致シタ、ソレヲ吾々ハ此金額ヲ四億八千万圓ト致シマシテ、總額一億三千万圓ト云フモノヲ増額シタ、吾々ハ最初ニハ此金額ハ少イデアラウト云フコトヲ懸念致シマシタガ、現ニ米穀資金ニハ今七千万圓ノ現存餘力ガアル、サウシテ一億三千万圓ト云フモノヲ新ニ追加スレバ、茲ニ二億圓ト云フ餘力ガ出來ルノデアアル、政府ハ當分ノ間ニ是デ差支ハナイト言フ、政府ガ當分差支ナイト云フモノヲ、吾々ガ特ニ之ヲ増額スル必要ハナイノデアリマスガ、實質ニ於テハ政府ノ提案ト吾々ノ修正案トハ、其金額ニ於テハ少シモ差等ハナイ、此事ヲ豫メ御承認ヲ願ヒタイ

ソコデ結論ヲ申シマスルガ、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、是ハ即チ我黨ノ若宮委員ヨリシテ、四億八千万圓ト云フコトヲ修正動議ガ出マシタ、之ヲ採決致シマシテ、多數ヲ以テ委員會ハ可決致シマシタ

第二ニ米穀應急施設法案ナルモノハ、先程各條項ヲ申シマシタガ、政友會ノ米穀法中改正法律案ガ、是ガ大體政府ノ豫期シテ

居ルコトハ、總テ目的トスル所ヲ織込シテ居アル、唯、輸入關稅ノミガ殘テ居リマシタガ、此輸入關稅ハ定ニ政府ノ主張ハ正シトモ考ヘマシテ、是ハ提案ノ米穀法改正ノ中ニ附則ヲ一項加ヘテ、之ヲ補充致シマシタ、サウ致シマスト云フト、親ノ貯藏獎勵ト云フ如キハ、豫算ヲ既ニ取ツテアルノデアリマスカラ、是ハ法律ガナクモ行政廳トシテ運用ガ自由ニ出來ルノデアアル、其他ノモノハ總テ吾々ノ法案ノ中ニ含蓄シテ居ルノデアアルカラ、是ハ入用ガナイ、ソレニ依リマシテ米穀法中改正法律案ト云フ案ハ修正可決サレタノデアリマス、サウシテ第三ノ政府提案ニナル所ノ米穀應急施設法案ハ、是ハ此提案ノ中ニ全部含蓄、織込マレテ居ルカラ、政府ノ希望ハ此米穀法改正案ガ通過スレバ、全部政府ノ豫期通り行ケルノデアアルカラシテ、既ニ其必要ト目的ガ解除サレタノデアアルカラシテ、是ハ當然否決ノ運命ヲ見ルノデアリマシテ、採決ノ結果否決ト致シマシタ、而シテ我黨ノ提案ニ對スル修正案ハ、今申シマシタ——(發言スル者アリ)マダアルンデスヨ、附帶決議ト云フモノガアル、サウシテ附帶決議ナルモノガアリマスガ、之ヲ朗讀致シマス

政府原案四億五千萬圓ヲ四億八千萬圓ト修正増額シタル趣旨ハ米穀ノ數量又ハ市價調節ニ遺憾ナキヲ期スル爲ナリ故ニ米穀法中改正法律案ト本案トハ密接不離ノ關係ヲ有スル不可分ノ決議ナルコトヲ茲ニ明ニス

是ガ附帶決議ノ一項デアリマス、第二項ハ政府ハ現行米穀法ニ不備缺陷アルヲ認メ速ニ根本方策ヲ立ツル必要アルコトヲ聲明セラレタリ政府ハ速ニ現下ノ國情ニ鑑ミ米穀ニ關スル根本方策ヲ樹立シ之ヲ次ノ通常議會ニ提案スヘシ

此二項ガ附帶決議デ、委員會ハ大多數ヲ以テ可決サレタ次第デアリマス(拍手)修正案ニ對スル附則ノ條項モアリマスガ、既ニ委員會ニ提出シテアリマスカラシテ、是ハ印刷ニ依テ諸君ノ御手許ニ配付サレテ居ルコト、考ヘマスカラ、是ハ略シマス、之ヲ以テ御報告ヲ終リマス(拍手)

案ニ對スル附則ノ條項モアリマスガ、既ニ委員會ニ提出シテアリマスカラシテ、是ハ印刷ニ依テ諸君ノ御手許ニ配付サレテ居ルコト、考ヘマスカラ、是ハ略シマス、之ヲ以テ御報告ヲ終リマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ハアリマセヌ、討論ニ入りマス、通告順ニ依リ發言ヲ許シマス——高田松平君

(高田松平君登壇)

○高田松平君 只今議題トナテ居リマスル三案ニ付テ私共ノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、其前ニエライ珍ラシイ委員長ノ詳細ナル御報告ガアツタコトハ感謝致シマスガ、政友會案ニ對シテ吾々ノ質問シタコトハ何等御報告ガナインノデゴザイマス(拍手)私ハ委員長タル者ハ政府ニ對スル質問デモ、政友會案ニ對スル質問デモ、公平ニ報告スルノガ當然ト思ヒマス(拍手)何故ニ東委員長ハ私ガ委員會ニ於テ政友會案ニ對シテ爲シタル質問ニ其答辯ヲ——答辯ハアツタガ、ソレヲ本會ニ報告シナイノカ……

(此時發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○高田松平君(續) 私ハ、故ニ委員長ノ御報告ニ漏レテ居リタ點ヲ御參考ノ爲ニ申上ゲル必要ガアルト思ヒマス(拍手)

政友會ノ第四條第五條廢止、即チ基準米價廢止ニ對シテ、之ヲ廢止スルコトニ依テ、今後政府ハドウ云フ場合ニ於テ米ヲ買入レルノデアアルカ、而シテ其基準米價決定——前ノ法律ニハ無論一定ノ基準ハナカッタガ、其當時民政黨モ政友會モ、各内閣ノ時代ニ於テ大體ハ其時ノ米ノ生産費、家計費、又米價ニ對スル物價ノ割合、非常ニ安イカドウカ、高イカドウカ、其他一般經濟上ノ事情ヲ斟酌シテ、茲ニ買上ノ發動或ハ賣渡ノ發動ヲシタノデアアルガ、第四條第五條ヲ取消シ場合ニハドウ云フ方針ニ於テ買上ガ取ツデアアルカ、何等ノ基準ハナインノデアアルカト伺フ所ガ、若宮君ハ提案者トシテ答ヘテ、

生産費、家計費其他一般ノ經濟狀態ヲ考慮シテ買上ノデアアルト御答ニナッテ居ルノデゴザイマス(拍手)是ハ事實デアリマス(若宮貞夫君「高田君、違テ居ルヨ」ト呼フ)違テ居ル點ハ後デ又御訂正ヲ御願致シス

生産費、家計費其他一般ノ經濟狀態ヲ考慮シテ買上ノデアアルト御答ニナッテ居ルノデゴザイマス(拍手)是ハ事實デアリマス(若宮貞夫君「高田君、違テ居ルヨ」ト呼フ)違テ居ル點ハ後デ又御訂正ヲ御願致シス

ソコデ第四條第五條ヲ全然廢止結果ハドウナルカ、賣渡及買上ノ時代ニ於テモ、何ヲ以テ買上ト云フ基準ガナクナルノデアリマス、實ハ大正十年米穀法ガ最初政府ヨリ提出サレタル場合ニ於テノ政府案ニハソレガナカッタノデゴザイマス、所ガ其當時ノ貴族院ニ於テ買上賣渡ニ付テ何等ノ規定ガナイト云フコトデハ、ドウ云フ過チヲ生ズルカト云フコトヲ恐レタ爲メデアリマセウカ、買上及賣渡ニ際シテハ其當時ノ時價ニ準據シテ定メトノコトニナッテ、ソレガ行ハレテ居リタノデゴザイマス、今度ノ案豐助君外二十三名ノ御提案ニハ、此時價ニ依テ買上ト云フコトモ全然削除シタノデゴザイマスカラシテ、私ハ提案者若宮君ニ對シテ第四條第五條ヲ取消シ結果、何ノ値段デ買上ノダト云フ質問ヲ致シマシタガ、之ニ對シテハ御答辯ガナインノデゴザイマス

(此時發言スル者アリ)

更ニ又或ル委員ヨリ提案者ニ對シテ無償交付ト云フコトヲヤルガ、其條件トシテ災害或ハ緊急已ムヲ得ザルト云フヤウナ意味ノコトハアルノデアリマス、其緊急已ムヲ得ザルトハドウ云フ場合ニ於テ無償交付スルノデアアルカト質問ガアリマシタガ、之ニ對シテハ書イテアルカラ讀ンデ見レバ分ルト云フダケデ、ドウ云フ場合ニ於テ無償交付スルコト云フ解釋ハナインノデアリマス(拍手)如何ニモ不徹底ナ御答辯デアリシコトヲ極メテ遺憾ト致シマス

(此時發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○高田松平君(續) 私ハ私共ノ意見ヲ申上ゲル前ニ、政友會案ニ對シテ吾々同志ノ質問ニ對スル答辯ガ斯ノ如クデアリシト云フコトヲ、御參考ノ爲ニ申上ゲルコトガ必要デアルト存ジテ申上ゲマシタ

更ニ私ハ此米ノ問題ガ目下ノ農村對策上極メテ重要デアリシト云フコトハ、是ハ詳シク申上ゲル必要ハゴザイマセヌガ、私共ハ政府案ヲ以テ此際端境期ニ於テ相當ニ米價ノ維持ガ出來ルト信ジテ飽迄モ政府案ヲ支持シ、政友會案ニ反對スルモノデアリマス(拍手)政友會案ト政府案ト比較致シマスルト云フト、大體ニ於テ似テ居ル點モアルノデアリマス、殊ニ政友會ガ御發案當時ハ粟ノ問題ニ付テ何等ノ注意ヲ拂ハザリシガ、急ニ御氣付キニナッテ粟ノ問題モ政友會ノ修正トシテ委員會ニ訂正シタ爲ニ、粟ノ問題モ政友會ノ案トナリマシタカラシテ、茲ニ政府案ト政友會案トノ差ハドウ云フコトニナルカト云フト、第一ハ現行米穀法ノ第四條第五條ノ基準米價ヲ廢止スルコト云フ點、是ガ第一、第二ハ米穀ヲ無償ニテ市町村ニ交付スルコト云フコトガ、是ガ意見ノ差ニナッテ居ルヤウデゴザイマス、第三ノ貯藏獎勵ノ問題ハ是ハ先程委員會ニ於テ若宮君ノ御話ヲ承ルト云フト、政府案ニ明記シテアリマスガ、政友會ハ法律ニ規定セザルモ豫算ニ計上サレ、バ實行出來ルカラ必要ナシト云フコトデゴザイマスカラ、是ハ唯法律ニ書クガ宜イカ書カナイガ宜イカト云フ問題ニ相成リマス、第四ニ買入賣渡シノ際ニ時價ヲ置クコトガ善イカ惡イカト云フ此問題ニ相成ルノデゴザイマス、故ニ此四ツノ問題ニ付テ可否ヲ論ズレバ吾々ノ意見ト政友會ノ意見ノ岐レル所ガ決定スルノデゴザイマス

私ハ此問題ニ付テ可否ヲ申ス前ニ、何故ニ吾々ハ例ヘバ粟ノ問題、朝鮮トカ臺灣ニ於テ内地ノ特別會計ヲ以テ米ヲ買入レル問題等ヲ、臨時處理法ニ取入レテ居ルコトガ可ナリヤト云フコトヲ言ハナケレバナラヌノデアリマス、御承知ノ通り前内閣時代ニ於テ執リタル米穀統制ノ實ヲ舉グル爲ニ、米穀部ヲ設ケマシテ調査研究ヲ遂ゲテ、米ニ對

スル所ノ根本方針ヲ確立スルコト云フコトニ
ナッテ居リマスルカラシテ、此朝鮮臺灣ヨリ
米ヲ月々平均的ニ移入スルコトガ、是ガ果
シテ永久的ニ實行サルベキヤ、尙ホ更ニ最
善ノ良法ナキヤト云フコトヲ研究決定スル
必要モアリマス、而シテ粟ノ輸入關稅ノ問
題モ之ニ關聯シテ參リマス、斯様ニ恒久策
ハ御承知ノ通り決定スルコト云フコトヲ政府
モ明言セラレテアルノデゴザイマスルカ
ラ、此際斯ル問題ハ尙ホ一層完全ニ調査研
究ヲ遂ゲ、根本的ニ解決スベキ必要ガアル
カラ、寧ロ臨時施設トシタガ適當デア
ルコト云フ考ヲ以テ、私共ハ政府案ニ同意ス
ルモノデアリト云フコトヲ申上ゲテ置ク次第
デアリマス

私共今ヨリ基準米價ノ問題ニ付テ吾々ノ
意見ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマ
ス、世間ノ人ハ此基準米價ノ問題ニ付テ疑
惑ヲ有テ居ル人ガアルヤウデアリマス
マシラカト云ヘバ能ク知ラナイヤウデアリ
マス、私ハ率勢米價ノ下値ニ割ヲ以テ買入
ノ最低基準トシ、而シテ賣渡ノ場合ニ於テ
ハ率勢米價ノ二割上ヲ以テ賣渡時機トス
ル、ソレノミデハ満足スルモノデアリマ
ス、ソレハ基準米價デハアリマセヌ、率
勢米價ナルモノハ先程東君ガ色々申シマシ
タガ、一寸間違テ居ル點ガアルヤウニ思
ヒマス、私共ヨリ見ルト云フト、率勢
米價ナルモノハ明治三十三年以來ノ米價指
數ト、一般物價指數トヲ對比スルコト云フト、
常ニ物價指數ヨリ米價指數方上ニアリ、
デゴザイマス、其狀態ヲ探テ之ヲ數學的
ニ割出シテ、所謂率勢米價ナルモノハ出來
タノデゴザイマス、即チ經濟事情ニ應ジタ
ル所ノ相場デアルト云ヒ得ルノデアリマ
ス、此率勢米價ノ上下二割ト云フ事柄ハ、
是ハ生産費及家計費ノ調査ノ完了シナイ間
ノ一種ノ過渡的便法デゴザイマシテ、生産
費ノ調査ガ昭和七年度ニ於テハ完了スル
デゴザイマスカラ、其調査ガ完了スレバ
ウスルカト云ヘバ、最低基準價格ハ生産費
ト、所謂先程申上ゲタ率勢米價ノ下値ニ割
トノ間ニ於テ、適當ニ其當時ノ經濟事情ヲ
斟酌スルコトガ出來ルノデアリマス、言葉
ヲ換ヘテ言ヘバ、若シ茲ニ率勢米價ハ二十

圓デアルトスレバ、率勢米價ノ下値ニ割ハ
即チ十六圓デアル、所ガ生産費ガ二十二圓
デアルト致シマスレバ、其二十二圓ト、率
勢米價ノ下値ニ割タル十六圓ノ間ニ於テ、
時經濟事情ニ應ジテ買上ゲルコトガ出來ル、
即チ本年ノヤウナ狀態ニ於キマシテハ、當
局者ノ意見デ、米穀委員會ノ意見ヲ聽イテ、
二十二圓マデ買得ルコトニ相成ルノデゴ
ザイマス、斯クスルコトニ依リテ即チ基準
米價ガアルト雖モ、生産費マデ買得ルノデ
ゴザイマス、是ハ明確ナル法律上ノ解釋デ
アリマス、(ソナ庭先相場ヲ知ラナイカ)
ト呼フ者アリ、ソナ庭先相場ヲ知ラナイカ
ラ默テ御聽キナサイ
(ソナ庭先相場ヲ知ラナイカ)ト呼ヒ其他
發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ願ヒ
マス

○高田(秋田清君) (續) 而シテ委員會ニ於テ此
問題ニ付テハ、政府ノ答辯ハ、本年ノヤウナ
場合ニ於テハ、一日モ早く調査ヲ遂ゲテ、
而シテ成ベク早く最低基準價格ヲ今ノ米價
基準ニ依テ決定シテ、生産費ニ近イ程度ニ
於テ買上ゲルノデアリト明言シテ居ルノデ
ゴザイマス、勿論之ニ關シテハ施行令即チ
勅令改正ヲ要シマスガ、之ヲ改正シテ實行
スルト云フトコトヲ政府ハ明言シテ居ルノデ
ゴザイマス、(ソナ庭先相場ヲ知ラナイカ)ト呼
フ者アリ、今ノ法律ノ説明ヲシテ居
ル、昔ノ法律デハアリマセヌ、然ラバ政友
會ノ諸君ハ若シ此第四條、第五條ヲ全然削
除スレバドウ云フ程度ニ於テ御買上ニナル
ノデゴザイマス、即チ若宮君ノ御答辯ノ
通り生産費、家計費、物價及米價トノ關係
等ヲ顧慮シテ買フコト云フコトデアリマシ
テ、如何ニ政友會ノ諸君ト雖モ、マサカ生
産費モ何モ構ハズ無暗ニ諸君買フコト云フ意
味デハ何デゴザイマス、諸君ノ中ニハ消費
者ノ利益ヲ顧ミル人モゴザイマセウ、政友
會ノ諸君全部ガ必ズ生産費以上デ買フコト
云フコトヲ此處デ御明言ニナレマス、(明言
出來マス)ト呼フ者アリ、若シ御明言ニナル
ナラバ責任アル總裁カ此處デ御答辯ナサイ、
ソレナラバ承服致シマス、如何ニ政友會ノ諸
君ト雖モ生産費以上デ買上ゲル勇氣ハ無イ

デゴザイマセウ、若シ有ルナラバ總裁ガ
此處ヘ來テ御明言アラシコトヲ望ミマ
ス——而シテ帝國議會ノ要請モ、大體此際生
産費ノ程度デ買上ゲルコト云フコトデアリマ
シタナラバ、而シテ政友會ガ生産費以上デ
買上ゲルコト云フコトヲ、消費者ノ利益モ考
ヘネバナラヌカラ言ヒ得ナイト致シタナラ
バ、現内閣ノ執ル所ノ生産費ニ近ク買上ゲ
ルコト云フコトハ、農民ノ要請トモ政友會ノ要
望トモ一致スルノデゴザイマシテ、基準米
價ヲ置クモ何等差支ナイモノデアリト云フ
コトハ立派ニ斷言出來ルノデアリマス、(拍手)
此處デ問題ハ先程下ナカノ私語ニア
タ所ノ、今年ノ端境期ヲドウスルコト云フ問
題ニ移リマス、成程本年ノ生産費——昨年
ノ調ヲ見ルト、大體ニ於テ十二月ノ六日マ
デニ集計ガ付イテ居ルヤウデゴザイマス、
故ニ昨年デサヘ十二月六日ニ集計ガ付イタ
ノデアリカラシテ、政府ガ此際電報ヲ以テ
各方面ニ照會シテ置キ、急速ニ歩ヲ進メ集
計ガ出來ルト思ヒマス、事務的ニ出來マス、
サウスレバ假令米穀委員會ニ付議致シマシ
タ所ガ、十日以前ニ必ズ最低基準價格ヲ決
定スルコトガ出來ルノデアリマス、ソコデ
問題ハソレ前ニ賣出スル所ノ小地主小作人
ガ、洵ニソレデハ可哀相デハナイイカト云フ
御意見ガ出ルノハ極メテ御尤デアリマス、
併ナガラ十二月十日以前ニ市場ニ出ル米ハ極
メテ僅カデアリマス、東北、北海道及北陸
地方ニ限リマス、其全數量ハ恐ラクハ總數
ノ十分ノ一乃至二デアラウト思ヒマス、此
石數タケハ大體ニ於テ未ダ最低基準價格ガ
決定シナイ前ニ市場ニ出ルコト、存ジマス
ルケレドモ、併ナガラ如何ナル場合ニ於テ
モ政府ガ全部買上ゲルコトハナイノデゴ
ザイマス、全部買フコトハ出來マセヌ、サ
ウスレバ十二月十日頃ニ於テ政府ハ生産費
ニ近イモノ、或ハ生産費ヲ以テ買上ゲルニ
云フコトガ一般ニ分テ居レバ、ソレニ依
テ吾々ハ市價ハ完全ニ維持サレルト思ヒマ
ス、(拍手)若シ之ニ依テ市價ガ維持サレルコ
トガ出來ナイトスルナラバ、政府ガ日本國
中ノ有ニル米ヲ全部買ハナケレバ何等ノ效
果ガ無イト云フ結論ニナルコトハ明デア
ル

(拍手) 吾々ハ斯様ナ理由ニ依テ米穀ノ基準
價格ヲ決定シ、之ニ依テ最低價格ヲ定メテ、
米ヲ生産費近クデ買上ゲルコトニ依テ農村
ハ安全ニ救ハレ、而シテ政友會諸君ノ目的
モ之ニ依テ達セラレ、農會大多數ノ意見モ
之ニ依テ完全ニ達セラレルト信ズルノデア
リマス

吾々ハ此場合何故ニ基準米價ガ必要デア
ルカト云フ理由ヲ申上ゲテ置カナケレバナ
ラナイト思ヒマス、私ハ米穀ノ基準價格ニ
關スル法律ガ制定サレナイ前ニ於テ、米穀
法ガ如何ニ惡用サレタカト云フコトヲ申サ
ナケレバナリマセヌ、(拍手) 吾々ハ或ル場合
ニ於テハ——否、大多數ノ場合ニ於テ米ヲ
買フベカラザルニ買フタ事例ガアルト思ヒ
マス、(拍手) 昭和二年ノ縣會議員ノ選舉ノ前
ニ於テ農民ノ懷ロニ少シモ米ガ無イ、唯大
地主或ハ商賣人ノ懷ロニ少シモ米ガアツタラウ、
其時ノ相場ハ左程吾々ハ安イモノト思ハナ
イノデアアル、之ヲ不當ニ買入レタ、其結果

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○高田(秋田清君) (續) 大地主及商賣人ハ米ヲ
賣出シテ利益シ、而シテ餘ノ多數ノ農民ハ
此不當買上ノ爲ニ大損害ヲ被ツタト云フ事
例ハ極メテ著明ナ事デアアル、加之、其運用
ヲ誤レル結果ハ、買テモ下リ、買テモ下
リ、遂ニ何等目的ヲ達スルコトガ出來ナカ
タデアリマセヌカ、是ハ要スルニ何等ノ
基準ガ無クシテ、時ノ内閣ガ選舉ノ爲ニ利
用スルコトガ出來ルコト云フコトニ相成ル
デアリマス、而シテソレガ爲ニ國ノ經濟ニ
大損害ヲ與ヘタノデゴザイマス、(拍手) 昭
和二年ノ縣會議員選舉ノ其當時ノ内閣ガ誰
デアアルカト顧ミレバ、如何ニ其當時ノ米
買上ガ罪惡デアリシカト云フコトヲ立證ス
ルモノデアリト思ヒマス、(拍手) 是ハ昭和二
年ノ縣會議員選舉ノ前ニ買フタコトハ最モ
甚シキ失態デアリシコトヲ物語ルモノデア
ルガ、大體ニ於テ米ノ買上ト云フモノガ選
舉ノ前ニ行ハレタコトハ事實デアリマス、
故ニ田中内閣時代ニ於テ其弊害ヲ匡正スル
ガ爲ニ米穀調査委員會ヲ作り、而シテ濱口
内閣、若柳内閣ヲ經テ、其當時ノ朝野ノ學識

經驗アル者及政友會ノ人、民政黨ノ人モ委員トナシテ、大多數ヲ以テ決定シタル所ノ案デゴザイマス、之ヲ輕々ニ削除セントスルガ如キコトハ、唯徒ニ世論ニ媚ビ(ノノ)何等ノ確信無クシテ實行セントスルモデアリマス(拍手)

若シ政友會ノ諸君ガサウデナイト致シマシタナラバ、私ハ茲ニ申上ゲタイ事ガアル、政友會ノ諸君ハ昨年ノ十二月ヨリ今年ノ五月迄、時ノ内閣ノ首班トシテ大養總理大臣ガアテ、諸君ノ黨派ノ人ガ内閣ヲ組織シテ居タルノデハアリマセヌカ、農村ノ窮乏、非常對策ノ必要ナルコトハ五月十五日以後ニ始メタルデハアリマセヌカ、農村ヲ救ハナケレバナラヌト云フコトハ、政友會内閣ガ倒レタル後ニ起リタル問題デハアリマセヌカ、是ハ諸君肯定致シマセウ、若シサウデアルト致シマシタナラバ、而シテ諸君ノ主張スル如ク、基準米價ガアルト云フコトガ、非常ニ農民ノ利益ヲ害スルモノデアルト致シマシタナラバ、何故ニ政友會内閣存續中ニ、此種ノ議會ノ時ニ此提案ヲ諸君ハ致サナカ、デアルカ(拍手起リ)時局ガ違フト呼フ者アリ)時局ガ何デ違フ、其當時今日トエライ違ハナイ、滯貨生絲ニ付テ不當ノ賣拂契約ヲシテ、國家ニ大損害ヲ生ゼシムルヤウナコトヲ致シナガラ、諸君ガ若シ基準米價ガソレ程惡イと思フナラバ、何故ニ此問題ニ付テ少シモ用意致サナイノデアリマスカ、自分内閣ヲ取テ居ル時ニハ少シモ其點ニ觸レズシテ、内閣ガ變レバ自分ノ主張ヲ徒ニ大袈裟ニシテ宣傳セシメントスルハ洵ニ宜シクナイコト、私ハ思フ(拍手)私ハ以上ヲ以テ基準米價ノ適用ニ依テ、何等農民ノ利益ヲ害セズシテ、生産費マデ買上ゲルコトガ出來ルト云フコトヲ茲ニ斷言シテ置ク次第デアリマス

更ニ第二ノ政友會ト民政黨トノ意見ノ差、即チ政友會案ニ斯ウ云フコトガアル、災害ノ場合及何カ非常時ニ於テハ、政府所有ノ米ヲ市町村ニ有償或ハ無償ニテ交付シ或ハ貸付ケルコトヲ得、斯ウ云フコトヲ書イデアル、私共ハ貸付ノ規定ニハ同意致シマス、但シ意見ガ違ヒマス、府縣ガ貸付ノ事業ヲ行フ場合ニ於テ、之ヲ貸付ケルコト

方可ト存ジマス、所ガ無償ニテ市町村ニ交付スルコト云フコトガ書イデアリマス、之ニ對シテ小川君ヨリ提出者タル若宮君ニ伺ヒマシタドウ云フ意味デ同、タカト云ヘバ、斯ウ云フノデアル、兎ニ角實際生活ニ困ル食フニ困ル人ガアル、働イデモ食フニ困ル人ガアル、其場合ニ於テハ其人ニ政府ガ相當ノ方法ヲ執テ衣食ノ途ヲ立テ、ヤラナケレバナラヌカ、ケレドモ此ニ於テ規定スル必要ハナイ、是ハ純然タル社會立法トシテ、別ニ規定ヲ設ケル方ガ宜イデヤナイカト云フヤウナ質問ト、同時ニ特別會計ニ於テ會計ノ紊亂ヲ來ス、斯ウ云フコトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ若宮君ノ答辯ハ、一ツノ立法ガ二ツノ目的ヲ兼ネテモ差支ナイデヤナイカ、米價調節ノ目的ト同時ニ、社會政策ノ目的ヲ達スルコトニ於テ、何等害ハナイデヤナイカト云フヤウナ答辯デアリマシテ、會計ノ混亂ト云フコトニ付テハ御答辯ガナカ、タヤウニ思フテ居リマス、斯ウ云フ委員會ノ内容ニナッテ居リマスガ、私ノ考ヘル所デハ、成程市町村ニ無償ニ交付スルコト云フコトモ一理アルカトモ存ジマス、併ナララ之ニ依テ生ズル所ノ弊害ハ數限リ無クナルト私ハ思フ、何故デアルカト云ヘバ、今デサヘ御承知ノ通り「米コセ會」トカ、或ハ又場所ニ依テハ、私共ノ農村ニ於テモ、自分持テ居ル米ヲ賣テ、俺ハ米ガナイカラ政府米ヲ出セ、市町村ハ米ヲ買テ出セ、斯ウ要求ヲスル人モアル、私ハ無償ニテ市町村ニ交付スルコト云フコトニ依テ食ヘナイ人ニマデ政府ガ無償ニ米ヲ與フルト云フ制度ヲ立テルコトハ、非常ニ間違タル政策デアルト確信シマス、私ハ無暗ニ政黨ガ御座ナリヲ言フテ人氣取ラスルトハ宜シクナイと思ヒマス

(發言スル者アリ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○高田(秋田清君) 續) 私ハ此意味ニ於テ無償ニテ交付スルコト云フコトハ將來ノ爲ニ洵ニ宜シクナイ、此意味ニ於テ私ハ此無償交付ニ反對致シマス、若シ實際非常ニ能ク働イテ米生活ニ窮スル人ガアル場合ニ於テハ、之ヲ助ケル爲ニハ別ノ法律ヲ制定スルコト

ガ私ハ機宜ノ處置ト信ズルノデアリマス(拍手)
第三ノ貯藏獎勵ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ全然意見ガ違フテ居ル譯デハゴザイマセヌカ、政友會諸君ノ御意見ハ法律ニ書カズドモ豫算ニアレバ出來ルト云フノデゴザイマス、是ハ成程サウデゴザイマセウ、併ナガラ今マデ行タルコトノナイ事デアラ、今日マデ行タルハ初メ貯藏ニ對シテ低利資金ヲ融通スルダケデアリマシタ、所ガ今度ハ一面低利資金ヲ融通シ、他面或ル時期マデ米ヲ貯藏セシメテ、一石ニ對シテ二圓マデ、保險料ノ意味ニナリマスカ、二圓程度マデ獎勵金ヲ出スノデゴザイマスカラシテ、私ハ相當ノ效果ガアルト存ジマス、故ニ是ハ法律ニ書イテ置ク方ガ却テ宜シイト思ヒマシテ、政府案ニ賛成スル、第四ニ買上賣渡ノ際ニ於ケル時價準備ハ絕對ニ存置ラ要スル、其理由ハ政治的罪惡ヲ起シ易ク、一部國民ニ不當ノ利益ヲ與ヘ或ハ損害ヲ蒙ラシムルカラデアリマス、詳細ハ略シマス

即チ政府ノ米穀對策ハ一面ニ於テ米及米ノ貯藏獎勵ヲナシ、他面ニ於テ朝鮮臺灣ニ於テ内地ノ特別會計ヲ以テ適當ノ時移ニ米ノ買上ゲヲ爲シテ、之ヲ月別平均ノ十二月一時ニ内地ニ殺到シテ、ソレガ爲ニ十一月一タノデゴザイマス、此點ニ對シテ委員會ニ於テ、朝鮮ニ於テ米ヲ買上ゲナラバ、其程度ニ於テ其金ヲ以テ内地ニ於テ米ヲ買上ゲガ宜シイデハナイカト云フヤウナ質問モアリマシタガ、吾等ハ見ル所ニ依レバ、朝鮮臺灣ノ米ハ其生産費ガ内地ヨリモ安イコトハ明デアアルカラシテ、假令時價買上ゲマシテモ、朝鮮臺灣ニ於テ安イ米ヲ買上ゲマシテモ、所謂安イ米ガ來テ米價買上ゲマシテモ、所請安イ米ガ來テ米價買上ゲマシテモ、同ジ數量ノ買上ゲヲ斷行アリマスカラシテ、同ジ數量ノ買上ゲヲ斷行致シマシテモ、内地米ヲ買上ゲルヨリモ極メテ有效適切デアルト信ジマシマス、朝鮮臺灣米ノ買上ゲヲ可トスル所以デアリマス、即チ朝鮮臺灣ニ於ケル所ノ米ノ買上ゲ資金ノ増加、米價基準ヲ適當ニ運用シテ、生産費或ハ生産費ニ近キ程度ニ於テ内地ニ於テ米ヲ

買上ゲルコトニ依テ、私ハ相當ニ端境期ニ於テノ米價ノ維持ガ出來ルト信ジテ、茲ニ政府案ニ賛成スル次第デアリマス
私ハ先程東君ノ報告ノ中ニモアリマシタガ、基準米價ノ昨年ノ七月ヨリ行タル結果、ソレガ爲ニ米ノ値段ガ非常ニ安クナツタノデアルカノ如ク誤解シテ居ル人ガアリマス、ガ、ソレハ決シテ然ラズト云フコトヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、我國ノ米價指數ハ常ニ一般物價指數ヨリ一割二三分上ニアルコトハ明デアリマス、是ハ三十有餘年ヲ通ジテ其通りデアリマス、其理由ヲ茲ニ申ス必要ハアリマセヌカ、所ガ基準米價ヲ適用シタルハ何時カラデアアルカト云フ年ノ七月カラ本年ノ七月迄ノ、十三箇月間ノ所謂米價指數ト物價指數トヲ見ルト、ヤハリ三十數年來ト同ジニ、此十三箇月間ニ於キマシテ、大體ニ於テ一般物價指數ヨリモ米價指數ハ一割二三分上ニアルノデゴザイマス、斯クスルコトニ依テ米價指數ハ一割二三分上ニアルノデゴザイマス、諸君ガ米價指數ハ米價指數ト云フガ、此第四條第五條ガアルカラシテ、ソレガ爲ニ農民ニ損ヲ掛ケタ、ソレガ爲ニ米價指數ハ一割二三分上ニアルノデゴザイマス、此統計ガ明ニ示シテ居リマス、米價基準ヲ適用シタルコト云フテ、何等農民ニハ損ヲ掛ケマセヌカ、是ハ明ニ統計ニ現レテ居ルコトハ、今政府ハ約四百萬石ノ米ヲ持テ居ルコト思ヒマス、此上生産費近クテ米價買上ゲヲ致シマス、朝鮮、臺灣ヨリモ或ル程度ノ米ヲ買上ゲマス、所ガ徒ニ多量ノ買上ゲスルト云フコトガ、果シテ將來ノ農民ノ爲ニ利益デアルヤ否ヤト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、私共ハ米穀法ノ十年以來ノ運用ノ形跡ニ徴シテ、米ノ買上ゲニ依テ米ノ値段ヲ引上ゲルト云フコトハ不可能デアルト思フ

(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス
○高田(秋田清君) 續) 或ル程度ニ維持スル働ハアリマシケレドモ、之ニ依テ米ノ値段ヲ約上ゲントスルコトハ、今日マデノ實績カラ言ヘバ上ゲテ居リマセヌカ、買上ゲ時ハ上

デハ餘程遠^ツタ位地ニアルト思ヒマス、成程
 地主階級ハ一年中自分ノ米ヲ食^ツテ居ル、
 所ガ地方ニ依テ違ヒマスルガ、關西方面ノ
 副業ノ多イ處ヘ行キマスルト云フト、四五
 月ノ頃マデニ米ヲ賣^ツテ、後ハ買^ツテ食^ツフ農
 民ガ澤山アルサウデゴザイマス、漁村ニ於
 テ最モ甚シク、副業ノアル處ニ於テ其狀態
 ニアル、斯クスレバ無暗ニ米價ヲ釣上ゲル
 釣上ゲルト云フコトハ、生産費ヲ維持スルト
 云フコトハ穩當ト思ヒマスルガ、無暗ニ釣
 上ゲル^ノコト云フコトヲ言フノハ、農民ノ
 半分ノ小作人階級ヲ、或ハ自作農階級ヲ
 却テ壓迫シテ、損害ヲ與フルト云フ結果ニ
 ナルト云フコトヲ、能ク考ヘナケレバナラ
 スト思ヒマス、是ハ私ハ今日マデノ米穀法
 ノ運用ガ、米ヲ引上ゲルコトガ多クノ場合
 ニ於テ出來ナカッタノデアルト云フコトノ
 事例ヲ舉ゲテ、唯米ノ買上ハ豐作時機ニ
 於テ米ノ暴落ヲ防イデ、相當ノ程度ニ維持
 スル働キシカナイモノデアル、無暗ニ買ヘ
 フコト後デ農民ガ迷惑スルモノデアルト云
 フコトヲ、茲ニ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置ク
 ノデアリマス(拍手)以上ヲ以テ私ノ政府案
 贊成ノ意見ト致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 八田宗吉君

吾々ハ今日農村ノ疲弊因難至ラザルナキ
状態ニナツテ居ル其原因ヲ以テ、農産物ノ
首位ヲ占ムル所ノ米價ノ墜落シテ居ル此今
日ノ狀況ガ、農民ヲシテ斯ル慘苦ヲ嘗メシ
メツ、アルモノデアラツテ、全ク此米價下落
云フコトニ原因ヲシテ居ルト考ヘテ居ル
(拍手)而シテ此米價ノ下落ノ原因ハ何處ニ
アルカト申シマスト云フト、吾々ハ檢討シ
盡シマシテ、昨年定メラレタル率勢米價ナ
ル此極楷ガアツテ、政府ノ出勤、米買入ヲ妨
ゲ、サウシテ徒ニ此法ガアツテ動カスコト
ノ出来ナイヤウナル、此率勢米價ニ米問
題ニ對スル癌ガ横ツテ居ル爲ニ、農民ガ苦
心ヲ嘗メツ、アル今日ノ状態ニナツテ居ル
ノデアルカラシテ、先ヅ此癌ヲ切抜イテ、
サウシテ秋ノ米ヲ高クサセルコトガ一番必
要デアル(拍手)

由來吾々ハ米ヲ高クスル上ニ付テハドウシテモ端境期ニ、秋ノ出廻期ノ米ヲ高クスルニ農ラザレバ、今亡ビントシツ、アル所ノ中農、小農、即チ自作農及自作兼小作農、斯ウ云フヤウナ者ヲ救フコトガ出來ナイト思フ、デアルカラシンドウシテモ秋ノ出廻期ノ米ヲ高クスルヨリ外仕方ガナイ、即チ十一月カラ十二月上旬ニ互フテ、サウシテ米期ニ於テ政府ガ買入ヲ爲シテ、救ウシテ米價ヲ吊上ゲル政策ヲ採フテ、中小農ヲ救フ外ナイト云フコトガ吾々ノ根本立論デアリマス、今同米穀委員會ニ於キマシテハ、總總理大臣等ニモ御出席ヲ願ヒ、又農林大臣等ヨリ御提案ニ對シマシテ色々詳細ニ承クタ

スルニハ、ドウシテモ率勢米價ヲ取除カナケレバナラヌト云フ御細ニ付テハ、委員長タル東君ヨリ詳細ニ御話ガア、タノデアリマス、即チ昨年定メタル率勢米價ナモノハ、全ク生産費ヲ見ナカッタ率勢米價デアッテ、暫定のナモノデアル、今後ハ生産費ヲ加味シタル率勢米價ヲ以テ、即チ率勢米價下値ニ割ニナ、タ時ニ買入レ、一割上、タ時ニ之ヲ賣出スト云フコトニスル、斯ウ云フ暫定のノ法律デアッテ、生産費、生計費ノ調査ハ其後致シテ決定スト云フコトニ昨年ハ定メタルノデアリ、而シテ生計費、生産費等ニ付テ政府ノ發表スル所ニ依ルト、生産費ニ付テ申シマスルト、昨年ノ生産費ハ十二月ニナ、テ自作農、小作農ニ付テ調べタ金額ガ二十圓十一錢デアル、而シテ本年ニ於テ此率勢米價ノ基準ヲ定メルベキ此調査

ヲスルニ付テハ、如何ナル時日ヲ要スルカト云フト、十二月十日ニ至ラザレバ生産費ニ付テ全國カヲ集ル統計ヲ示スコトガ出來ナシメテ云次第アル、十二月十日ニ至テ始メ此生産費ヲ計シテ、基準米價ヲ定メルコトガ出來ルト申シマスルガ、十二月十日後ニナツテハ殆ド米穀法ナルモノ、出動ヲ要シナイ時代ニナリ、既ニ中農、小農ハ之ヲ要シナイノデアル、而シテ考ヘテ見マサルト云フト、昨年生産費ガ二十圓十一錢デアルト云フト、本年ハドウナルコト云フト、昨年モ豐作デ、今年モ亦豐作デアアル、サウシテ肥料代ハ安イ、斯ウ考ヘテ見ルト云フト、本年ノ米ノ生産費ト云フモノハ、昨年ヨリ

今申シタ通り生産費ハ二十圓以下ニナ
 参々ト時ニ當テ、率勢米價ニ依テ基準安イモ
 ヲ定メテ參ルト云フコトデハ、益々準イモ
 ノニナツテシマルマウカシテ、茲ニ吾々ハ率
 勢米價ノ基準、即チ現行米穀法ノ第四條第
 五條ヲ廢シテ、自由ニ政府ガ出動シ得ルヤ
 ウニ致シテ、十二月十日以前ニ於テ、最モ
 買込マナケレバナラヌ時ニ政府ノ處置ヲ致
 サセヤウト考ヘルノデアリマス、斯様ニシ
 テ行キマス、米價ハ必ず高ク上テ來ル
 ニ違ヒナイ、從來妨ゲノアツタ率勢米價ノ
 癌モ取ツテシマヒ、又時價ニ準據シテ買ハナ
 ケレバナラナクナツテ居、タ所ノ此法律モ無
 クナルノデアリマスカラシテ、政府ノ信ス
 ル所ノ生産費ヲ超過シタル價格ニ於テ買込
 ムコトガ出來ル、高田君ハ生産費ヲ超過シ
 タ價格ヲ以テ買フノハドウカト言ハレマシ

タカシ生産費ニ利潤ヲ加ヘタル値段ヲ以テ買フノハ、是ハ當然ノコトデアラト思フ、生産費ノミノ價格ヲ以テ買フニアラズシテ、ソレニ更ニ利益ヲ加味シタル價格ヲ以テ政府ハ買入レ、米價ノ昂上策ヲ取テ宜イノデアル、從來ハ時價ニ準ズルト云フコトガアリマシタ爲ニ、何時デモ米價ガ慘落シタ時分ニ、其時ノ値段デ買取テ居ル、ダカラ吾々ノ郷里ノ會津ナドデハ、此政府ノ買ニ應ズル者ハ殆ドナイノデアル、町田農林大臣ノ當時ニ於テ政府ハ買入ヲサレタケレドモ、時價ニ準據スルト云フ規定ガアツタ爲ニ、安クシカ買ハレナイ、ソレデ其實ニ應ズル者モナイト云フヤウナコトデ、米價ハ

アンナニ暴落シタ、ソコデ今同此時價ニ準據スルト云フコトヲ取テ、隨意ニ政府ノ信ズル價格ヲ以テ買取ルコトガ出來ルコトニシタ、此位農民ニ取テ理想的ノ法案ハナイト信ズル、抑、吾々ガ米穀法立法當時ニ於テ非常ニ心配シタコトハ、價格ノ調節ヲモ加味シナケレバナラヌト云フコトデ、量ノ調節ノミデハ價格ノ調節ト云フコトヲ加ヘテ本院ヲ通過シタ、デアリマ

リマス、其他米ヲ拂下ゲルコトニ付テ色々御話ガアリマシタガ、洵ニ吾々ハ米ノコトニ付テモ政府案ニ賛成ヲ致シ、吾々モ之ニ追及ヲ致シテ提案シタヤウナ次第デアルカラ、何等政府ト異ナル點ハナイ、唯頻ニ率勢米價ニ因ハレテ秋ノ十二月以前ニ、十二月十日以前ニ此米穀法ヲ出動シテ、農民ヲ救フコトノ出來ナイ云フコトハ殆ド分ナク、一億三千万圓ヲ本當ニ運用シテ行クコトヲ提案致シタノデアリマス、速ニ之ヲ採用サルルヤウニ熱望シテ已マヌノデアリマス

○議長(秋田清君) 小池仁郎君

(小池仁郎君登壇)

○小池仁郎君 政府案ノ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ニ賛成スル者デアリマス、次ノ米穀應急施設法案ニハ修正意見アリマシ、テ居ル者デアリマス、政友會ヨリ提案セラレタル米穀法中ノ改正案ニハ或ル修正ヲ付シテ、四條、五條ノ削除及昭和六年法律第三十一號附則第二項ノ削リ、之ニ賛成ヲ表スル者デアリマス、ソレニ付テ簡單ニ意見ヲ披瀝シテ見タイト思、テ居ルノデアリマス

只今迄同僚諸君ガ熱心ニ此問題ヲ論議サルノヲ拜聴シマシテ、如何ニモ大切ナル問題デアラカラ、各御主張ヲ爲サルコトハ當然ナコトデアアル、併シ米ハ政黨ノモノデモナイ、全ク國民ノモノガ(拍手)民政黨ノモノデモナケレバ、政友會ノモノデモナイ、ドウシテモ此問題ハモウ少シ御互ガ冷靜ニ考ヘテ見ナケレバナラヌノデヤナイカ、此時局匡救ノ問題ノ解決ニ鍵ハ、國民ノ債務整理ト此米ノ問題ヲ解決シテ、多數ノ生産者ニ安心ヲ與ヘル、同時ニ多數ノ消費者ニ安心ヲ與ヘル、此二ツノ問題ガ解決スレバ、時局ノ匡救ノ鍵ガ大體ニ於テソコニ現レタト云、テモ宜イ位ニ私ハ考ヘテ居ル(拍手)先ヅ米穀ノ應急施設法案トシテ政府ノ提案セラレタル所ハ、此標題ニ掲ゲラレマシタ通り應急ノ施設デアリマス、應急ノ施設デアリカラ、モウ少シ徹底シタコトミマシタケレドモ、政府モ今調査中デアアル、

殊ニ總理大臣ハ米ニ對シテハ出來ルダケ早ク次ノ議會ニ出シタイト考ヘテ居ル、此聲明ガアリマシタカラ、其聲明ニ信賴シ、政友會諸君ノ御希望ノ點ヲ考慮シ、應急施設ノ方ニ修正ヲシタイト考ヘタノデアリマス、即チ第一條ノ政府案ニ「政府ハ米穀法ニ依リ米穀ノ買換ルヲ爲サント定ムル場合ニ於テ必要アリト認ムルモ其命令ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サルコトヲ得」此道府縣ト云フモノ、下ニ道府縣又ハ市町村ト「市町村」ノ三字ヲ加ヘテ、市町村ニモ此應急施設法ヲ實行セシメタイト云フ趣旨デアリマス、隨テ第二條ニ於ケル、道府縣ト云フ下ニモ、ヤハリ「又ハ市町村」ト云フ字ガ加ハレ譯デアリマス、意味ハ同一デアリマス、第一條ノ第二項トシテ、是ハ政友會案ニアリノデアリマス、少シ字句ハ違、テ居リマス、大體ノ意味ハ同ジデアリマス、政府ハ災害救助ノ他緊急ノ必要アルトキハ道府縣又ハ市町村ノ施設ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若クハ無償ニ交付シ又ハ一定ノ期間ヲ限リ貸付ヲ爲スコトヲ得、此一項ヲ加ヘ米穀法ニアリマス、大體ハ政友會提出案ノ米穀法ノ第一條ノ第二項ニ加ヘルト云フコト、意味ハ同ジナノデアリマス、併シ此施設ハ要スルニ應急案ト考ヘマシタカラ、此應急施設法ノ第一條ノ第二項ニ差加ヘタイト云フノデアリマス、修正ノ案文ハ其通りデアリマスガ、尙ホ政府ガ朝鮮米、臺灣米ノ内地移入數量ヲ月別平均セシメテ、内地米價ノ低落ヲ防ギ、或ハ暴騰ヲ防グ、斯ウ云フヤウナコトハ應急ノ施設トシテ當然ナコトデアアル、第四條ノ粟ニ關スル問題ナドモ極メテ適切ナモノト思ヒマスカラ、米價ニ付テハ不満足ナ點ハアリマスケレドモ、大體應急ノ施設トシテ、政府案ニ賛成ヲ表シタノデアリマス、以上ノ修正ヲ加ヘテ贊成ヲシタノデアリマス

次ニ政友會提案ノ第四條、第五條ノ削除並ニソレニ附隨シタル勅令第三十一號附則第二項ノ削除、之ニ私ハ贊成ヲシテ居ル、所ニ付テハ色々ノ御議論ガアリマスガ、所謂率勢米價ニ率勢米價ハ私ハ知リマセヌ、私ハ素人ダ、私ハ米ヲ作、テ居ル者デ

ナイ、米ノ消費者デアアル、消費者デアアルカラ、米ノコトハ能ク知ラヌ、知リマセヌガ、今所謂米穀法ノ基準價格トシテ、政府ガ國內ニ告示シタルモノヲ見マスレバ、昭和六年ノ十二月ノ決定、即チ政友會内閣ノ山本農林大臣ニ依テ告示セラレタルモノガ、最低價十六圓三十一錢、率勢米價ガ二十圓三十九錢、其最高價二十四圓四十七錢、是ハ時代ニ適應シナイト認メラレテ、更ニ昭和七年四月ニ改訂セラレテ、最低價格ハ十七圓九十一錢、率勢米價ガ二十二圓三十九錢、最高ノ價格ガ二十六圓八十七錢、斯様ニナッテ居リマス、私ハ此告示ヲ見マシテ今日ノ政友會ノ諸君ガ、此率勢米價ト云フモノ、撤廢ヲ主張セラル、コトヲ對照シテ、何故ニ此時此率勢米價ナルモノヲ撤廢セラレナカッタコト云フコトヲ、實ハ惜シシデ居ルノデアリマス、結局ソナハ死シタ子ノ齡ヲ今數ヘテモ仕方ガナイ、惡イト思、タラ即座ニ改メラルガ宜イ、私ノ尊敬スル高田平君ハ、率勢米價ニ付テ今諄々トシテ此處ニ説明セラレ、又平素モ米ニ付テノ御教ヲ受ケテ居ル、私ハ消費者デアレ、安イダケ宜シイノデアアル、此最

低價格十七圓九十一錢即チ約十八圓、十八圓ノ最低價格デ、果シテ生産者ガ之ヲ手放スコトガ出來ルカ出來ナイカ、併シ背ニ腹ハ代ヘラレナイ、非常ナル窮境ニ立チマシタラ、或ハ之ヲ代ヘルカモ知レヌ、今高田君ノ御話ニ依レバ、生産費ハ二十二圓ダト云フ、又八田宗吉君ハ只今生産費ニ若干ノ利益ガナケレバ賣、テハナラナイト云フヤウナ御意見モアラッタガ、是ハ米ノ問題ガカラ、我田ニ水ヲ引クコトハ宜シイデアリマセウガ、水ヲ引クコトヲ止メテ、極ク公平ナ立場ニ立、テ考ヘテ見ルコトガ一番宜イ、假ニ今年ノ生産費ガ二十二圓ダ、此率勢米價ノ最低價格ガ十八圓ダ、之ヲ平均シテ二十二圓トシタラ幾ラ相場ガ出テ來ルカ、二十二圓ト十八圓ト四十圓ト、二十圓ニナル、ソレナラ生産者ガ二十圓生産費ヲ割、テ賣ラベナラズト云フ義務ガ何處ニアルカ、私ハ消費者ガ成ベク安イ方ガ宜イト云、タカラト云、テ、自分達ノ同族ノ者ガ作、テ居ル

ラ、米ノ消費者デアアル、消費者デアアルカラ、米ノコトハ能ク知ラヌ、知リマセヌガ、今所謂米穀法ノ基準價格トシテ、政府ガ國內ニ告示シタルモノヲ見マスレバ、昭和六年ノ十二月ノ決定、即チ政友會内閣ノ山本農林大臣ニ依テ告示セラレタルモノガ、最低價十六圓三十一錢、率勢米價ガ二十圓三十九錢、其最高價二十四圓四十七錢、是ハ時代ニ適應シナイト認メラレテ、更ニ昭和七年四月ニ改訂セラレテ、最低價格ハ十七圓九十一錢、率勢米價ガ二十二圓三十九錢、最高ノ價格ガ二十六圓八十七錢、斯様ニナッテ居リマス、私ハ此告示ヲ見マシテ今日ノ政友會ノ諸君ガ、此率勢米價ト云フモノ、撤廢ヲ主張セラル、コトヲ對照シテ、何故ニ此時此率勢米價ナルモノヲ撤廢セラレナカッタコト云フコトヲ、實ハ惜シシデ居ルノデアリマス、結局ソナハ死シタ子ノ齡ヲ今數ヘテモ仕方ガナイ、惡イト思、タラ即座ニ改メラルガ宜イ、私ノ尊敬スル高田平君ハ、率勢米價ニ付テ今諄々トシテ此處ニ説明セラレ、又平素モ米ニ付テノ御教ヲ受ケテ居ル、私ハ消費者デアレ、安イダケ宜シイノデアアル、此最

低價格十七圓九十一錢即チ約十八圓、十八圓ノ最低價格デ、果シテ生産者ガ之ヲ手放スコトガ出來ルカ出來ナイカ、併シ背ニ腹ハ代ヘラレナイ、非常ナル窮境ニ立チマシタラ、或ハ之ヲ代ヘルカモ知レヌ、今高田君ノ御話ニ依レバ、生産費ハ二十二圓ダト云フ、又八田宗吉君ハ只今生産費ニ若干ノ利益ガナケレバ賣、テハナラナイト云フヤウナ御意見モアラッタガ、是ハ米ノ問題ガカラ、我田ニ水ヲ引クコトハ宜シイデアリマセウガ、水ヲ引クコトヲ止メテ、極ク公平ナ立場ニ立、テ考ヘテ見ルコトガ一番宜イ、假ニ今年ノ生産費ガ二十二圓ダ、此率勢米價ノ最低價格ガ十八圓ダ、之ヲ平均シテ二十二圓トシタラ幾ラ相場ガ出テ來ルカ、二十二圓ト十八圓ト四十圓ト、二十圓ニナル、ソレナラ生産者ガ二十圓生産費ヲ割、テ賣ラベナラズト云フ義務ガ何處ニアルカ、私ハ消費者ガ成ベク安イ方ガ宜イト云、タカラト云、テ、自分達ノ同族ノ者ガ作、テ居ル

當ニ憐ムベキ政治家デアルト考ヘルノデア

リマス、其他米ヲ拂下ゲルコトニ付テ色々御話ガアリマシタガ、洵ニ吾々ハ米ノコトニ付テモ政府案ニ賛成ヲ致シ、吾々モ之ニ追及ヲ致シテ提案シタヤウナ次第デアルカラ、何等政府ト異ナル點ハナイ、唯頻ニ率勢米價ニ因ハレテ秋ノ十二月以前ニ、十二月十日以前ニ此米穀法ヲ出動シテ、農民ヲ救フコトノ出來ナイ云フコトハ殆ド分ナク、一億三千万圓ヲ本當ニ運用シテ行クコトヲ提案致シタノデアリマス、速ニ之ヲ採用サルルヤウニ熱望シテ已マヌノデアリマス

殊ニ總理大臣ハ米ニ對シテハ出來ルダケ早ク次ノ議會ニ出シタイト考ヘテ居ル、此聲明ガアリマシタカラ、其聲明ニ信賴シ、政友會諸君ノ御希望ノ點ヲ考慮シ、應急施設ノ方ニ修正ヲシタイト考ヘタノデアリマス、即チ第一條ノ政府案ニ「政府ハ米穀法ニ依リ米穀ノ買換ルヲ爲サント定ムル場合ニ於テ必要アリト認ムルモ其命令ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サルコトヲ得」此道府縣ト云フモノ、下ニ道府縣又ハ市町村ト「市町村」ノ三字ヲ加ヘテ、市町村ニモ此應急施設法ヲ實行セシメタイト云フ趣旨デアリマス、隨テ第二條ニ於ケル、道府縣ト云フ下ニモ、ヤハリ「又ハ市町村」ト云フ字ガ加ハレ譯デアリマス、意味ハ同一デアリマス、第一條ノ第二項トシテ、是ハ政友會案ニアリノデアリマス、少シ字句ハ違、テ居リマス、大體ノ意味ハ同ジデアリマス、政府ハ災害救助ノ他緊急ノ必要アルトキハ道府縣又ハ市町村ノ施設ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若クハ無償ニ交付シ又ハ一定ノ期間ヲ限リ貸付ヲ爲スコトヲ得、此一項ヲ加ヘ米穀法ニアリマス、大體ハ政友會提出案ノ米穀法ノ第一條ノ第二項ニ加ヘルト云フコト、意味ハ同ジナノデアリマス、併シ此施設ハ要スルニ應急案ト考ヘマシタカラ、此應急施設法ノ第一條ノ第二項ニ差加ヘタイト云フノデアリマス、修正ノ案文ハ其通りデアリマスガ、尙ホ政府ガ朝鮮米、臺灣米ノ内地移入數量ヲ月別平均セシメテ、内地米價ノ低落ヲ防ギ、或ハ暴騰ヲ防グ、斯ウ云フヤウナコトハ應急ノ施設トシテ當然ナコトデアアル、第四條ノ粟ニ關スル問題ナドモ極メテ適切ナモノト思ヒマスカラ、米價ニ付テハ不満足ナ點ハアリマスケレドモ、大體應急ノ施設トシテ、政府案ニ賛成ヲ表シタノデアリマス、以上ノ修正ヲ加ヘテ贊成ヲシタノデアリマス

次ニ政友會提案ノ第四條、第五條ノ削除並ニソレニ附隨シタル勅令第三十一號附則第二項ノ削除、之ニ私ハ贊成ヲシテ居ル、所ニ付テハ色々ノ御議論ガアリマスガ、所謂率勢米價ニ率勢米價ハ私ハ知リマセヌ、私ハ素人ダ、私ハ米ヲ作、テ居ル者デ

モノヲ、無理ヤリニ安ク買取ラネバナラヌト云フ理窟ガ何處ニ一體アルカ(拍手)成程率勢米價ト云フモノ、斯ウシタ標準ヲ設ケルニハ歴史ガアリマセウ、如何ニモ其歴史ハ吾々ハ尊敬シナケレバナリマセウ、歴史ハ尊敬シナケレバナリマセウ、其歴史ヲ尊敬スル爲ニ、現在ノ國民ヲ犠牲ニスル必要ハナイ筈デアル(拍手)私共ハ口ヲ開ケバ共存共榮ト言ヒマス、共存共榮ト云フナラバ、生産者モ損ヲシナイヤウニ、消費者モ大シタ金ヲ拂ハナイデ消費ガ出來ルヤウニシテ行クコトガ、米穀法ノ精神ダラウト考ヘテ居ル、是ガナクシテ今日此様ナ状態ヲ互ニ論議スルト云フコトハ、モウ少シ御互冷靜ニ時局ノ窮迫ニ覺メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス(拍手)此法ヲ立テラヌコトハ容易ナコトデハナカッタデセウ、率勢米價ヲ定メルト云フコト、高等數學マデ用ヒテ決メタルデアリマスケレドモ、ソレハ百姓ニハ分リマセヌ、今日ノ時局匪救ノ問題ハ、先程モ申上ゲタ通り、國民ニ先ヅ安心ヲ與ヘルト云フコトガ先決問題デアル(拍手)吾々ハ現内閣ガ協力内閣、舉國一致内閣、時局匪救ノ爲ニ生レタ内閣トシテ、其時局匪救ノ成案ヲ見テ、非常ニ不満足ヲ感ジ失望シテ居ル、是ト同ジコトダ、アナタ方ハナダデモ、政友會デモ民政黨デモ、或ハ吾々國民同盟ノ者デモ、今ノ原案ニハ洵ニ不満足ダ、不満足ダカラヤリ替ヘナサイ、ヤリ替ヘル暇ガナイカラ、マア泣キ泣キ涙ヲ流シテ之ヲ通シテヤラウ、斯ウ云フノデアリマス(拍手)要スルニ國民ニ若干ノ安心ヲ與ヘヨウ、ヨリ良キモノヲ茲ニ作出シテ、時局匪救ノ最大政策デナケレバナラヌ(拍手)成程米ノ生産者スル者、農家ノ生産ニ關係スル人ハ、國民ノ大多數デアリマス、ケレドモ消費者ハ又ソレヨリモ多イノダ、生産者ハヤリ消費者デアリ、需要者デアリ、サウ考ヘルト餘リ高クテモイケナイ、餘リ安ケレバ勿論作人ガ困テシマフ、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マスルアル、今マデ率勢米價ト云フモノヲ告示シテ底ニ喘イデ居ルカ、或時ニハ政友會ハ農民

ノ味方ダト、或ル國民ノ中ニハ考ヘテ居ル者ガアツタカモ知ナレ、ソレダ、オ前低價格ハ十七圓九十一錢、十八圓、オ前ノ米ハソレデナケレバ買入ノ發動ガ出來ナイノダ、何トモハ失望セザルヲ得ヌデハアリマセヌカ、況ヤ既ニ平均ノ生産費ガ二十圓デアルトスレバ、ソレニ餘分ノ儲ケヲヤルカラナイカハ、ソレハ一般ノ物價ト對照シナケレバナラヌ、是ハ當然ノコトダと思フ、然レドモ低價相場デドウシテモ生産者ガ手離サナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ無理ナ骨頂ダ、是程ニ無理ナ法律ハ私ハナイと思フ、私ハ此點ニ付テ農林當局ニ伺フ、何トカ率勢米價ノ下ニ割ノ幅、上ニ割ノ幅ヲ取ル方法ハアリマセヌカ、ソレヲ取テ、率勢米價一本デ行クト云フト非常ニ安心スルデヤナイカ、幅ヲ決メテ置クカラ、其間ニ米穀ヲ取扱フ人ノ駈引ガ出來テ、上ルベキモノモ下ッテシマヒ、或ハ下ルベキモノモ上ッテ、一般ノ消費者ニ迷惑ヲ與ヘルコトガアルノダカラ、此施行令ヲ改正スルノ意思ガアルカナイカラ尋ネタ、ソレハ出來ナイト當局ハ答ヘラレタ、今俄ニソレヲ改メラルニハ行カナイ、到底今日ノ間ニハ合ハナイト云フ意味デアッタ、此率勢米價ヲ定メタルハ多大ノ辛苦艱難ヲシテ、斯ウ云フ法律ガ出來タノデアリマセウ、之ニハ私散意ヲ表シマス、併シ實際ニ當面ナインノダカラ、所謂涙ヲ揮ッテ馬糞ヲ糞ル、米穀法ノ四條、五條及之ニ附隨スル法律三十一號ノ第二項ヲ削ルト云フ政友會ノ案ニ賛意ヲ表シタ次第デアリマス(拍手)政府提案ノ米穀應急施設法ハ洵ニ不徹底トモ思ヒマスケレドモ、今日ノ場合ニハ以上ノコトハ出來マスマイ、併シ國內ニハ非常ニ困テ居ル者モアリ、或ハ災害ニ遭ッテ居ル者モアリ、サウ云フ方面ニ無償ヲ以テ、此買換ナケレバナラナイト云フ米ヲ、其市町村ニ分ケルコトハ餘リニ濫費ニナルトハ考ヘテ居リマセヌ、此點ニ付テハ尊敬スル高田君ノ御再考ヲ煩スデアリマス、私ノ修正案ノ趣意、及政友會案ニ賛成ノ意見ヲ申上ゲタ次第デアリマス(拍手)○上田孝吉君 三案ニ對スル討論ハ之ヲ以テ終局トセラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ終局シマシタ、先ヅ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リ致シマス、本案ノ委員長報告ハ修正デアリマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
米穀需給調節特別會計法中改正法律案 第二讀會
○議長(秋田清君) 採決ヲ致シマス、本案ノ委員長報告ノ修正ノ點ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
○議長(秋田清君) 起立多數——委員長報告ノ修正ノ點ハ可決サレマシタ(拍手)其他ノ部分ハ原案ノ通り御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、其他ノ部分ハ總テ原案ノ通り決シマシタ、是ニテ第二讀會ハ終了致シマシタ
○上田孝吉君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
米穀需給調節特別會計法中改正法律案 第三讀會

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第二讀會決議ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)次ニ米穀應急施設法案、米穀法中改正法律案ノ採決ニ入ルニ先ヅ一言致シマス、米穀法中改正法律案ノ委員長報告中ニハ、米穀應急施設法案中ノ條項ト共通ノ部分ガアリマスガ、各別ノ議案デアリマスカラ、先例ニ依リ各案ノ各條項ハ之ヲ不可分ノモノトシテ取扱ヒ、先ヅ奏助君外二十三名提出、米穀法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リ致シマス、本案ノ委員長報告ハ修正デアリマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
○議長(秋田清君) 起立多數デアリマス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
米穀法中改正法律案 第二讀會
○議長(秋田清君) 採決ヲ致シマス、本案ノ委員長報告ノ修正ノ點ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
○議長(秋田清君) 起立多數——委員長報告ノ修正ノ點ハ可決サレマシタ、其他ノ部分ハ原案ノ通り御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、其他ノ部分ハ總テ原案ノ通り決シマシタ、是ニテ第二讀會ハ終了致シマシタ
○上田孝吉君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

議案全部ヲ讀誦ト致シマス

米穀法中改正法律案 第三讀會

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)次ニ政府提出、米穀應急施設法案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、本案ノ委員長報告ハ否決デアリマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(賛成者起立)

○議長(秋田清君) 起立少數デアリマス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマシタ(拍手)

○上田孝吉君 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ次回ノ議事日程終了後繼續スルコト、シ、本日ノ日程ハ之ヲ延期シ、直チニ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)

○議長(秋田清君) 反對々々ト呼フ者アリ

(反對々々ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 只今ノ議長ノ表決ノ宣告ニ對シ異議ノ申立ガアリマスカラ、起立ニ諮ヒマス、上田君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

(賛成者起立)

○議長(秋田清君) 起立多數、仍テ上田孝吉君ノ動議ノ通り決シマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後七時三十五分散會

衆議院議事速記第七號中正誤

去月三十一日衆議院議事速記第七號一二六頁及一二七頁ニ互リ掲載ノ通信事業特別會計法案中第十五條誤載第十六條以下脫落シタルヲ以テ更正ス

通信事業特別會計法案

通信事業特別會計法

第一條 通信事業ヲ經營スル爲現有ノ土地建物、線路機械其ノ他ノ設備及貯藏物品政府所有ノ日本無線電信株式會社ノ株式並將來投資スル金額ヲ以テ資本ト爲シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充テ特別會計ヲ設置ス

本法ニ於テ通信事業ト稱スルハ簡易生命保險及郵便年金ヲ除クノ外郵便電信及電話官署ノ掌ル一切ノ事業ヲ謂フ

第二條 通信事業資本補足ノ爲必要アルトキハ公債ヲ發行シ又ハ借入ヲ爲スコトヲ得前項ノ規定ニ依ル公債及借入金ノ總額ハ事業設備ノ擴張改良費及用品資金補足ノ豫算

定額以內トス但シ公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ此ノ制限ヲ超エ公債ヲ發行シ又ハ借入ヲ爲スコトヲ得

第三條 前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金及之カ借換ノ爲起債シタル國債ハ本會計ノ負擔トス

前項ニ規定スル國債ノ償還金利息ノ割引料並發行及償還ニ關スル經費ノ支出ニ必要ナル金額ハ毎年度之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ルヘシ

第四條 本會計ハ之ヲ資本勘定用品勘定業務勘定及郵便貯金利息勘定ニ區分ス

第五條 資本勘定ハ差金繰入金、事業設備補充費繰入金、電信電話建設寄附及設備負擔金公債募集金、借入金所屬財產ノ賣拂代金其ノ他附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ事業設備ノ擴張改良及補充費、國債償還金、用品資金補足其ノ他附屬諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第六條 用品勘定ハ現有ノ貯藏物品及將來補足スル金額ヲ以テ其ノ資金ニ充テ用品收入、工作收入其ノ他附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ用品費、工作費其ノ他附屬諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

用品勘定ニ於テ決算上生シタル過剩及不足ハ之ヲ資本勘定ニ移シ整理スヘシ

第七條 業務勘定ハ業務上ノ諸收入郵便貯金經費繰入金預金利息株式配當金其ノ他附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ業務上ノ諸費用、事業設備ノ維持修理費、資本勘定ヘノ事業設備補充費繰入金、國債ノ利息割引料其ノ他附屬諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第八條 郵便貯金利息勘定ハ郵便貯金ニ基ク收入利息ヲ以テ其ノ歳入トシ郵便貯金支拂利息及業務勘定ヘノ郵便貯金經費繰入金ヲ以テ其ノ歳出トス

郵便貯金利息勘定ニ於テ決算上生シタル剩餘ハ之ヲ其ノ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第九條 通信取扱數量ノ増加其ノ他避クヘカラサル事由ニ因リ生シタル豫算ノ不足ヲ補フ爲用品勘定業務勘定及郵便貯金利息勘

定ノ歳出ニ豫備費ヲ設クヘシ

第十條 業務勘定ニ於テ歳入總額ノ歳出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ差金トシ資本勘定ニ繰入ルヘシ

第十一條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第十二條 資本勘定ニ屬スル資金ニシテ年度內ニ使用セザルモノハ之ヲ其ノ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

資本勘定ニ屬スル毎年度豫算殘額ハ事業ノ完成ニ至ル迄遞次之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第十三條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得

本會計ノ各勘定ニ於テハ相互間資金ノ繰替ヲ爲スコトヲ得

一時借入金、融通證券ニ依ル資金及繰替金ハ當該年度內ニ之ヲ返還スヘシ

第十四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第十五條 本法ニ依リ本會計ニ於テ借入ヲ爲シ又ハ一時借入ヲ爲ス必要アル場合ニ於テハ當該年度內ニ限り國庫餘裕金ヲ繰替使用スルコトヲ得

第十六條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第十七條 本法ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 本會計ハ當分ノ内毎年度九千萬圓以內ニシテ豫算ノ定ムル金額ヲ第十條ノ規定スル差金中ヨリ一般會計ニ納付スヘシ

第十九條 本法施行前ニ於ケル一般會計ニ屬スル通信事業ノ收入及支出ノ未済額ハ之ヲ本會計ニ繰越スヘシ

第二十條 一般會計ノ歳出豫算ニ於ケル通信事業所屬經費ニシテ昭和七年度ヨリ翌年度ニ繰越ヲ要スルモノハ之ヲ本會計ニ移シ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰越ヲ爲シタル場合ニ於テハ一般會計ハ其ノ繰越額ニ相當スル金額ヲ本會計ニ繰入ルヘシ